はじめに

取扱説明ガイドの使いかた

- 

ボタンを押すと取扱説明ガイドが開きます。
-  ボタンを押すとカーソルが移動します。
- 

ボタンを押すと選択したページが開きます。
- 

ボタンを押すと前に見たページに戻ります。
- 

ボタンを押すと「故障かな？」のページが開きます。
- 

ボタンを押すと「索引」のページが開きます。
- 

ボタンを押すとマイページに登録します。よく使う機能の説明をマイページに登録することができます。
- 

ボタンを押すとマイページを登録したページ一覧を表示します。
- 

ボタンを押すと取扱説明ガイドが終了します。

お知らせ

- 取扱説明ガイドに掲載しているイラストは説明用のものです。
  実際の表示とは多少異なることがあります。
- 特に機種名を明示している場合を除いて、LC-55US5を例にとって説明しています。
  LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-50US5は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

はじめに

もくじ

1. 基本的な使いかた
1-1. 本体各部のなまえ
1-5. リモコンボタンのなまえ
1-11.リモコン番号切換
1-12.リモコンのペアリング
1-13.ホーム画面の使いかた
1-15.ココロビジョンを利用する
1-16.お好みのアプリをダウンロードする
1-17.音声検索を使う
1-18.4K映像を楽しむ
1-19.スマートフォンやタブレットのアプリをテレビにキャストする
1-20.接続機器（入力機器）を切り換える
1-22.ヘッドホンで音声を聞く

2. テレビを見る
2-1. テレビ放送を見る
2-5. デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ
2-29.コンテンツリストの使いかた
2-30.視聴中の便利な機能

3. テレビ番組を録画・再生する
3-1. 録画をする前にお読みください
3-7. 録画するための準備をする
3-13.見ている番組を録画する
3-15.デジタル放送の番組を録画予約する
3-26.USBハードディスクに録画した番組を再生する
3-46.録画関連の操作や設定をする

4. ネットワークに接続する
4-1. インターネットの準備をする
4-22.インターネットに接続できない場合は

5. アプリを使う
5-1. ココロビジョンを利用する
5-2. ココロビジョン画面の使いかた
5-6. ココロビジョン設定メニュー項目の一覧
5-10.コンテンツプレーヤー
5-25.ホームネットワーク

6. ファミリンクや他機器
6-1. ファミリンク対応機器をつなぐ
6-5. 4K2K出力対応機器をつなぐ
6-7. HDR映像を見る
6-8. ファミリンクで使う
6-25.レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ
6-31.オーディオ機器をつなぐ
6-33.パソコンとつないで使う
6-40.携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する

7. メニュー操作
7-1. 設定メニューの使いかた
7-2. 設定メニュー項目の一覧
7-34.ツールメニューの使いかた
7-52.ツールメニュー項目の一覧
7-74.文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

8. 故障かな？
8-1. 故障かな？と思ったら
8-35.エラーメッセージが出たら
8-48.こんなときは

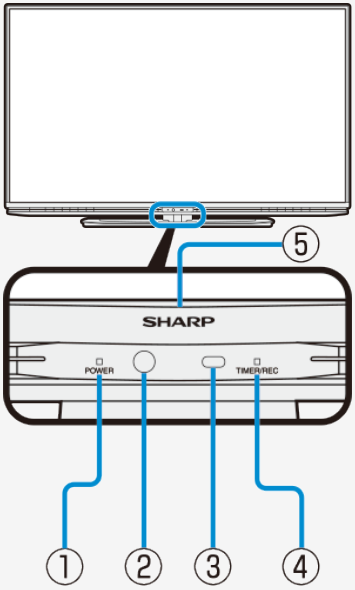
9. その他／索引
9-1. デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは
9-14.放送の種類について
9-24.別売品について
9-25.本機で使用している特許など
9-29.用語の解説
9-36.索引

10. English Guide
10-1. Part Name
10-11.Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

11. お問い合わせ
11-1. お客様ご相談窓口のご案内
11-4. 保証とアフターサービス

各部のなまえ

本体各部のなまえ



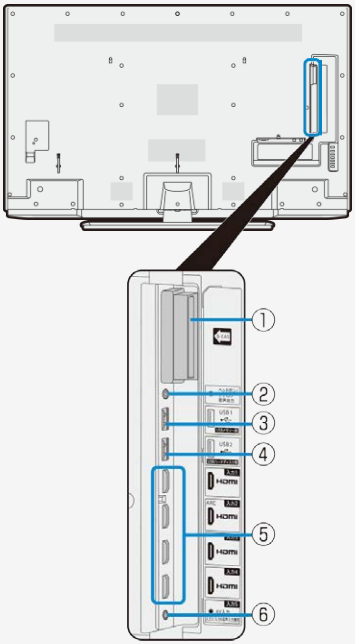
- LC-55US5を例に説明していますが、LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-50US5も端子の配置は同じです。

前面

	名称	ページ
①	POWER(電源)ランプ • 緑色点灯:動作状態 • 赤色点灯:待機状態 • 消灯:電源オフ状態	—
②	人感センサー • 人の動きを検知し本機の電源が入り、ココロビジョンを起動します。	1-15
③	明るさセンサー/リモコン受光部 • リモコンをここに向けて操作します。 • 明るさセンサー「入」時、お部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調整します。	7-58
④	TIMER/REC(タイマー/録画)ランプ • 赤色点灯:市販のUSB-HDDに録画中 • 橙色点灯:予約やタイマー設定中	2-37・3-17
⑤	LED部 • リモコン操作などに連動して光ります。	7-8

本体各部のなまえ

背面

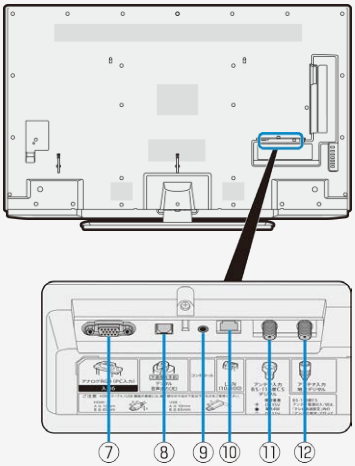


	名称	ページ
①	B-CASカード挿入口	—
②	ヘッドホン/アナログ音声出力端子(Φ3.5、ミニジャック) • ヘッドホン、もしくはオーディオ機器をつなぎます。 • スピーカーから音を出すようにすることができます。	1-22・7-4
③	USB1端子(USBメモリー用) • USBメモリーをつなぎます。 • USBメモリーに保存した写真・音楽・映像を本機で楽しめます。	5-10
④	USB2端子(USBハードディスク用) • 外付けハードディスクをつなぎます。 • USBハードディスク、USBポータブルハードディスクに対応しています。	3-7
⑤	入力1～4(HDMI) • HDMI対応機器をつなぎます。 • 入力1と入力2は4K60p(4:2:2、4:4:4)の信号に対応しています。	6-1～6-6・6-25・6-28・6-37・6-38
⑥	入力5(AV入力)(入力3/入力6音声入力兼用) • ゲーム機、ビデオカメラなどとつなぎます。 変換ケーブルは市販品を使用してください。	6-26・6-37・6-38・6-39

次ページへつづく⇒

本体各部のなまえ

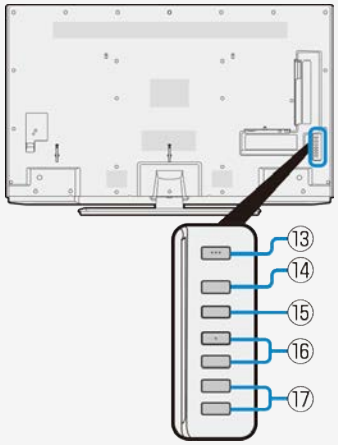
背面



	名称	ページ
⑦	入力6(アナログRGB) • パソコンのアナログRGB端子とつなぎます。	6-39
⑧	デジタル音声出力(光)端子 • オーディオ機器をつなぎます。	6-4・6-6・6-31
⑨	コントロール • 保守点検用の端子です。通常は使用しません。	—
⑩	LAN端子(10BASE-T／100BASE-TX) • インターネットや映像配信サービス、デジタル放送の双方向通信、ホームネットワークで使用します。	4-4・4-5
⑪	アンテナ入力 BS・110度CSデジタル • アンテナをつなぎます。	—
⑫	アンテナ入力 地上デジタル • アンテナをつなぎます。	—

次ページへつづく⇒

本体各部のなまえ



- LC-50US5は、本体側面にボタンがあります。

本体操作部

	名称	ページ
⑬	電源	—
⑭	終了 • アプリや操作を終了します。	—
⑮	入力／放送 • 放送／入力一覧を表示し、繰り返し押して放送／入力先を選び、切り換えます。	—
⑯	選局（∧順／∨逆） • チャンネルを切り換えます。	—
⑰	音量（＋／－） • 音量を調節します。	—

基本的な使いかた



リモコンボタンのなまえ

ご注意

- 電源起動時、画面中央に「X/XX 午前X:XX テレビリモコンの電池交換時期が近づいています。」とメッセージが表示される場合は、電池残量が少なくなっています。同梱の取扱説明書を確認し、電池を交換してください。
- 本機は同梱しているリモコン以外は、正しく動作できない場合があります。またリモコン側も付属している本機以外のAQUOSでは正しく動作できない場合があります。

	ボタン名
①	電源
②	時計／画面表示 • 放送／入力の種類やチャンネル、時刻などの情報を表示します。 • 放送／入力の種類やチャンネルなどの情報は、画面上部左上、時計は画面の右上に表示されます。 • テレビ放送、外部入力視聴中に時計を常時表示するには、「設定」ー「日付と時刻」ー「時計表示」から設定できます。
③	番組情報 • 視聴中番組の番組情報を表示します。タイトルや出演者から他のコンテンツの検索ができます。
④	取扱説明 • 本書を表示します。
⑤	放送切換（地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル／ネットチャンネル） • 各放送に切り換えます。 • ネットチャンネルとは、対応したアプリをダウンロードするとインターネット経由のライブ放送を視聴できる機能です。対応サービスは、順次AQUOS サポートページ（http://www.sharp.co.jp/support/aquos/）にてご紹介いたします。

次ページへつづく⇒

基本的な使いかた

リモコンボタンのなまえ



	ボタン名
⑥	数字 • チャンネルを切り換えたり、数字を入力するときに使います。
⑦	音声切換 • 副音声や第2音声（デジタル放送のみ）に切り換えます。
⑧	音量 • 音量を調節します。
⑨	消音 • 音を消します。消音中にもう一度押すと、音が出ます。
⑩	データ（dボタン） • 番組と連動しているデータ放送を表示します。
⑪	選局 • チャンネルを切り換えます。

次ページへつづく⇒

基本的な使いかた

リモコンボタンのなまえ



ボタン名	
⑫	入力切換 • テレビの入力一覧を表示します。 • 上下カーソルボタンで切り換えたい入力先を選び、決定を押すか、繰り返し押して入力先を選び、切り換えます。
⑬	録画 • 放送中、現在見ている番組を録画します。
⑭	録画リスト • 録画リストを表示します。
⑮	字幕 • 字幕メニューを表示します。
⑯	ツール(映像調整) • 視聴中の操作や映像調整、音声の調整ができます。
⑰	再生操作 • ファミリンク対応レコーダーやUSBハードディスクの録画番組の再生操作に使います。 • アプリによっては、動画視聴中、操作できる場合もあります。

次ページへつづく⇒

基本的な使いかた

リモコンボタンのなまえ



ボタン名	
⑱	前／早戻し • 今見ているチャプターの先頭に戻ります。 • 長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると早戻しの速度が速くなります。
⑲	早送り／次 • 次のチャプターを頭出しします。 • 長押しで早送りになります。そのまま押し続けると早送りの速度が速くなります。
⑳	一時停止／静止 • ファミリンク対応のレコーダーやUSBハードディスクの録画番組の一時停止に使います。 • テレビ放送視聴中は、画面を静止させ、放送と2画面で表示します。 • 「設定」ー「ファミリンク」ー「一時停止／静止キー機能切換」でAQUOSタイムシフトに設定すると視聴中の映像を一時停止し、続きから視聴できます。対応レコーダーの接続が必要です。
㉑	カラー（青／赤／緑／黄） • 各色のボタンに対応する機能を選択できます。

次ページへつづく⇒

基本的な使いかた

リモコンボタンのなまえ



ボタン名		ページ
㉒	番組表(予約) • 番組表を表示します。ここから予約操作などができます。 番組表を表示中に再度押すと、番組表を消します。	
㉓	コンテンツ(裏番組) • コンテンツリストを表示します。	2-29
㉔	ファミリンク • ファミリンクパネルを表示します。	
㉕	(マイク)音声検索 • 音声検索を起動します。(本機とリモコンのペアリングおよびネットワーク接続が必要です。)	1-17

- ファミリンクⅡに対応した機種でファミリンクパネルを表示できます。
対応機種についてはSHARPオンラインサポートページ(http://www.sharp.co.jp/support/aquos/)でご確認ください。

次ページへつづく⇒

基本的な使いかた

リモコンボタンのなまえ



ボタン名		ページ
㉖	カーソル（上／下／左／右）／決定 • 画面上の項目を選び、選んだ項目を決定するときに使います。	
㉗	終了 • アプリや操作を終了します。	
㉘	ホーム • ホーム画面を表示します。 長押しすると、アプリの履歴画面を表示します。	1-13
㉙	戻る • 前の画面に戻ります。	
㉚	アプリダイレクトボタン • 各アプリを直接起動します。 • COCORO VISION については、1-15・5-1ページをご覧ください。 • COCORO VIDEO については、同梱の取扱説明書をご覧ください。	
㉛	マイク部 • 音声検索起動時、このマイク部に向かって話します。	

基本的な使いかた

リモコン番号切換



- 2台のAQUOSを近くに設置している場合、リモコン操作で2台とも動作してしまうことがあります。
  リモコン誤動作の可能性があるこのような使用環境の場合、リモコン番号の設定で、別々の番号に設定しておくと他のAQUOSの誤動作を防ぐことができます。(リモコン番号は、「1」または「2」に設定します。)

本体側のリモコン番号を変更するには

1. ホーム を押してホーム画面を表示する
2. 上下左右カーソルボタンで「設定」ー「リモコン設定」ー「リモコン番号切換」を選び、決定 を押す
3. 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選び、決定 を押す
4. 「する」を選び、決定 を押す
   - 本体側のリモコン番号が変更されます。この後リモコン側のリモコン番号を変更してください。

リモコン側のリモコン番号を切り換えるには

1. 1 または 2 を押したまま、
2. 電源 を5秒以上押す
   - 本体側で設定した番号に合わせてください。
   - リモコンの乾電池が消耗したときや、乾電池を交換したときは、リモコン番号が「1」に戻る場合があります。

基本的な使いかた

リモコンのペアリング

- 初期設定でリモコンペアリングをスキップした場合やペアリングを解除した場合など、以下の手順で再度ペアリングを実施してください。

1. ホーム を押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
2. 「リモコン設定」を選び、決定 を押す
3. 「ペアリング開始」を選び、決定 を押す
4. 画面に従って、ペアリングを開始する



お知らせ

- 本機にリモコンのペアリング情報が残っていると、ペアリング開始ができません。できないときは、一度ペアを解除してから、「ペアリング開始」を選んでください。

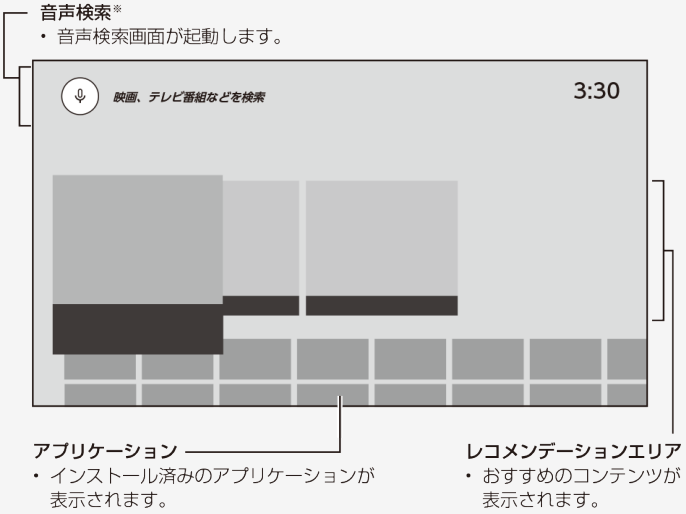
基本的な使いかた



ホーム画面の使いかた

- 本機の設定やアプリの操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホーム画面」と呼びます。
- ここでは、ホーム画面の見かたや使いかたについて説明します。

ホーム画面の例（インターネット接続状態の画面例です。）



※音声検索については、⇒1-17ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

基本的な使いかた



ホーム画面の使いかた

設定
- 本機の設定画面を表示します。

ネットワーク
- ネットワークの接続状態を表示します。
- アイコンを選択すると、ネットワークの設定画面が表示されます。

- 有線 LAN 接続：
- 無線 LAN 接続：



お知らせ

- アプリケーションおよびサービス内容は、サービス事業者の都合により予告なく変更や終了されることがあります。
  詳しくは、各サービスの利用規約をお読みください。

基本的な使いかた



ココロビジョンを利用する

- COCORO VISION(ココロビジョン) は、気付かなかったテレビ番組やVOD(ビデオオンデマンド)動画、音楽、ゲーム、生活情報などを教えてくれるサービスです。
- このテレビをお使いいただくことで、AI(人工知能)が好みの番組や作品などを学習します。
- 本体前面に搭載した明るさセンサーと人感センサーが、部屋が明るい時に人がテレビに近づくような動きを感知すると、テレビの電源が待機状態から自動的に起動して、おすすめ情報を映像と音声でお知らせします。

お知らせ

- ココロビジョンは、操作の履歴から、お好みを学習していきます。
  使い始めてからしばらくは、おすすめする情報が好みと異なる場合があります。

ココロビジョンは以下の方法で起動させることができます

- リモコンのCOCORO VISIONボタンを押す
- 人感センサーで人が近づくのを検知する

ココロビジョンの操作や設定について詳しくは
⇒5-1～5-9ページをご覧ください。

基本的な使いかた

お好みのアプリをダウンロードする

- Android TV™では、テレビに対応したアプリをGoogle Playからダウンロードできます。
  スマートフォン/タブレット向けのアプリとは異なる場合があります。

1. ホーム を押してホーム画面を表示し、[アプリ]にある[Google Playストア]を選ぶ
2. ダウンロードしたいアプリを選ぶ
   - アプリのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終わるとアプリは自動的にインストールされます。
   - アプリアイコンがホーム画面に表示されたら、アプリを起動できるようになります。

お知らせ

- Google Playからアプリをダウンロードするには、インターネットへの接続とGoogle™アカウントが必要です。
- Googleアカウントをお持ちでない場合や共有のアカウントを作りたい場合は、以下のWebサイトでアカウントを新規作成してください。
  https://accounts.google.com/signup
  URLは予告なく変更になることがあります。詳しくは、Googleのホームページをご覧ください。
  Googleアカウントはパソコンかモバイル端末で作成してください。
- アプリによっては、会員登録や利用料金の支払いが必要な場合があります。
- 有料のアプリの購入には、プリペイド方式のGoogle Playギフトカードやクレジットカード情報が必要になります。

基本的な使いかた



音声検索を使う

- 本機は音声検索に対応しています。
  ソフトウェアキーボードを使わずに、お好きなキーワードを声で簡単に入力してコンテンツを検索できます。
- 音声検索するには、インターネットへの接続、テレビとリモコンのペアリングが必要です。
  (⇒1-12・4-1ページ)

1. リモコンのボタンを押す
2. リモコンのマイクに向かってキーワードを話す
3. 画面に検索結果が表示される

お知らせ

- ホーム画面で音声検索をすると、アプリ横断でコンテンツを検索した結果が表示されますが、アプリによっては、アプリ内でのコンテンツ検索となります。

基本的な使いかた

4K映像を楽しむ

- 本機は、YouTube™やNetflixといった動画配信サービスを利用して、インターネット上の4Kコンテンツを見ることができます。

1. リモコンのホームを押して、ホーム画面を表示する
2. [アプリ]にある動画配信サービスのアイコンを選ぶ
    - アプリが起動します。
    - リモコンのYouTube／NETFLIXボタンを押してアプリを起動することもできます。

お知らせ

- インターネット上のコンテンツを見るには、インターネットへの接続が必要です。
- アプリによっては、別途有料契約が必要な場合があります。

基本的な使いかた

スマートフォンやタブレットのアプリをテレビにキャストする

- 本機はChromecast built-in™を使って、スマートフォンなどで表示しているお好きな動画やアプリを直接テレビに映す（キャストする）ことができます。

1. スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を、テレビと同じネットワークに接続する
2. モバイル機器でChromecast built-in対応アプリを起動する
3. モバイル機器でアプリ内のキャストアイコン（  ）を選ぶ
    - モバイル機器で表示している動画などがテレビに表示されます。

お知らせ

- Chromecast built-inを使うには、同一ネットワークへの接続が必要です。
- 動画再生において、アプリによっては別途有料契約が必要な場合があります。



接続機器(入力機器)を切り換える

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

- テレビ放送の画面からHDMI入力の画面に切り換えると、BDやDVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

1. BDレコーダーなどを本機に接続し、電源ボタンを押して電源を入れる
2. 再生したいディスクなどをセットする
3. 入力切換
   を押し、入力切換メニューを表示する
   - 表示中に⇒1-21ページの操作を行います。

次ページへつづく⇒



接続機器（入力機器）を切り換える

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

入力切換

4. ▢を繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ
   - 上下カーソルボタンでも選択できます。
   - ホーム画面からも選択できます。

（例）本機の入力1に接続した機器の映像を見るときは、「入力1」を選ぶ



選べる入力について
- 入力5は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

5. BDレコーダーなどを再生する
   - 再生映像が表示されます。
   - 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続したBDレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください。

基本的な使いかた

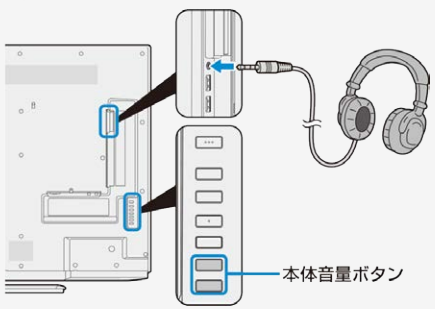
ヘッドホンで音声を聞く

- 音声出力端子使用時に音声を出力する機器を選択します。

1. ホーム を押してホーム画面を表示する
2. 上下左右カーソルボタンで「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「音声出力端子」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「ヘッドホン／アンプ」を選び、決定を押す
4. ヘッドホン端子にヘッドホンを接続する

- スピーカーとヘッドホン端子から出る音声と音量調整方法は下記をご覧ください。

ヘッドホン／アナログ音声出力端子
（φ3.5、ステレオミニジャック）



- LC-50US5は、本体側面にボタンがあります。

お知らせ

- 外部スピーカーで視聴中、ヘッドホンを接続すると、スピーカー切換がTVに切り換わります。外部スピーカーに戻すには、ファミリンクを押し、ファミリンクパネルの「スピーカー切換」を「外部スピーカー」へ設定してください。

設定	音声出力			音量調整方法
	ヘッドホン	アンプ	テレビスピーカー	
ヘッドホン/アンプ	○		×	リモコンまたは本体の音量ボタンで調整できます。
テレビスピーカー＋アンプ	×	○	○	テレビスピーカーは、リモコンまたは本体音量ボタンで、アンプ側は、音量を固定に設定するため、出力先で音量を調整してください。

テレビを見る



テレビ放送を見る

ふだんの使いかた

1. 放送(地上／BS／CS／📺)を選ぶ
2. チャンネルを選ぶ
   - 選局ボタンまたは数字ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
   - 数字ボタンは選局番号に対応しています。
   - BSデジタル放送視聴中にBSを押すと、表示されたBS新サービスの選局が数字ボタンで行えます。
     ※110度CSデジタル放送を初めて選局するときは、
     ⇒8-8ページをご覧ください。
3. 音量を調整する
   - 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。
   - 接続している機器や再生するディスクによって入力される音声レベルが異なる場合があります。

次ページへつづく⇒



テレビ放送を見る

ふだんの使いかた

4. 音を一時的に消す
   - 消音ボタンを押すと一時的に音が消えた状態になります。
     もう一度押すと元の音量に戻ります。
5. 番組表を表示する
   - ⇒2-5ページをご覧ください。
6. コンテンツリスト（裏番組）を表示する
   - 現在放送している裏番組やUSBハードディスクに録画した番組、YouTubeの人気コンテンツ、ココロビデオのおすすめ動画を確認できます。（⇒2-29ページ）
7. 音声検索をする
   - ⇒1-17ページをご覧ください。

テレビを見る



テレビ放送を見る

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

- 連動データ放送を含む番組の視聴中に、データ d を押し、連動データ放送の画面を表示する



- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ d を押します。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ d を押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度データ d を押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- BSラジオ放送も、⇒2–4ページの手順で切り換えられます。

次ページへつづく⇒

テレビを見る



テレビ放送を見る

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

独立データ放送の番組から選ぶ

1. (映像調整) ツール を押し、上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「テレビ/ラジオ/データ」を選び、決定を押す
   - 再度選び直すことによって次のように放送の種類を切り換えることができます。
     テレビ → ラジオ → データ
2. 選局ボタンでチャンネルを選ぶ

お知らせ

- 2画面表示中は、データ放送は視聴できません。

テレビを見る



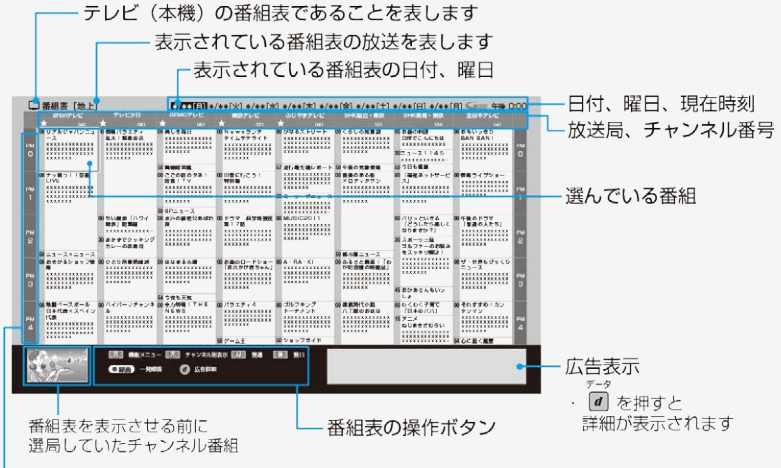
デジタル放送を電子番組表(Gガイド)で選ぶ

放送を見ているときにリモコンの(予約)番組表を押すと番組表が表示されます。

- 電子番組表(Gガイド)でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。
  番組表が表示されない、空欄になるときは、2-9ページを確認してください。

番組表の表示について

- リモコンの「番組表」ボタンを押すと、数日分の番組表を表示できます。
  テレビ放送…8日分、データ放送…最低1日分



テレビを見る



デジタル放送を電子番組表(Gガイド)で選ぶ

番組表から番組を選ぶ

1. (予約) 番組表 を押す
2. 地上 BS CS を押し、表示したい放送を選ぶ
   - 地上、BS、CS、ネットチャンネルから番組表が表示されます。
   - 数字ボタンでチャンネル番号(3桁番号)を入力し、表示したい放送も選べます。
3. 上下左右カーソルボタンを押し、番組を選ぶ

●現在放送中の番組を選んだときは
- 録画 を押す⇒録画されます
- 決定 を押す⇒選局されます

●未放送の番組を選んだときは
- 録画 を押す⇒USB-HDDに録画予約されます
- 決定 を押す⇒番組詳細画面が表示されます⇒2-11ページ

ヒント

時間帯でページを送り／戻しするとき
- 次の時間帯(次ページ)を表示させたいときは 早送り/次 を押す
- 前の時間帯(前ページ)を表示させたいときは 前/早戻し を押す

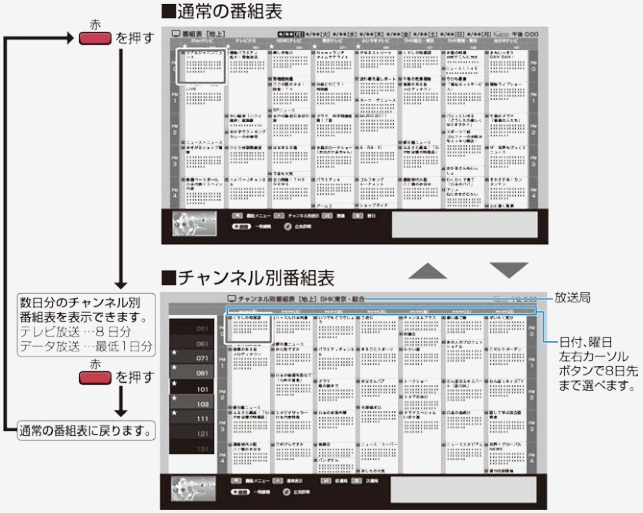
翌日/ 前日の番組表を表示するとき
- 翌日の番組表を表示させたいときは 黄 を押す
- 前日の番組表を表示させたいときは 緑 を押す

テレビを見る



デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

通常の番組表⇔チャンネル別番組表を切り換える



表示する放送局を選ぶ

- 次の放送局を選ぶときは 黄 を押す
- 前の放送局を選ぶときは 緑 を押す
- カーソルを放送局欄に移動し、上下カーソルボタンで選び決定しても表示させたい放送局が選べます。

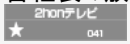
テレビを見る



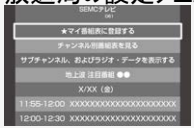
デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表で各放送局毎にマイ番組表の登録や、サブチャンネル表示などを設定する

1. 番組表の放送局（チャンネル部）を選び決定を押す



2. 放送局の設定メニューが表示される



3. 設定したい項目を上下カーソルボタンで選んで決定を押す
   - ●「★マイ番組表に登録する／外す」を選んで決定
     ⇒マイ番組表のチャンネルとして登録／解除されます
     （登録された番組表は「★」マークが付きます）
   - ●「チャンネル別番組表を見る」を選んで決定
     ⇒チャンネル別番組表に切り換わります
   - ●「サブチャンネル、およびラジオ・データを表示する／表示しない」を選んで決定
     ⇒選択した放送局のサブチャンネルを表示する／表示しないを設定します
   - ●「地上波／BS／CS注目番組」を選んで決定
     ⇒おすすめ・特集番組一覧が表示されます
   - ●表示された番組を選んで決定し、予約などの操作も行なえます。

お知らせ

- 番組表に表示されるメインチャンネルまたはサブチャンネルをマイ番組表に登録したときは、メインチャンネル、サブチャンネルともにマイ番組表に登録されます。登録解除したときもメインチャンネル、サブチャンネルともにマイ番組表から登録解除されます。

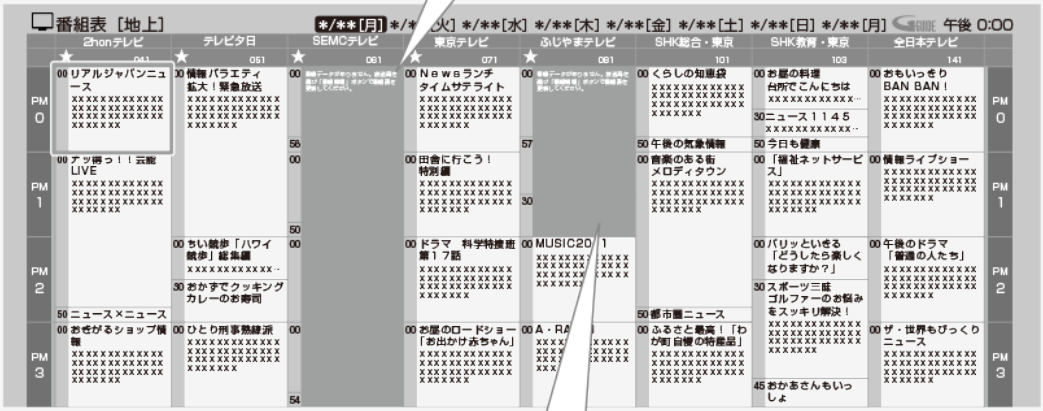
テレビを見る

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

電子番組表（Gガイド）に表示されないチャンネルがあるとき

番組表データが受信できていない場合、番組表が表示されないことがあります。その場合は次の操作を行ってください。

テレビ画面の表示▼



次ページへつづく⇒



デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

電子番組表（Gガイド）に表示されないチャンネルがあるとき

- メッセージのある番組表の欄を、左右カーソルボタンで選び番組情報を押します
  - 番組表を更新します。
    更新には2分程度時間がかかります。
- 空欄となっているチャンネルを選局し、放送画面のまま2分程度待ちます
  - 番組表データを受信し番組表を更新します。

ヒント

- CS放送番組が表示されないときは、CS001またはCS100を一度選局してから操作してください。

テレビを見る



デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組の情報を見るには

1. 番組表で番組情報を知りたい番組を選び、決定を押す
   - 現在放送中の番組は、選局され、未放送の番組は以下が表示されます。



番組詳細
（番組情報）

   - 放送中の番組の情報を見るときは、番組を選んで番組情報を押してください。
   - 次ページがあるときは下カーソルボタンを押します。
     上下カーソルボタンを押すと番組詳細内の表示をスクロールします。

●出演者一覧や関連番組を確認したいときは
左カーソルボタンを押し、「出演者一覧」または「関連番組」を選んで決定します。（出演者一覧⇒2-12ページ／関連番組　⇒2-12ページ）

2. 番組表表示に戻すときは、戻るを押すか、「閉じる」を選択し決定を押す
   - 終了を押すと、放送画面になります。



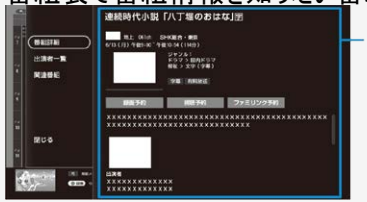
デジタル放送を電子番組表(Gガイド)で選ぶ

番組の出演者や関連する番組を表示する

番組詳細からメニュー項目を選び出演者一覧や関連番組の検索が行なえます。

- 「出演者一覧」を選んだときは、出演者を確認したり、選択した出演者が出演している番組を確認し予約したり、マイ検索に登録が行なえます。
  インターネットに本機を接続しているときは、出演者の写真も表示されます。(出演者によっては写真が表示されない場合があります)
- 「関連番組」を選んだときは、選択している番組に関連した番組(同一のジャンル番組など)を確認できます。(インターネットに接続している場合と、接続していない場合で検索結果に違いが出る場合があります)

1. 番組表で番組情報を知りたい番組を選ぶ



2. 左カーソルボタンを押しメニュー項目の「出演者一覧」または「関連番組」を選んで(決定)を押す
   - 関連番組を選んで決定したときは、関連番組選択画面に移動します。
     放送中の番組は選局、未来番組は番組詳細から予約が行なえます。

次ページへつづく⇒



デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組の出演者や関連する番組を表示する（つづき）

3. 出演者から番組を選ぶ場合は「出演者一覧」を選んで(決定)を押す
   - 出演者選択画面に移動します。





4. 「出演者」を選んで(決定)を押す
   - 「マイ検索に登録」を選んで決定したときは⇒マイ検索に選んだ出演者が登録されます。
   - 検索した番組を選んだときは⇒放送中の番組は選局、未来番組は番組詳細が表示されます。



デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

番組表の機能メニューについて

電子番組表の表示中に青（機能メニュー）または（映像調整）ツールを押すと、「機能メニュー」によって各種機能を呼び出すことができます。

青または（映像調整）ツールを押すたびに「機能メニュー」⇔「番組表」に切り換わります。

番組表機能メニュー

項目	サブ項目	内容	ページ
番組表	通常表示	通常の番組表を表示します。	2-7
	チャンネル別表示	チャンネル別番組表を表示します。	2-7
	マイ番組表	番組表設定で登録したマイ番組表を表示します。	2-8 2-27
裏番組	—	現在放送中の番組一覧を表示します。	2-16
放送切換	「地上」、「BS」、「CS」、「ネット」の番組表に切り換わります。		2-6
マイ検索	—	登録している出演者が出演する番組や登録されているキーワード、ジャンルなどの番組を検索し表示します。	2-17
番組検索	キーワード検索	キーワード（ラグビーなど）を入力し番組を検索します。	2-18
	ジャンル検索	ジャンルを選択して番組を検索します。	2-20
	人名検索	お気に入りの出演者の名前を入力し、表示された出演者が出演している番組を検索できます。	2-22
	番組カテゴリ検索	各カテゴリーの番組が検索できます。	2-24

番組表の機能メニューについて

番組表機能メニュー（つづき）

項目	サブ項目	内容	ページ
おすすめ・特集	—	放送局で選定した、おすすめ・特集番組一覧が表示されます。	2-25
予約リスト	—	予約リストを表示します。	3-25
番組表設定	マイ番組表設定	好みのチャンネルを登録しておくことで、マイ番組表を作成できます。	2-27
	ジャンルカラー設定	番組表に表示される番組のジャンルを色分け表示させるか設定します。	2-27
	チャンネル表示設定	チャンネル表示に関する設定を行います。	2-28

お知らせ

- おすすめ・特集は、インターネットに接続しないと選択できません。

機能メニューで操作する

各機能メニューを選んで決定したときの画面や操作について説明します。

●「裏番組」を選んで決定を押す

現在放送中の番組が表示されます。



各番組のタイトル画面や出演者の写真は本機をインターネットに接続していると表示されます。

番組を選んで決定

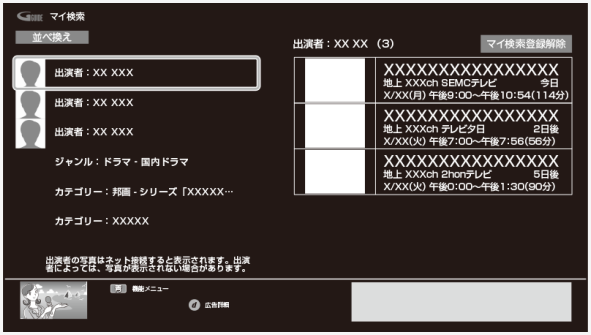
- 現在放送中の番組を選んで決定すると選んだ放送の画面になります。
- 未来の番組を選んだときは、番組詳細画面になります。

番組表の操作は
⇒2-5～2-8ページをご覧ください。

機能メニューで操作する（つづき）

●「マイ検索」を選んで決定を押す

マイ検索は番組タイトル、ジャンル、人名、カテゴリなどマイ検索に登録したキーワードをもとに番組一覧を表示します。



- 「マイ検索登録解除」を選んで決定すると登録解除されます。
- 「並べ換え」を選んで決定すると上下カーソルボタンと決定で並び順を変更できます。
- 番組を選んで決定すると、番組詳細画面になります。

番組表の操作は
⇒2-5～2-8ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

●「番組検索」を選んで決定を押す

キーワード、ジャンル、人名、番組カテゴリで番組を検索できます。

キーワードで番組を検索する

1. 「キーワード検索」を選んで決定を押す
   - キーワード検索画面が表示されます。



2. 検索ワード欄を選んで決定を押し、検索したいワードを入力

次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

キーワードで番組を検索する（つづき）

3. 「完了」を選んで決定を押す
    - 入力したキーワードに関連した番組が表示されます。

画面内のボタンを選んで決定

- マイ検索に登録⇒マイ検索に登録されます。
- 放送日時順／チャンネル番号順⇒放送日時順／チャンネル番号順に並び換えできます。
- 絞り込み⇒放送の種類やジャンルで絞り込み表示できます。

次ページへつづく⇒

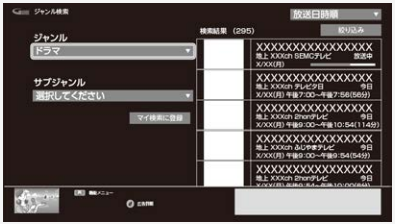
機能メニューで操作する（つづき）

ジャンルで番組を検索する

1. 「ジャンル検索」を選んで決定を押す
   - ジャンル検索画面が表示されます。



2. 検索したいジャンルを選んで決定を押す



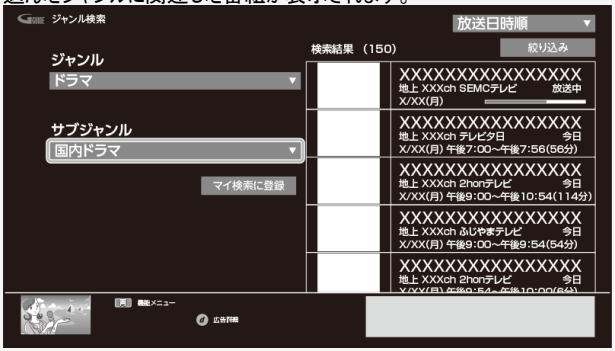
次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

ジャンルで番組を検索する（つづき）

3. サブジャンルを選んで決定を押す

選んだジャンルに関連した番組が表示されます。



画面内のボタンを選んで決定

- マイ検索に登録⇒マイ検索に登録されます。
- 放送日時順／チャンネル番号順⇒放送日時順／チャンネル番号順に並び換えできます。
- 絞り込み⇒放送の種類で絞り込み表示できます。

次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

人名で番組を探す

1. 「人名検索」を選んで、決定を押す
2. 文字マスの上で決定を押す
   - 文字入力パレットが表示されます。



機能メニューで操作する（つづき）

人名で番組を探す（つづき）

3. 文字マスに検索したい人名の先頭の文字から1文字ずつ入力する
   - 入力した文字と一致する出演者が右側に表示されます。
   - 出演者の写真は本機をインターネットに接続しているとき表示されます。



4. 目的の出演者が表示されたら戻るを押す
   - 文字入力の状態から、カーソル移動ができる状態に移行します。
5. 上下左右カーソルボタンで目的の出演者を選び決定を押す
   - 選んだ出演者の出演予定番組が表示されます。

次ページへつづく⇒

テレビを見る

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

機能メニューで操作する（つづき）

カテゴリーで番組を検索する

1. 「番組カテゴリ検索」を選んで決定を押す
2. 番組のカテゴリーを選んで決定を押す



3. 番組を選んで決定を押す
   - 選んだ番組カテゴリに関連した番組が表示されます。

画面内のボタンを選んで決定
- マイ検索に登録⇒マイ検索に登録されます。
- 絞り込み⇒放送の種類で絞り込み表示できます。

次ページへつづく⇒

テレビを見る

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

機能メニューで操作する（つづき）

おすすめ・特集番組を探す

- 放送局で選定した、おすすめ・特集番組一覧が表示されます。

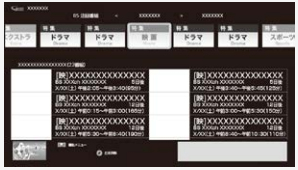
1. 「おすすめ・特集」を選んで決定を押す
   - 上下カーソルボタンで、見たい項目を選びます。



お知らせ

- 「おすすめ・特集」はインターネットに接続しないと選択できません。

2. 決定を押す
   - 選んだ項目の番組が一覧表示されます。

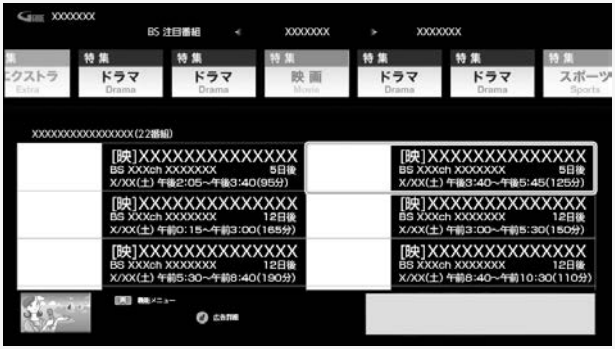


次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

おすすめ・特集番組を探す（つづき）

3. 見たい番組を選んで決定を押す



選んだ番組の番組詳細画面が表示されます。

次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

番組表の設定をする

●「番組表設定」を選んで決定を押すと、番組表に関する設定ができます。

マイ番組表設定

- 自分で必要なチャンネルのみを登録しておくことで、マイ番組表が表示できます。

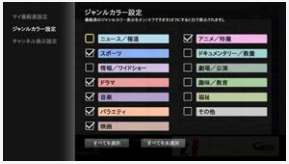


お知らせ

- マイ番組表設定画面で選べるチャンネルはメインチャンネルのみです。
  - メインチャンネルを登録すると、サブチャンネルも自動的に登録されます。
  - メインチャンネルを登録解除すると、サブチャンネルも自動的に登録解除されます。

ジャンルカラー設定

- 番組表に表示される番組のジャンルを色分け表示させるか設定します。

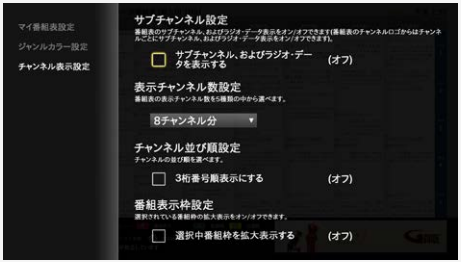


次ページへつづく⇒

機能メニューで操作する（つづき）

番組表の設定をする（つづき）

チャンネル表示設定



サブチャンネル設定	番組表のサブチャンネル・およびラジオ・データ表示をオン／オフできます。
表示チャンネル数設定	番組表の表示チャンネル数を5種類の中から選べます。
チャンネル並び順設定	チャンネルの並び順を選べます。
番組表示枠設定	選択されている番組枠の拡大表示をオン／オフできます。

テレビを見る



コンテンツリスト(裏番組)の使いかた

- 裏番組や人気のインターネット動画のリストを表示することができます。

1. リモコンの(裏番組) コンテンツ を押す
2. 左右カーソルボタンで放送やサービスを選ぶ
3. 見たいコンテンツを選ぶと、選局やコンテンツの再生がはじまる

お知らせ

- YouTubeやココロビデオの動画を見るには、インターネットへの接続が必要です。
- ココロビデオの動画を見るには、別途契約が必要です。
- ホーム画面、設定メニュー表示中などは表示できません。



- 録画番組の1シーンを縮小した静止画(サムネイル)を同時に表示できますが、表示されるまでに時間がかかります。
- 録画内容によってはサムネイルが取得されないことがあります。

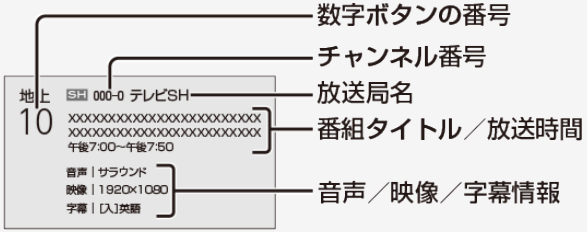


視聴中の便利な機能

チャンネル情報や時計を表示する

- テレビ放送や外部入力視聴中、時計/画面表示ボタンを押して、チャンネル情報や時計を表示することができます。
- 時計は、右上に表示されます。位置やサイズは、変更できません。

1. 時計/画面表示 を押して情報を表示する





視聴中の便利な機能

時計/画面表示ボタンを押したときに表示する情報やタイミングを変更する

- 選局時などのチャンネル情報の表示について常時表示の設定や表示サイズを設定することができます。
- 時刻が設定されていない場合は、ホーム画面から「設定」ー「日付と時刻」ー「日付と時刻の自動設定」で「切」を選び、「時刻の設定」で、時刻を設定してください。普段お使いになるときは、録画予約や一部アプリケーションの利用に時刻が必要になるため、「日付と時刻の自動設定」で同期する設定でお使いください。

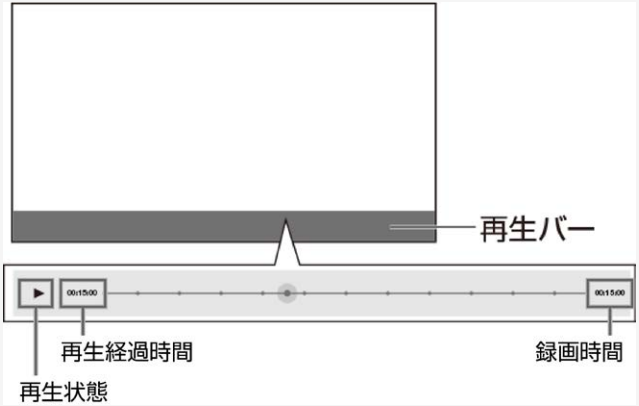
1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで「画面表示設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで表示を変更したい項目を選び、決定を押す（⇒7-15ページ）
4. 上下カーソルボタンで設定を選び、決定を押す



視聴中の便利な機能

再生状態を確認する

- 本機はUSBハードディスクに録画した番組を再生したときに、現在再生位置が確認できる再生バーなどを画面に表示します。



- 再生バーを表示させたいときは録画番組再生中に上カーソルボタンを押してください。消したいときは下カーソルボタンを押してください。
- 再生バーを約5秒間表示したあと自動的に消えます。
- 早送り／早戻ししているとき、再生バー表示は消えません。
- 本機の表示状態によっては、再生バーが表示されない場合があります。



視聴中の便利な機能

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「タイマー」ー「オフタイマー」を選ぶ
2. オフタイマーを「入」に設定する
3. 上下カーソルボタンで設定時間を選び、決定を押す
   - 「0時間30分」「1時間00分」「1時間30分」「2時間00分」「2時間30分」から選びます。
   - オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
   - オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

お知らせ

- 視聴中のアプリによっては、指定した時間に電源を切れない場合があります。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

オフタイマーの残り時間を確認するには

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「タイマー」ー「オフタイマー」を選び、決定を押す
2. オフタイマーの残り時間を確認する

- オフタイマーが設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

時刻を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「タイマー」ー「おやすみタイマー」を選び、決定を押す
2. おやすみタイマーを「入」に設定する
   - おやすみタイマーを解除するには、「切」を選びます。
3. 上下カーソルボタンで電源を切りたい時刻を設定する
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

時刻を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフ(⇒7-48・7-49ページ)が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- 視聴中のアプリや一部メニュー操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れない場合があります。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻の設定」(⇒7-33・7-34ページ)が必要です。



視聴中の便利な機能

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。
- おはようタイマーを設定すると、本体のTIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒1-1ページ）が橙色に点灯します。
- 異なる設定のタイマーを3種類までセットできます。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「タイマー」ー「おはようタイマー」を選び、決定を押す
2. 設定したいタイマーを選び、「入」に設定する
3. それぞれの項目（⇒7-11ページ）を設定する
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

お知らせ

- ヘッドホンをつないでいる場合は、ヘッドホンから音声が出るため本体スピーカーからは音声が出ません。本体スピーカーから音声を出す場合は、あらかじめヘッドホンを抜いておいてください。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

音声・映像を切り換える

- 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。

複数の映像を切り換える

1. (映像調整) ツール を押して、上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「映像切換」を選び、決定を押す

- 「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面上に映像表示が出ます。
※ 番組によって映像の数は異なります。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

音声・映像を切り換える

複数の音声を切り換える

音声切換

□ を押して、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声※が切り換わり、テレビ画面上に音声表示が出ます。
  ※番組によって音声の数が異なります。

マルチ音声番組のとき

音声１ → 音声２～８※ →

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 →
主／副 ←

お知らせ

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。



視聴中の便利な機能

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

字幕を表示する

- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。

◆字幕の表示方法を変えたいとき

1. 字幕を押して、字幕メニューを表示する



2. 上下カーソルボタンで表示方法を選び、決定を押す

「表示方法」の設定について

- 「アウトスクリーン(上)」または「アウトスクリーン(下)」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。
- 「アウトスクリーン(上)」の場合でも、放送で送られる字幕の行数によっては、映像の上に字幕がかかる場合があります。

お知らせ

- 放送の種類によっては、アウトスクリーンに設定してもオンスクリーン表示になります。
- 表示方法が切り換わる際に、データ放送が非表示、または初期状態になる場合があります。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

◆字幕の表示言語を変えたいとき

- 複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

1. 字幕を押して、字幕メニューを表示する
2. 言語切換を選び、決定を押す
   - 複数の言語があるときは言語を切り換えることができます。
     ※番組によって言語の数は異なります。

テレビを見る

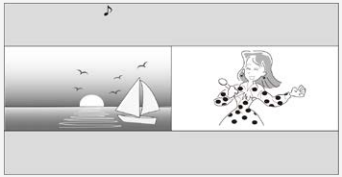


視聴中の便利な機能

2画面で見る

本機は2つの異なる映像を同時に表示できます。

2画面表示



子画面表示



◆2画面で表示する

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示し、「視聴操作」ー「2画面」ー「2画面表示」を選んで、決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで右側に表示する入力を選んで決定を押す
   - 現在視聴中の画面を左側に表示し、右側に選んだ入力の画面を表示することができます。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

2画面で見る

本機は2つの異なる映像を同時に表示できます。

◆子画面で表示する

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示し、「視聴操作」ー「2画面」ー「子画面表示」を選んで、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで子画面に表示する入力を選んで決定を押す
   - 現在視聴中の画面を親画面に表示し、子画面側に選んだ入力の画面を表示することができます。

次ページへつづく⇒

2画面で見る

表示できる画面の組み合わせ

- 表示できる画面は、画面の左右、放送や入力、録画状態によって異なります。

		右画面(子画面)					
		地上D	BS/CS	入力1～4	入力5	入力6	USB-HDD
左画面(大画面)	地上D	×	×	○	○	×	×
	BS/CS	×	×	○	○	×	×
	入力1～4	○	○	×	×	×	×
	入力5	○	○	×	×	×	×
	入力6	×	×	×	×	×	×
	USB-HDD	×	×	○	○	×	×

2画面で表示できる組み合わせは、録画の状態によって変わります。

○録画中でも1番組の録画であれば2画面で表示できます。

×2画面で表示できません。

- テレビ放送や外部入力視聴中以外は2画面表示はできません。
- 2番組録画中は2画面で表示できません。
- 2画面表示中は連動データ放送は視聴できません。

テレビを見る



視聴中の便利な機能

2画面で見る

◆PinPモードで表示する

- テレビを子画面で表示しながら、アプリなどを楽しむことができます。

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示し、「視聴操作」ー「2画面」ー「PinPモード」を選んで、決定 を押す

お知らせ

- 子画面で表示しているテレビ画面は、音量のみ調整できます。
- アプリ側で動画を再生すると、PinPモードは解除されます。
- アプリによっては、うまく動作しない場合があります。

次ページへつづく⇒



視聴中の便利な機能

2画面で見る

◆1画面に戻す

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示し、「視聴操作」ー「2画面」ー「1画面に戻す」を選んで、決定を押す
   - PinP表示から1画面に戻るときは、終了を押してください。

次ページへつづく⇒

テレビを見る

視聴中の便利な機能

2画面で見る

- 2画面のとき、「」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整ができます。
- 左右カーソルボタンで操作画面を切り換えられます。
- 2番組録画中は2画面にできません。
- 2画面機能を入／切すると、まれに画面の映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- 2画面表示しているとき、次の操作はできません。
  - データ放送の表示
  - 画面サイズの切り換え
  - 映像調整
  - 画面の静止　など
- 終了ボタン、ホームボタン、アプリダイレクトボタンを押すと、2画面は解除されます。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 2画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面やPinP子画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
  ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。



視聴中の便利な機能

画面を静止させる

- いま見ている放送や映像を静止できます。
  料理番組のメモをとったりするときに便利です。
- 操作の前に、「一時停止/静止キー機能切換(AQUOSタイムシフト)」(⇒7-2ページ)を「画面静止」に設定してください。

1. 一時停止/静止 を押して、視聴中に映像を静止させる

- 動画と静止画の2画面になります。
- 静止画表示中に 決定 を押すと、そのときに表示されていた動画が新しい静止画として表示されます。
- 一時停止/静止 をもう一度押すと、視聴中のチャンネルの現在の映像に戻せます。戻る または 終了 を押しても元に戻せます。

お知らせ

- 「一時停止/静止キー機能切換(AQUOSタイムシフト)」(⇒7-2ページ)を「AQUOSタイムシフト」に設定している場合は画面の静止はできません。
- 放送、USB-HDD録画番組視聴中に画面を静止できます。外部入力視聴中は静止できません。

次の場合は、静止画が解除されます。

- 選局操作をしたとき
- ホーム / 録画リスト などを押したとき
- 映像を静止してから30分経過したとき



視聴中の便利な機能

映像の画質を調整する

- 見ている映像の画質を調整できます。入力、アプリ全般、HDR時ごとに設定できます。

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示し、「映像調整」を選び 決定 を押す
2. 調整したい項目を選び、 決定 を押す（→7-57～7-60ページ）

お知らせ

- AVポジションは、シャープおすすめの調整値で、映像と音声を一括で調整できます。



視聴中の便利な機能

音声を調整する

- 見ている映像の音声を調整できます。入力ごとに設定できます。

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示し、「音声調整」を選び、決定 を押す
2. 調整したい項目を選び、決定 を押す（→7-66～7-72ページ）

テレビ番組を録画・再生する

録画をする前にお読みください

◆ 重要 ◆

- 録画予約の待機中や録画実行中に電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
  - 録画中、または録画予約中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。

録画できる番組数と予約件数について
- 1台のUSBハードディスクには、最大999番組まで録画可能です。(USBハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。)
- 最大100件までの予約が可能です。

録画予約について
- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

録画をする前にお読みください

録画・録画予約実行中の制限について

- 2番組同時録画中の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。

マルチビューサービス放送を録画して再生する場合は

- マルチビューサービスは、主映像のみ録画されます。

HDD（ハードディスク）について

- パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

録画をする前にお読みください

HDD（ハードディスク）について（つづき）

- 録画中に再生を行うと、画面の映像が粗くなる場合があります。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B-CAS（ビーキャス）カードについて

- 録画・録画予約をするときは、本機にB-CASカードが入っていることを確認してください。

著作権について

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

録画が可能な区間の中に「録画禁止」区間がある場合

- 録画中、「録画禁止」になるとその時間は記録されません。

◆ 重要 ◆

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

次ページへつづく⇒

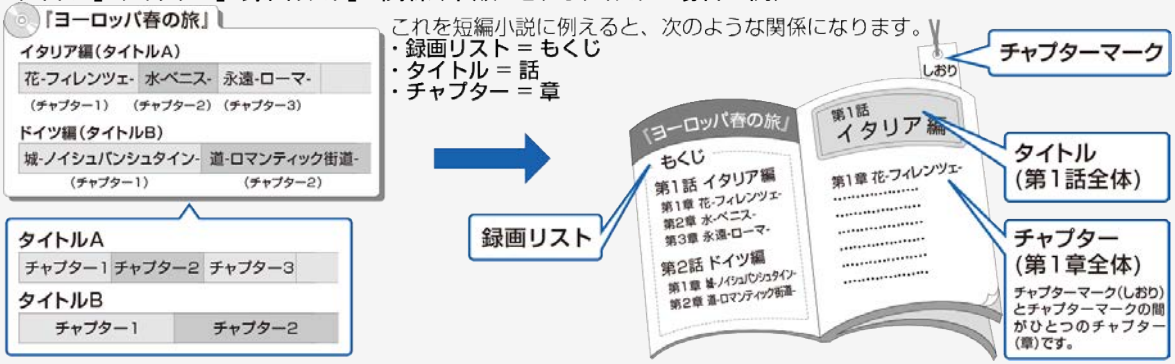
テレビ番組を録画・再生する

録画をする前にお読みください

録画した番組の構成について

- 録画した番組は、1回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。
  各タイトル（録画した番組）は「録画リスト」に一覧表示され、再生・消去・タイトル名変更・タイトルの並べ換え・保護・保護解除・タイトル検索ができます。
  タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する（⇒3-39ページ）
  タイトル（録画した番組）を消去する（⇒3-35ページ）
  録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには（⇒3-44ページ）

「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係（市販のビデオディスクの場合の例）



次ページへつづく⇒

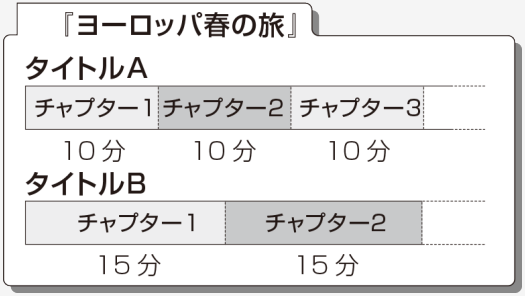
テレビ番組を録画・再生する

録画をする前にお読みください

録画した番組の構成について

例）本機で録画したUSBハードディスクの場合

※タイトルAは「チャプター設定」を「10分」に、タイトルBは「15分」に設定した例です。



お知らせ

- 本機には録画中にチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。
  デジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。（⇒3-47ページ）

テレビ番組を録画・再生する

録画をする前にお読みください

重複できる録画や予約の組み合わせ

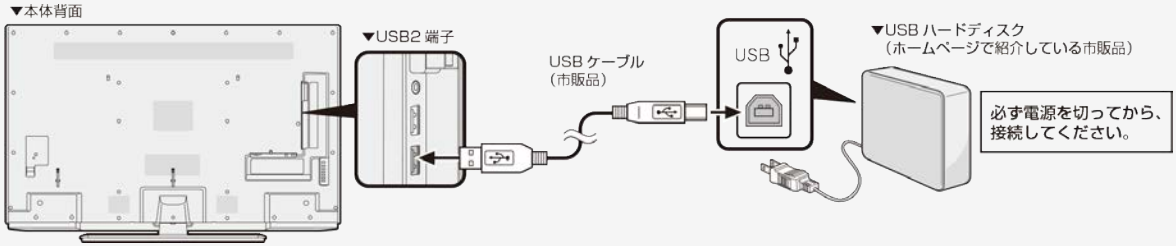
		録画②	
		USB-HDD	ファミリンク
録画①	USB-HDD	○	○
	ファミリンク	○	×

テレビ番組を録画・再生する

録画するための準備をする

USBハードディスクをつなぐ

- 本機のUSB2端子(USBハードディスク用)に、市販のUSBハードディスクをつなぎます。
- 市販のUSBケーブルで接続します。
- USBハードディスクを取りはずすときは
  ⇒3-10ページをご覧ください。

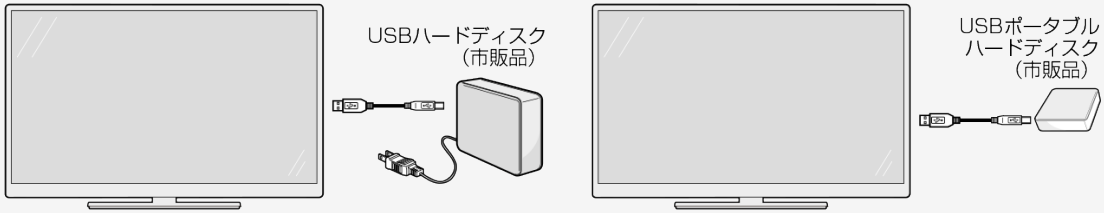


テレビ番組を録画・再生する

録画するための準備をする

USBハードディスクを初期化（登録）する

- USBハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化（登録）」が必要です。
- 初期化（登録）するときは、USB2端子(USBハードディスク用)とUSBハードディスクを1台だけ直接接続してください。
- 本機は、USBハブを使用した接続には対応していません。



◆ 重要 ◆

- レコーダーやパソコンで録画したUSBハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化（登録）が必要です。
- USBハードディスクを初期化（登録）すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。
- 消去されたタイトルは元に戻せませんので、USBハードディスクの内容をよく確認してください。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する



録画するための準備をする

USBハードディスクを初期化（登録）する

1. USBハードディスクを本機のUSB2端子(USBハードディスク用)に接続し、本機とUSBハードディスクの電源を入れる
2. ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」ー「録画機器設定」ー「初期化」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンと決定で「はい」を選ぶ
   - 機器の初期化設定画面が表示されます。
4. 上下左右カーソルボタンと決定を使って画面に従って操作する

お知らせ

- 初期化中にUSBハードディスクを取り外したり、USBハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 本機起動中に、USBハードディスクを接続すると、接続確認画面が表示され、録画機器設定へ遷移できます。

テレビ番組を録画・再生する



録画するための準備をする

USBハードディスクを取りはずすときは

- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ず「取りはずし」を行ってください。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで「録画機器設定」ー「取りはずし」を選び、決定を押す
3. 取りはずすUSBハードディスクを選び、決定を押す
   - 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
   - 取りはずしが完了するまで、USBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。
4. 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

お知らせ

- 電源起動時、登録されたUSBハードディスクが接続されていると「取りはずし」を実行していても、自動で検出されます。(クイック起動「入」時除く)

録画時間

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により、下記の時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

USBハードディスクの容量と録画時間について

- 録画時間は、お使いになるUSBハードディスクの容量によって異なります。

容量／放送の種類	BS・110度CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
4TB	約348時間	約480時間	約694時間
3TB	約260時間	約360時間	約520時間
2TB	約174時間	約240時間	約347時間
1TB	約87時間	約120時間	約173時間
500GB	約44時間	約60時間	約87時間

次ページへつづく⇒

録画時間

お知らせ

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間は、BS/110度CS放送は約24Mbps、地上デジタル放送は約17Mbpsで算出しています。
- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により
  ⇒3-11ページの時間を下回るまたは上回る場合があります。

テレビ番組を録画・再生する



見ている番組を録画する

視聴中の番組を録画する（一発録画）

- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重要 ◆

- 録画予約の待機中や録画実行中に電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
- 録画の前に「録画をする前にお読みください」をご覧ください。
  （⇒3-1ページ）
- USBハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- 録画 でUSBハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」（⇒7-29ページ）で「USB-HDD」または「録画／予約時に選択する」を選択しておく必要があります。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する



見ている番組を録画する

視聴中の番組を録画する（一発録画）

1. 録画したい放送の種類を選ぶ
   - 地上 BS CS のいずれかを押して録画したい放送の種類を選びます。
   - 「視聴年齢制限」（⇒7-45ページ）をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ
3. 録画をはじめる
   - 録画 ● を押し、録画先を選択します。
   - テレビ画面に録画開始のメッセージ、録画チャンネルが表示され、TIMER/RECランプが赤色に点灯します。
   - 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、停止 ■ を押し、メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- デジタル放送はB-CASカードを挿入しないと視聴・録画できません。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

デジタル放送の番組を録画予約する

- 番組表を使って、番組を録画予約できます。
- 8日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、100番組です。

◆ 重要 ◆

- 録画予約する前に、USBハードディスクかファミリンク録画機器が接続されていることを確認してください。
- 録画予約の前に「録画をする前にお読みください」(⇒3-1ページ)をご覧ください。
- 録画予約の待機中や録画実行中に電源プラグを抜かないでください。

電源プラグを抜くと…

- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する



デジタル放送の番組を録画予約する

デジタル放送の番組を録画予約する

お知らせ

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

1. 録画したい放送の種類を選ぶ
   - 地上 BS CS のいずれかを押して、録画したい放送の種類を選びます。
2. (予約) 番組表 を押し、番組表を表示する
3. 上下左右カーソルボタンで予約したい番組を選ぶ

次ページへつづく⇒



デジタル放送の番組を録画予約する

デジタル放送の番組を録画予約する

4. 「録画予約」を選んで(決定)を押す
   - 他の予約と予約時間が重なる番組を選んだときは画面にメッセージが表示されます。画面の説明に従って操作してください。
     (⇒8-51ページ)
   - 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

   USBハードディスクが接続されていないときは
   - 「録画予約」は選択できません。

5. 「この内容で録画予約」で(決定)を押す



6. (予約) 番組表を押し、番組表を消す
   - 予約が設定されると、本体のTIMER/REC(タイマー／録画)ランプが橙色に点灯します。

録画予約の取り消し・変更をしたいときは
- ⇒3-24・3-25ページをご覧ください。

テレビ番組を録画・再生する



デジタル放送の番組を録画予約する

繰り返し予約をする

- 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し録画予約できます。

1. (予約) 番組表 を押し番組表を表示し、上下左右カーソルボタンで繰り返し予約をしたい番組を選んで 決定 を押す
2. 「録画予約」を選んで 決定 を押す
   - 予約した番組を予約リストからも選べます。
3. 上下左右カーソルボタンで、「繰り返し録画」の「する」を選んで、 決定 を押す
4. ①上下カーソルボタンで「録画時間」を選ぶ
   ②上下カーソルボタンで「放送時間に合わせて自動設定」「曜日・時間指定による繰り返し」のどちらかを選ぶ



次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

デジタル放送の番組を録画予約する



繰り返し予約をする

5. 「曜日設定」を選び、上下カーソルボタンで「毎週○曜日」、「毎日」、「毎週月曜日～金曜日」、「毎週月曜日～土曜日」、「毎週火曜日～土曜日」、「好きな曜日を複数指定する」のいずれかを選ぶ
   - 手順4で「放送時間に合わせて自動設定」を選択した場合は、手順7に進みます。
6. 数字ボタンで録画開始時間と録画終了時間を設定する
7. 上下左右カーソルボタンで「決定」を選び、決定を押す
8. 上下左右カーソルボタンで「この内容で録画予約」で決定を押す

※「曜日・時間指定による繰り返し」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。「放送時間に合わせて自動設定」の場合は、初回予約時の前後3時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

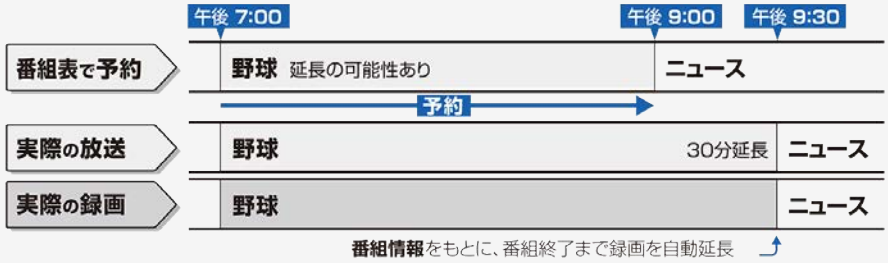
テレビ番組を録画・再生する

デジタル放送の番組を録画予約する

デジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

スポーツ番組を番組表から録画予約したとき



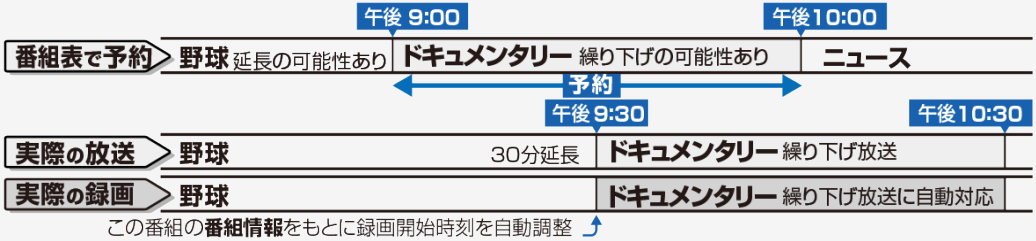
お知らせ

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、変更した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）
- 外部ビデオ入力の録画には対応していません。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の延長予約について

繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき



お知らせ

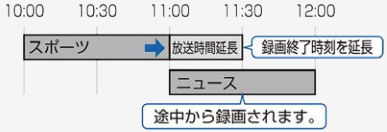
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、変更した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）
- 放送される番組によっては、延長に対応できない場合もあります。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の延長予約について

番組の延長により、予約が重なった場合

- 予約Aと予約Bが重複できない予約の場合、先の予約録画が終了したあと、次の重なった予約録画を途中から実行します。



- 番組が繰り下げられた場合も同様です。



お知らせ

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。受信機レポートをご確認ください。

テレビ番組を録画・再生する



録画予約を確認・取り消し・変更する

- 録画先をUSBハードディスクやファミリンク機器に変更するときや、日時を指定して予約したいとき、視聴予約、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

実行中の予約録画を解除するには

1. (予約) 番組表 を押し番組表を表示する
2. 青 を押し機能メニューを表示する
3. 上下カーソルボタンで予約リストを選び、決定 を押す
4. 左右カーソルボタンで「録画を停止する」を選んで、決定 を押す

予約を確認する

1. (予約) 番組表 を押し番組表を表示する
2. 青 を押し機能メニューを表示する
3. 上下カーソルボタンで予約リストを選び、決定 を押す
   - 予約の設定内容が表示され、確認できます。

テレビ番組を録画・再生する



録画予約を確認・取り消し・変更する

予約を取り消す

1. (予約) 番組表 を押し番組表を表示する
2. 青 を押し機能メニューを表示する
3. 上下カーソルボタンで予約リストを選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで取り消したい予約番組を選んで、決定を押す
5. 左右カーソルボタンで「録画予約変更/取消」を選び、決定を押す
6. 上下左右カーソルボタンで「録画予約を取消」を選んで決定を押し、左右カーソルボタンで「はい」を選び、決定を押す

テレビ番組を録画・再生する

録画予約を確認・取り消し・変更する

予約の設定を変更する

1. (予約) 番組表 を押し番組表を表示する
2. 青 を押し機能メニューを表示する
3. 上下カーソルボタンで「予約リスト」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで設定を変更したい予約番組を選んで、決定を押す
5. 左右カーソルボタンで「録画予約変更/取消」を選び、決定を押す
6. 上下左右カーソルボタンで変更したい内容を設定し、「決定」を選び、決定を押す

予約の設定項目

繰り返し録画：する／しない

録画時間（繰り返し録画「しない」の場合）：番組指定予約／時間指定予約

録画時間（繰り返し録画「する」の場合）：放送時間に合わせて自動設定／曜日・時間指定による繰り返し

曜日設定：毎週〇曜日／毎日／毎週月曜日～金曜日／毎週月曜日～土曜日／毎週火曜日～土曜日／好きな曜日を複数指定する

7. 上下左右カーソルボタンで「この内容で変更」を選び、決定を押す

テレビ番組を録画・再生する



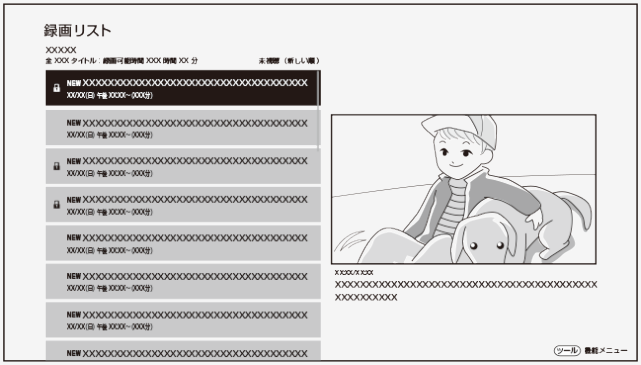
USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストについて

録画リスト

- [　] を押して、USBハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

録画リストの画面例

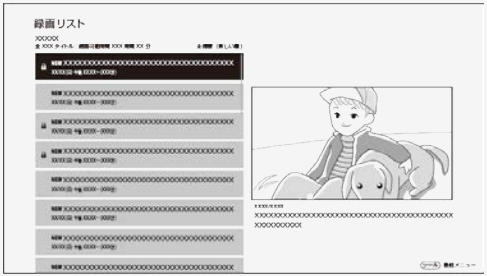

録画リスト
XXXXX
NEW XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XX/XX(日) 午後 XXXX~XXXX分

テレビ番組を録画・再生する

USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストについて

録画リストの画面例



録画リストでできること

- 録画リストで（映像調整）ツールを押すと、機能メニューが表示されます。
- 機能メニューから、次のことができます。
  - 録画した番組の消去（⇒3-35～3-37ページ）
  - 録画した番組を最初から再生（⇒3-31ページ）
  - 録画した番組のタイトル名の変更（⇒3-38ページ）
  - 録画した番組のタイトル保護／解除（⇒3-39～3-43ページ）
  - 録画した番組の並べ替え（⇒3-44ページ）
  - 録画した番組のタイトル検索（⇒3-45ページ）

お知らせ

- 本機以外につないで録画したUSBハードディスクや、登録解除したUSBハードディスクは再生できません。

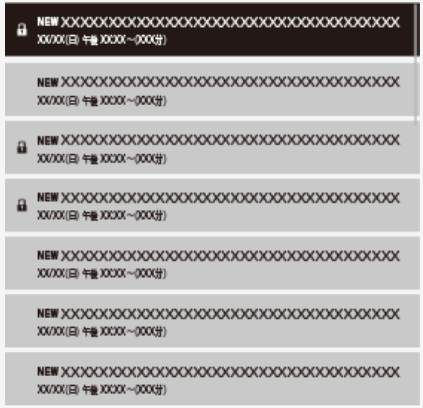
テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストから再生する

1. 録画リスト ▭ を押して、録画リストを表示する
   - ·ホーム画面から「録画リスト」を選んでも表示することができます。
2. 上下カーソルボタンで再生したい番組を選び、決定 を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストから再生する

- 再生中はリモコンの(前/早戻し)(再生)(早送り/次)(10秒戻し)(一時停止/静止)(停止)(30秒送り)で操作することができます。番組によっては、操作できない機能があります。
- (約1.5倍速)のときは、早見視聴ができます。
- 表示の順番を変更する場合は、「録画した番組の並び替えをする」(⇒3-44ページ)をご覧ください。

(前/早戻し)(早送り/次)について

前/早戻し	いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)
早送り/次	次のチャプターを頭出しします。 長押しで早送りになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)



USBハードディスクに録画した番組を再生する

停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

停止した場所からつづけて再生するときは

1. 再生 を押す
   - つづきから再生できます。

はじめから再生するときは

1. 録画リストを表示する
   - ⇒3-28ページ

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

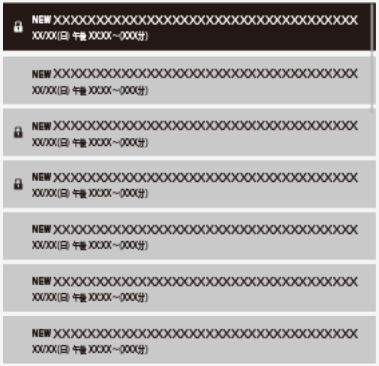


USBハードディスクに録画した番組を再生する

停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

はじめから再生するときは

2. 上下カーソルボタンで再生したいタイトルを選ぶ



3. (映像調整) ツール を押して、機能メニューから「最初から再生」を選ぶ
   - 選んだタイトルがはじめから再生されます。

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

- 録画中の番組を再生することができます。
- 一発録画、予約録画に対応しています。

◆重要◆

- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません
- HDDの残量が少ないとき

1. 録画リスト を押す
2. 上下カーソルボタンで再生したいタイトルを選び 決定 を押す
   - 追いかけ再生を停止するには 停止 を押します。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

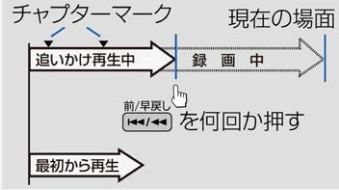


USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

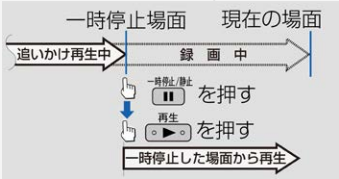
追いかけ再生中の早戻し／早送り

- 追いかけ再生中に 前/早戻し ⏮/◀◀ または 早送り/次 ▶▶/⏭ を長押しすると早戻し／早送り再生になります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。（4段階）
- 番組の途中にチャプターマークがある場合でも、最初から見られます。



追いかけ再生中に一時停止した場合

- 下図のように再生を再開することができます。



次ページへつづく⇒

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

- 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が6時間以上続いたときは、録画が停止します。録画が停止した時点で追いかけ再生から通常再生に変わります。
- 追いかけ再生中に早送りをしたとき、現在放送されている場面（録画中の画面）の手前になると早送りが解除されます。放送中の番組をご覧ください。
  戻るタイミングは、早送りのスピードにより異なります。
- 早見視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

タイトルを1つ選んで消去する

お知らせ

- 消去したタイトルは復活できません。

1. 録画リスト を押して、録画リストを表示する
2. 上下カーソルボタンで消去したいタイトルを選ぶ
   - 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「タイトル保護/解除」(⇒3-39ページ)を行ってください。
3. (映像調整) ツール を押し、機能メニューを表示する
4. 「消去」を選び、決定を押す
5. 「1タイトル消去」を選び、決定を押す
6. 「する」を選び、決定を押す
   - 選んだタイトルが消去されます。
   - 消去中は、電源を切らないでください。
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

複数のタイトルを選んで消去する

1. 録画リスト を押して、録画リストを表示する
2. (映像調整) ツール を押し、機能メニューを表示する
3. 「消去」を選び、決定 を押す
4. 「選択タイトル消去」を選び、決定 を押す
5. カーソルボタンで消去したいタイトルを選び、決定 を押す
   - 1回の操作で最大20タイトルまで選べます。
   - 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。
6. 赤 を押す
7. 「消去する」を選び、決定 を押す
   - ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

USBハードディスクに録画した番組を再生する

タイトルをすべて消去する



1. 録画リスト ボタンを押して、録画リストを表示する
2. (映像調整) ツール ボタンを押し、機能メニューを表示する
3. 「消去」を選び、決定を押す
4. 「全タイトル消去」を選び、決定を押す
5. 「する」を選び、決定を押す
   - すべてのタイトルが消去されます。(保護されたタイトルは残ります。)
   - 消去中は、電源を切らないでください。
   - 操作を終了する場合は、終了 ボタンを押します。

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画した番組のタイトル名を変更する

1. 録画リスト を押して、録画リストを表示する
2. タイトル名を変更したいタイトルを選び、機能メニューを表示する
   - 上下左右カーソルボタンで選び、(映像調整) ツール を押します。
3. 「タイトル名変更」を選び、決定を押す
4. ソフトウェアキーボードを使ってタイトル名を変更する
5. 「次へ」を選び、決定を押す
6. 「変更する」を選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

タイトルを1つ選んで保護／解除する

1. 録画リスト を押して録画リストを表示し、保護／保護解除したいタイトルを選ぶ
2. (映像調整) ツール を押して、機能メニューから「タイトル保護/解除」を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「1タイトル保護/解除」を選び、決定 を押す
4. 上下カーソルボタンで「保護する」または「保護解除する」を選び、決定 を押す
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

テレビ番組を録画・再生する

USBハードディスクに録画した番組を再生する

複数のタイトルを選んで保護／解除する



1. 録画リスト ▭ を押して、録画リストを表示する
2. (映像調整) ツール ▭ を押して機能メニューから「タイトル保護/解除」を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「選択タイトル保護/解除」を選び、決定 を押す

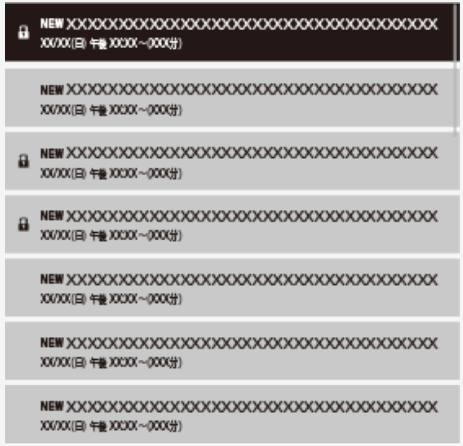
次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

USBハードディスクに録画した番組を再生する

複数のタイトルを選んで保護／解除する

4. カーソルボタンで保護／解除したいタイトルを選び、決定を押す



- 保護したいタイトルに、「 🔒 」マークを付けます。
- 1回の操作で最大20タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルには「 🔒 」マークが付きます。もう一度選ぶと「 🔒 」マークが外れます。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

USBハードディスクに録画した番組を再生する

複数のタイトルを選んで保護／解除する



5. 赤 を押す

6. 「保護/解除する」または「保護/解除しない」を選び、決定を押す

   - 「🔒」マークが付いたタイトルが保護されます。
   - 「🔒」マークのない（外した）タイトルは保護されません。
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

タイトルを全て保護／解除する

1. 録画リスト ▭ を押して、録画リストを表示する
2. (映像調整) ツール ▭ を押して機能メニューから「タイトル保護/解除」を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「全タイトル保護/解除」を選び、決定 を押す
4. 上下カーソルボタンで「保護/解除する」または「保護/解除しない」を選び、決定 を押す

- 操作を終了する場合は、終了 ▭ を押します。

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画した番組の並び替えをする

1. 録画リスト ▭ を押して、録画リストを表示する
2. (映像調整) ツール ▭ を押して、機能メニューから「並べ替え」を選び、決定 を押す
3. 「新しい順」「古い順」「未視聴（新しい順）」「既視聴（古い順）」「タイトル名順」「保護無し（古い順）」「データサイズ順」のいずれかを選んで、決定 を押す
   - 並べ替えを行うと、録画リストの中にあるタイトルが選択した順に並べ替えられます。
   - タイトル名順は、登録されたタイトル毎に表示します。

テレビ番組を録画・再生する



USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画した番組を録画リストのタイトルから探す

1. 録画リスト を押して、録画リストを表示する
2. ツール を押して、機能メニューから「タイトル検索」を選び、決定 を押す
3. ソフトウェアキーボードを使ってキーワードを入力する
4. 「検索」を選び、決定 を押す
   - 入力したキーワードを含む録画番組が一覧で表示されます。

テレビ番組を録画・再生する

録画関連の操作や設定をする

USBハードディスクの名前を変えるときは

- USBハードディスクを複数台登録したときにつないだ機器を識別しやすくするために、各USBハードディスクに名前を付けることができます。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「録画機器設定」ー「機器名の変更」を選び、決定を押す
2. 名前を変更したいUSBハードディスクを選び、決定を押す
3. 「はい」を選び、決定を押す
4. 「はい」を選び、決定を押す
5. ソフトウェアキーボード（⇒7-74ページ）で、新しい名前を入力する
6. 「完了」で決定を押す



テレビ番組を録画・再生する



録画関連の操作や設定をする

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（チャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「録画機器設定」ー「チャプター設定」を選び、決定を押す
2. 「5分」「10分」「15分」「30分」「しない」のいずれかを選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

テレビ番組を録画・再生する

録画関連の操作や設定をする

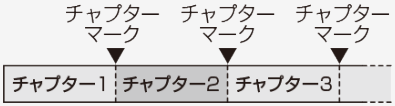
録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（チャプター設定）

項目	内容
しない	チャプターが入りません。
5分	5分間隔でチャプターが入ります。
10分	10分間隔でチャプターが入ります。
15分	15分間隔でチャプターが入ります。
30分	30分間隔でチャプターが入ります。

チャプターマークとチャプターとは

- チャプターマークで区切られた部分がチャプターになります。

タイトル

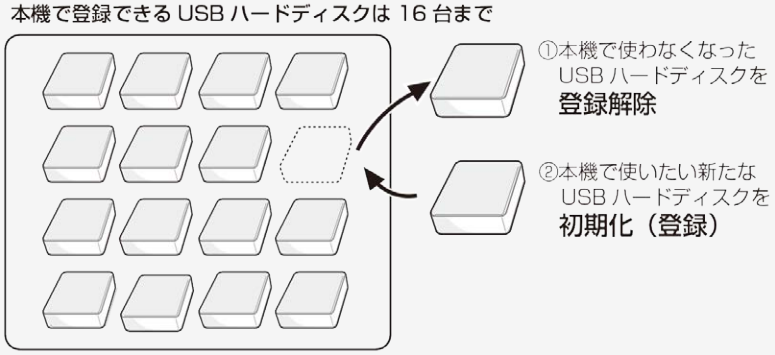


お知らせ

- 録画中は、チャプター間隔を変更できません。

本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは

- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。（本機で初期化をすると、自動的に登録されます。）
- 本機に登録していないUSBハードディスクでは、録画・再生できません。
- 本機に16台のUSBハードディスクが登録された状態で、新たなUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。



◆ 重要 ◆

- 登録解除されたUSBハードディスクは、本機で録画・再生できなくなります。
- 再登録するためには、本機で初期化する必要があります。（初期化すると録画したタイトルは全て削除されます。）

次ページへつづく⇒



録画関連の操作や設定をする

本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは

- 本機に登録しているUSBハードディスクを選んで、本機の登録リストから削除します。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「録画機器設定」ー「登録解除」を選び、決定を押す
2. 登録を解除したいUSBハードディスクを選び、決定を押す
3. 「はい」を選び、決定を押す
4. 「はい」を選び、決定を押す
   - このUSBハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、このUSBハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。
5. 「完了」で決定を押す

- 新たに登録したいUSBハードディスクを本機で使えるように初期化してください。(⇒3-9ページ)

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

- 本機で音声検索やインターネット動画を楽しむためには、インターネット環境やLAN環境が必要です。通信端末認定品の市販のルーターなどを使って、ネットワーク接続をしてください。

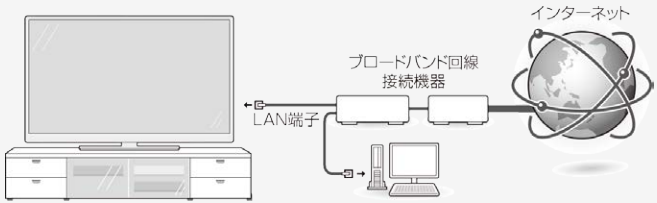
インターネット環境とLAN環境の用意のしかた

1. 本機が接続できるインターネット環境を確認する
   ⇒4-2～4-21ページ

インターネット環境の確認
・⇒4-2～4-21ページ

ブロードバンドルーターと本機を接続する
・⇒4-4～4-5ページ

インターネット環境がない場合の用意のしかた
・⇒4-3～4-5ページ



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

インターネット環境を用意する

- すでにインターネット環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。
（⇒4-4～4-5ページ）
- 映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機をLANケーブルでの接続をおすすめします。LANケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

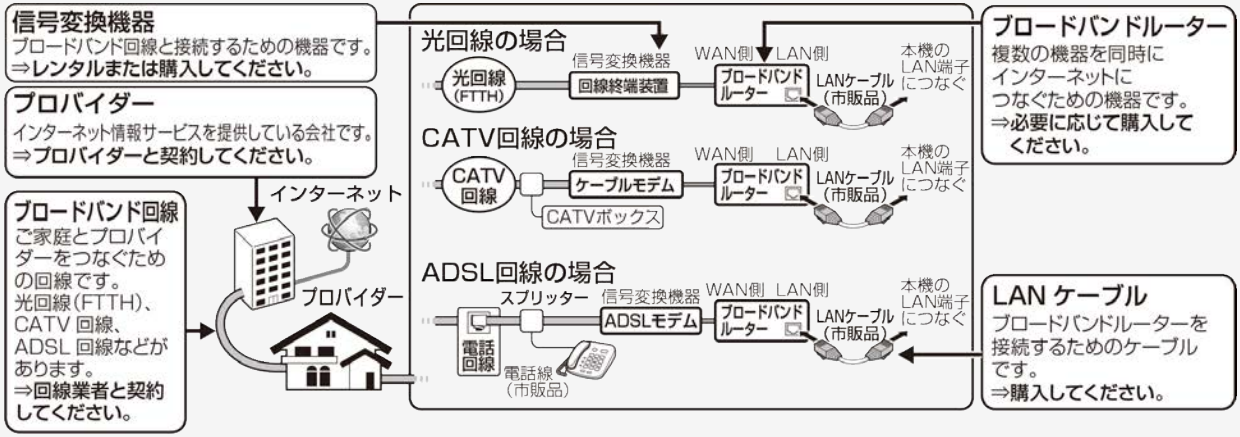
インターネットの準備をする

インターネット環境を用意する

インターネット環境がない場合

- 下記環境をご用意ください。
  インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV回線・ADSL回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

本機をインターネットに接続するためのインターネット環境



次ページへつづく⇒

インターネット環境を用意する

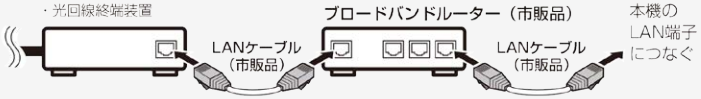
本機をインターネットに接続するためのLAN環境

- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

接続例 A

ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
ルーター機能が付いていない場合

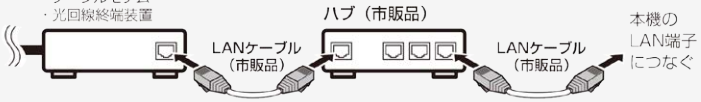
信号変換機器（ルーター機能なし）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置



接続例 B

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
LAN端子の空きがない場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

インターネット環境を用意する

本機をインターネットに接続するためのLAN環境

接続例 **C**

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置



接続例 **D**

無線LAN環境の場合⇒4-8ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

有線LANで接続する

- 本機に有線LANケーブルを接続してください。

有線LAN接続設定を確認・変更する

- 有線LAN接続完了後、設定を確認・変更することができます。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び決定を押す
   - ホーム画面の「ネットワーク設定」からも設定できます。
   - 設定内容が表示されます。
2. 設定を変更する場合は、「プロキシ設定」または「IP設定」を選んで決定を押す

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

有線LAN接続設定を確認・変更する

- プロキシ設定

  プロキシを設定することができます。
  プロキシを使用する場合は「手動」を選び、設定してください。

- IP設定

  IPアドレスを設定することができます。
  手動でIPアドレスを設定する場合は、「静的」を選び設定してください。

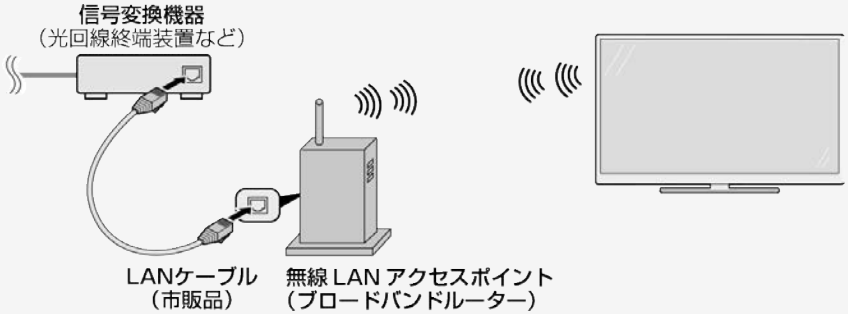
次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LANで接続する場合

- ブロードバンドルーターが無線LANに対応している場合やアクセスポイント（無線LAN親機）につながっている場合は、無線LANで接続できます。
- 有線LANケーブルの配線が不要になり、使いやすく便利です。



次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LANで接続する場合

お知らせ

- 無線LAN接続をご利用になる場合はアクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。アクセスポイントは安定したワイヤレス接続のために802.11n（5GHz）方式／AES暗号化に対応した製品のご使用をおすすめします。
- 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、初期化してください。
「データの初期化」（⇒7-22ページ）
- お使いの無線LAN環境によっては、インターネットサービスへの接続に時間がかかることがあります。
- 4K映像配信サービスのご利用には、無線LAN接続以上の通信速度が必要になる場合があります。
映像に乱れや停止などが発生する場合は、無線LAN接続ではなく、有線LAN接続してください。
（⇒4-6ページ）

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LANで接続する場合

アクセスポイントに接続する

- 無線LANに接続するには、アクセスポイント（無線LAN親機）と本機の接続設定をしておく必要があります。
- WPS対応のアクセスポイントをお使いになる場合は、WPSでの接続がおすすめです。
  WPSに対応していないアクセスポイントをお使いの場合は、「無線LAN接続設定を行う」の手順で接続の設定をしてください。
  （⇒4-12～4-13ページ）
- WPSでの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式がありますが、プッシュボタン方式で接続すると、簡単に設定することができます。
- WPSでの接続には、アクセスポイントのセキュリティ設定が、None／WPA-TKIP／WPA2-AESの必要があります。WEP設定では接続失敗するため、アクセスポイントの設定を見なおして下さい。

プッシュボタン方式

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、自動的に接続できます。
  「プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する」（⇒4-14～4-15ページ）

次ページへつづく⇒

無線LANで接続する場合

PINコード方式

- PIN（Personal Identification Number）コードとは、アクセスポイントや本機などの機器がお互いに情報をやり取りするときに機器の識別に利用するための識別番号のことです。
- PINコードを手動で入力して接続の設定をします。
「PINコード方式でアクセスポイントに接続する」（⇒4-16～4-17ページ）

お知らせ

- Wi-Fi接続設定をした後で有線LAN接続に切り換えたい場合は、Wi-Fiをネットワークから切断してください。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を行う

この操作を行うまえに、本機のインターネット環境とLAN環境を確認してください。
「インターネット環境とLAN環境の用意のしかた」
(⇒4-1ページ)

事前にアクセスポイント(市販品)の「SSID」とパスワード(KEYやPINなど)を確認してください。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び決定を押す
   - ホーム画面の「ネットワーク設定」からも設定できます。
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、決定を押して「入」にしてください。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を行う

操作のしかた

3. 「利用可能なネットワーク」から「SSID（アクセスポイントの名称）」選び、決定を押す
   - 接続したい「SSID（アクセスポイントの名称）」が表示されない場合は「すべて表示」から選択してください。
   - WPS経由の接続をする場合は「WPS経由の接続」を選択してください。（⇒7-26ページ）
   - 「新しいネットワークを追加」から、新たにネットワークを追加することができます。
4. アクセスポイントのパスワードを入力する

無線設定を行う

- 接続ができない場合は、「無線LAN接続設定を確認する」の手順でネットワークの設定を確認してください。（⇒4-18～4-19ページ）
- 無線接続が選ばれていて接続ができない場合は、「無線LANで接続できない」の手順で無線接続設定を確認してください。（⇒8-26ページ）

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

プッシュボタン方式とは

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、無線LANの接続を自動設定する方法です。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び決定を押す
   - ホーム画面の「ネットワーク設定」からも設定できます。
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、決定を押して「入」にしてください。
3. 「WPS経由の接続」を選び、決定を押す
4. 「プッシュボタン」を選び、決定を押す
5. アクセスポイントのWPSボタンを押す

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

- WPSボタンとは、無線LAN自動接続のためのボタンです。
- アクセスポイントによっては、WPSボタンの名称が異なる場合や、ボタンを数秒間押し続ける必要があります。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントのWPSボタンを押すと、無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了すると、接続の内容が表示されます。
- 操作を終了する場合は、終了を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。
  それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」をご覧ください。
  （⇒8-26ページ）

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

PINコード方式とは

- PINコードを入力して無線LANの接続を設定する方法です。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び決定を押す
   - ホーム画面の「ネットワーク設定」からも設定できます。
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、決定を押して「入」にしてください。
3. 「WPS経由の接続」を選び、決定を押す
4. 「PINコード」を選び、決定を押す
5. 表示されたPINコードを、アクセスポイントに設定する。
   - 設定のしかたは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

- 操作を終了する場合は、終了を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。
  それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」をご覧ください。
  （⇒8-26ページ）

次ページへつづく⇒

無線LAN接続設定を確認する

- 無線LAN接続完了後、設定を確認することができます。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び決定を押す
   - ホーム画面の「ネットワーク設定」からも設定できます。
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、決定を押して「入」にしてください。
3. 接続したアクセスポイントのSSID（アクセスポイントの名称）を選び、決定を押す
4. 「ステータス情報」を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を確認する

ステータス情報

- インターネット接続
  ネットワークの接続状態が表示されます。
- IPアドレス
  本機のIPアドレスが表示されます。
- MACアドレス
  本機のMACアドレスが表示されます。
- 電波強度
  電波強度が表示されます。
  「強」になるようにアクセスポイントの位置を調整してください。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を変更する

無線LAN接続設定完了後、設定を変更することができます。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「通信設定」ー「LAN設定」を選び決定を押す
   - ホーム画面の「ネットワーク設定」からも設定できます。
2. 「Wi-Fi」が「入」になっていることを確認する
   - 「切」になっているときは、決定を押して「入」にしてください。
3. 接続したアクセスポイントのSSID(アクセスポイントの名称)を選び、決定を押す
4. 「詳細オプション」を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する



インターネットの準備をする

無線LAN接続設定を変更する

詳細オプション

「プロキシ設定」

プロキシを設定することができます。
プロキシを使用する場合は「手動」を選び、設定してください。

「IP設定」

IPアドレスを設定することができます。
手動でIPアドレスを設定する場合は、「静的」を選び設定してください。

IPアドレスの入力のしかた

1. 入力欄を選び、(決定)を押す
   - ソフトウェアキーボードが表示されます。
2. 文字を入力する
   - 画面に従って入力してください。

お知らせ

IPアドレスについて

- TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットワークに接続する

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ブロードバンドルーターのDHCP機能（IPアドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP機能を使用しない場合は、IP設定でIPアドレスなどを入力してください。
（⇒4-21ページ）
- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。

次ページへつづく⇒

ネットワークに接続する

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

LAN設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- インターネット環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

アプリを使う

ココロビジョンを利用する

ご購入後、初めてココロビジョンを起動するとき

準備

- ネットワークに接続されていることをご確認ください。
- あらかじめ、インターネットを利用する際の注意事項が書かれたAQUOSプライバシーポリシーへの同意が必要です。(⇒7-24ページ)

初回起動時の流れ

- 初めてココロビジョンを起動すると、ココロビジョン紹介動画が再生されます。
- つづいてココロビジョン利用規約の同意画面が表示されます。
- 最後に、ココロビジョンを便利にお使いいただくための設定画面が表示されます。



※インターネット通信を行い、カードの情報を収得しますので、表示に時間がかかることがあります。

次ページへつづく⇒

アプリを使う



ココロビジョン画面の使いかた

- ココロビジョン画面の見かたや使いかたを説明します。

時刻表示部
・時間は12時間時計です。24時間時計への変更はできません。

日付表示部

天気予報表示部
・本機に地域設定で登録された天気情報が表示されます。

背景動画情報表示部
（表示されない場合もあります。）
・リモコンのカーソルボタンで選択し、決定ボタンを押します。



操作アイコン
・リモコンのカーソルボタンで選択し、決定ボタンを押します。
①テレビアイコン：テレビ画面に切り換わります。
②設定アイコン：ココロビジョンの設定や注意事項などを表示します。
③作品コピーライトアイコン：作品の著作権情報が表示されます。

次ページへつづく⇒

アプリを使う



ココロビジョン画面の使いかた

- ココロビジョン画面の見かたや使いかたを説明します。



選択カード

・リモコンのカラーボタンで直接選択できます。
リモコンのカーソルボタンでカードを選び、決定ボタンを押して選択することもできます。
表示されるカードの内容により、さまざまな画面に切り換わります。

背景に表示される動画は、自動的に配置されます。お好みの映像に差し替えることはできません。

次ページへつづく⇒

アプリを使う

ココロビジョン画面の使いかた

お知らせ

- 人感センサーが検知しても、暗い部屋では明るさセンサーと連動して自動起動しないことがあります。
- ココロビジョンが人感センサーで起動した場合、ココロビジョンスタート画面のまま無操作の状態が約1分継続すると、自動的に電源は待機状態に戻ります。
- 人感センサー無効時間で設定した期間は、人感センサーによる自動機能は働きません。

人感センサーについて

- 人感センサーは、体温などの熱源の動きを感知します。以下の場合は、人がいても感知しない場合があります。
  - 極端な厚着または、肌の露出が少ない場合
  - 本機と人の間に洗濯物、ソファー、家具、ガラスなどの障害物がある場合
  - 人がいても、動きが少ない場合
  - 人が静止している状態
  - 夏場で室温が約30℃以上あるなど、室温が高く人の体温との温度差が小さい場合

  また、次のような場合は、人がいなくても感知することがあります。

  - 部屋で犬や猫などが動いている場合
  - 部屋のカーテンや植物の葉が、風で揺れている場合
  - 首振り式の電気ヒーターなどが動いている場合
  - 本機が振動などで揺れた場合
- 人感センサーが検知できる範囲は、センサー部を中心に左右90° の3m以内となります。

次ページへつづく⇒

アプリを使う

ココロビジョン画面の使いかた

- ココロビジョン画面の見かたや使いかたを説明します。



選択カードの説明　（2017年8月現在）

	放送中のテレビ番組	放送予定のテレビ番組	ネットワーク動画	音楽サービス	ゲーム配信
①					
②	番組関連画像・ジャンル画像		動画作品の関連画像	音楽関連の画像	ゲーム作品の関連画像
③	番組名		作品タイトル名	プレイリストタイトル	作品タイトル名
④	放送時間		再生時間	曲数/再生時間	ゲームジャンル
⑤	放送局		サービス提供会社アプリ名		
⑥	ココロビジョンからのおすすめ理由、カードの説明など				
⑦	選択したカードやアイコンの詳しい説明				
カードを選ぶと・・・	テレビ番組を選局します	番組表の番組詳細画面に切り換わります	ネット配信動画の作品タイトルに切り換わります	楽曲の再生がスタートします	ゲームアプリの作品タイトル画面に切り換わります

次ページへつづく⇒



ココロビジョン設定メニュー項目の一覧

ココロビジョン設定

ココロビジョンに関する設定ができます

ココロビジョン自動起動

- 明るい部屋で、人感センサーが感知するとココロビジョンを自動的に起動する設定です。

メニュー項目名	設定	
ココロビジョン自動起動	有効	「常に有効」
		「指定した時間のみ有効」 開始時刻と終了時刻を1時間単位で設定できます。
	「無効」	

お知らせ

- ココロビジョンを自動起動させる場合、「常に有効」または「指定時間のみ有効」に設定してください。
「無効」を選ぶと自動で起動しません。
- 部屋が暗いとき、「有効」に設定していても自動で起動しないことがあります。
- クイック起動が「切」のときは、「自動起動」を「有効」にすることはできません。あらかじめ、「クイック起動」を「有効」にする必要があります。(⇒7-9ページ)

次ページへつづく⇒



ココロビジョン設定メニュー項目の一覧

ココロビジョン設定（つづき）

人感センサー無効時間

- 電源を待機状態にした後、人感センサーを無効にする時間を設定します。

メニュー項目名	設定
人感センサー無効時間	1分、5分、15分、30分、60分

次ページへつづく⇒



ココロビジョン設定メニュー項目の一覧

ココロビジョン設定（つづき）

人感センサーテスト

- 人感センサーの検知状態を画面で確認できます。感知してから画面に表示されるまで、時間がかかる場合があります。

発話音声

- 発話の音声を「女性」または「男性」に設定できます。「マナーモード」に設定すると発話はしません。

メニュー項目名	設定
人感センサーテスト	
発話音声	女性、男性、マナーモード

次ページへつづく⇒



ココロビジョン設定メニュー項目の一覧

ココロビジョン設定（つづき）

コンテンツの提供元について

- ココロビジョンが発話したり、画面に表示する情報の提供元を表示します。

利用規約

- ココロビジョンの利用規約を表示します。

バージョン情報

- ココロビジョンのソフトウェアバージョンを表示します。（画面は切り換わりません）

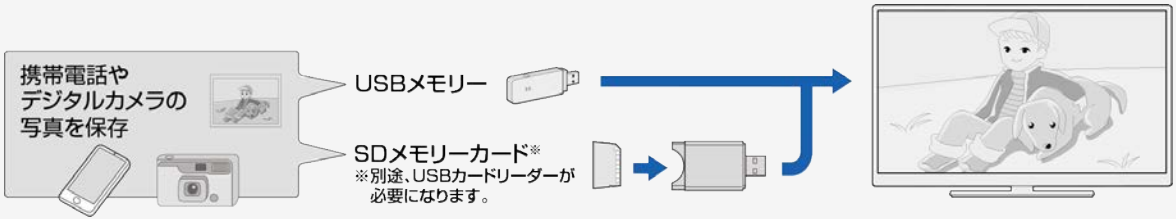
メニュー項目名
コンテンツの提供元について
利用規約
バージョン情報

次ページへつづく⇒

アプリを使う

コンテンツプレーヤー

- USBメモリーに保存されている写真・音楽・動画をコンテンツプレーヤーで再生することができます。



本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USB端子に取り付けられる機器
- USBメモリー、USBカードリーダー（マスストレージクラス）

ファイルシステム
- FAT、FAT32

本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USBメモリーの取り付け・取りはずしについて

- スライドショー中、画面切り換え中、または「コンテンツプレーヤー」を終了する前に、USBメモリーを本機から取り外さないでください。
- USBメモリーの抜き差しをむやみに繰り返さないでください。
- USBカードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをUSBカードリーダーに挿入し、その後USBカードリーダーを本機に接続してください。
- USBメモリーを本機のUSB端子に接続する場合、USB延長ケーブルは使わないでください。
  USB延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USBメモリーを取りはずすときは、「設定」ー「ストレージとリセット」から対象のUSBメモリーを選択し、「取り外し」を選択してください。
- 電源起動時、USBメモリーが接続されていると自動で認識し、検出画面が表示されます。(クイック起動「入」時除く)そこからコンテンツプレーヤーを起動できます。検出画面を表示しないようにするには、本体の電源を切った状態で、USBメモリーを取り外してください。

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

写真ファイル形式

- JPEG(.jpg)(DCF2.0準拠)
  最大解像度(画像サイズ):8192x8192画素
  最小解像度(画像サイズ):32x32画素

音楽ファイル形式

- MP3(.mp3)
  ビットレート:32～320kbps
  サンプリング周波数:32k, 44.1k, 48kHz
- WAV(.wav)
  ビットレート:64～1536kbps(LPCM)
  サンプリング周波数:32k、44.1k、48kHz
- WMA(.wma)
  ビットレート:32～384kbps
  サンプリング周波数:8k、11.025k、16k、22.05k、32k、44.1k、48kHz
- AAC(.m4a／.aac)
  ビットレート:1～1728kbps
  サンプリング周波数:
  8k、11.025k、12k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48kHz(AAC)
  16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48kHz(HE-AAC)

次ページへつづく⇒

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

音楽ファイル形式（つづき）

- FLAC（.flac）
  ビットレート：128～2304kbps
  サンプリング周波数：8k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48k、88.2k、96k、192kHz
  量子化ビット数：8、16、24bit

映像ファイル形式

- m2ts、mp4、3gp

お知らせ

- プログレッシブ形式のjpegファイルはサポートされていません。
- 3D形式の写真はサポートされていません。
- USB1.1の装置に入っている音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。
- USBメモリー機器によっては、保存されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- 対応のファイル形式であっても、正しく再生されないことがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

写真を表示する

この機能について

- USBメモリーにある写真を表示できます。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「コンテンツプレーヤー」アプリを選び、決定を押す



2. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、決定を押す



次ページへつづく⇒



コンテンツプレーヤー

写真を表示する

3. 上下左右カーソルボタンで写真を選び、決定を押す

- 写真のスライドショーが開始されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の画像が表示されます。

お知らせ

- 画面の左上に、ファイル名、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。
- 画面サイズの切り換えはできません。
- 写真データによっては、サムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でも、サムネイルは横位置で表示されることがあります。



コンテンツプレーヤー

写真表示中の操作について

お知らせ

- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続を確認してください。

写真を表示中の操作

同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。

黄 機能メニューを表示します。



コンテンツプレーヤー

スライドショーの設定をする

1. 写真のスライドショー表示中に黄を押し、機能メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで設定を選び、決定を押す

設定項目は⇒5-18ページ以降をご覧ください。

次ページへつづく⇒

スライドショーの設定をする

写真表示中の機能メニュー

リピート
- スライドショーのリピート設定をします。

シャッフル
- フォルダ内の画像をシャッフルしてスライドショー表示します。

時間
- 次の写真に切り換わるまでの時間を設定します。
- 写真によっては設定時間どおりに表示が切り換わらない場合があります。

エフェクト
- 写真が切り換わるときの視覚効果を設定します。

回転
- 表示中の写真を回転することができます。

ズーム
- 表示中の写真を拡大することができます。

お知らせ

- 回転とZoomはスライドショー中に決定を押し、一時停止した状態で機能メニューを表示すると表示されます。

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

音楽を再生する

この機能について

- USBメモリーにある音楽を再生できます。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「コンテンツプレーヤー」アプリを選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「音楽」を選び、決定を押す



3. 上下左右カーソルボタンで曲名を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

音楽を再生する

- 音楽が再生されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の音楽の一覧が表示されます。

お知らせ

- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、再生バーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

アプリを使う



コンテンツプレーヤー

音楽再生中の操作のしかた

再生 音楽を再生します。

一時停止/静止 音楽の再生を一時停止します。

停止 音楽の再生を停止します。

黄 機能メニューを表示します。

戻る 一覧表示に戻ります。

終了 コンテンツプレーヤーを終了します。

音楽再生中の機能メニュー

リピート
- リピート再生の設定をします。

シャッフルオン／シャッフルオフ
- フォルダ内の音楽をシャッフルして再生します。

スペクトラム表示／スペクトラム非表示
- スペクトラムを表示または非表示にします。

歌詞
- 歌詞の表示タイプを変更することができます。USBメモリー内に歌詞ファイルがあるときのみ利用できます。文字コードがUTF-8の歌詞ファイルのみサポートされています。



コンテンツプレーヤー

動画を再生する

この機能について

- USBメモリーにある動画を再生できます。

操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「コンテンツプレーヤー」アプリを選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「動画」を選び、決定を押す



次ページへつづく⇒



コンテンツプレーヤー

動画を再生する

3. 上下左右カーソルボタンで動画を選び、決定を押す
   - 動画が再生されます。
   - フォルダを選んだときはフォルダ内の動画の一覧が表示されます。

お知らせ

- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、再生バーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。
- 本機で再生できない動画が表示されることもあります。
- 表示される動画は、正常に再生できることを保証するものではありません。



コンテンツプレーヤー

動画再生中の操作のしかた

動画再生中の操作について

- 一時停止や再生などの操作ができます。
- 動画によっては操作できない場合があります。

再生	動画を再生します。
一時停止/静止	動画の再生を一時停止します。
前/早戻し	長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(最大5段階)
早送り/次	長押しで早送りになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(最大5段階)
停止	動画の再生を停止します。
黄	機能メニューを表示します。
戻る	一覧表示に戻ります。
終了	コンテンツプレーヤーを終了します。

動画再生中の機能メニュー

リピート

- リピート再生の設定をします。

画面サイズ

- 画面サイズを設定します。

アプリを使う



ホームネットワーク

- ホームネットワーク経由で映像・写真・音楽を本機で再生させることができます。(リモート再生機能)
- 対応機器についてはSHARP Webページ内　AQUOSサポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ

シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/aquos/

(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

接続するサーバー機器について

- 本機のホームネットワークをご利用になるときには、あらかじめサーバー機器をホームネットワークを利用できる状態にしておいてください。
- サーバー機器側を利用できる状態にするには設定が必要な場合があります。サーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご確認ください。
- サーバー機器は最大10台まで選択できます。

お知らせ

- 本機は、サーバー機能は非対応となります。

次ページへつづく⇒



ホームネットワーク

操作のしかた

1. ホーム を押してホーム画面を表示し、「ホームネットワーク」アプリを選び、決定 を押す
2. 利用したいサーバー機器を選び、決定 を押す
3. 画面に従って操作する

本機で再生できるサーバー上の写真について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されているJPEGファイルを再生できます。

再生できるJPEGファイル

- JPEG（LRG/MED/SML）

お知らせ

- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。
- パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- プログレッシブ形式のJPEGはサポートされていません。
- JPEG静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

本機で再生できるサーバー上の音楽について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されている音楽データを再生できます。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM：サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono
- MP3：サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono
- AAC：サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono

お知らせ

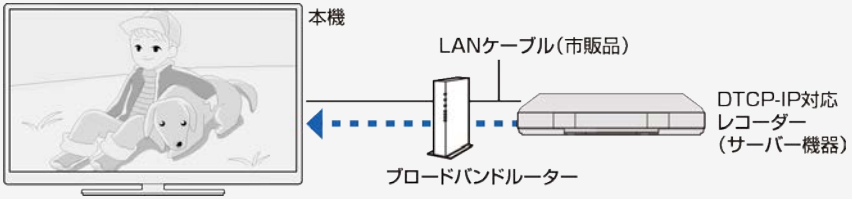
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。
  パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- ホームネットワークではFLACファイルは再生できません。

本機で再生できるサーバー上の動画について

- DTCP-IP対応レコーダーに保存されているデジタル放送の番組やサーバーに保存されている動画を再生できます。

DTCP-IPとは

- DTCP-IPは、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ(1回だけ録画可能なデジタル放送の番組など)を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IPは、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。



本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- MPEG2-PS、MPEG2-TTS、MP4形式の動画が再生できます。

次ページへつづく⇒

本機で再生できるサーバー上の動画について

お知らせ

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送のSTB（セットトップボックス）やCATV（ケーブルテレビ）のSTB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を全て保証するものではありません。レコーダーが配信可能な動画データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

次ページへつづく⇒

本機で再生できるサーバー上の動画について

DTCP-IP対応レコーダーの取扱説明書またはWebページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。(プレイリストは不可など)
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の動画を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況(使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など)によっては、動画をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機にサーバー名が表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーでBD/DVDの再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはHDD(ハードディスク)に記録されている映像のみ配信できます。BDやDVDの映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機のMACアドレスを登録する必要があります。
- 無線LAN環境でDTCP-IPにより著作権保護された映像を再生するには、無線LANのセキュリティ設定を行う必要があります。
  また、著作権保護された映像を安定して受信するためには、802.11a/n(5GHz)方式とAES暗号化によるセキュリティ設定を組み合わせてご利用いただくことをおすすめします。
- 無線LANを使用するときは、「無線LAN使用上のご注意」(⇒同梱の取扱説明書「使用上のご注意」)をご確認ください。

ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できるAQUOSレコーダーは3台までです。
- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
  - 4K2K出力に対応した機器をつなぐとき
  - 1080pの映像信号を入力するとき
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1または入力2に接続してください。また、設定メニュー内の「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。（⇒7-3ページ）
- ここで説明している接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

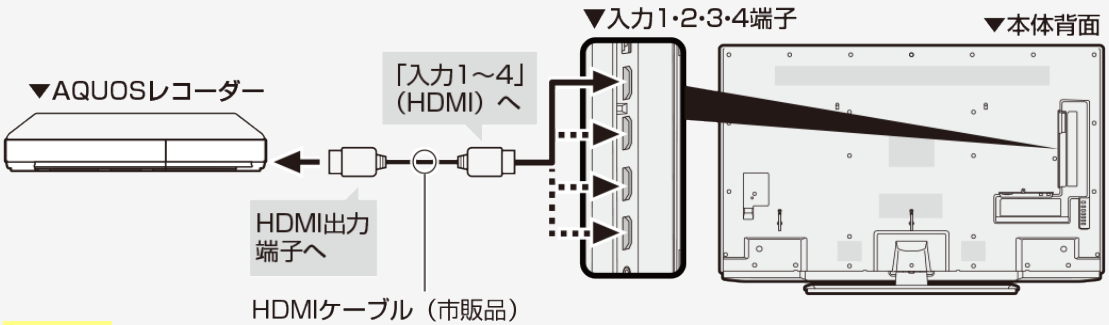
◆重要◆

- HDMIケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力1～4に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSレコーダーのみをつなぐとき



お知らせ

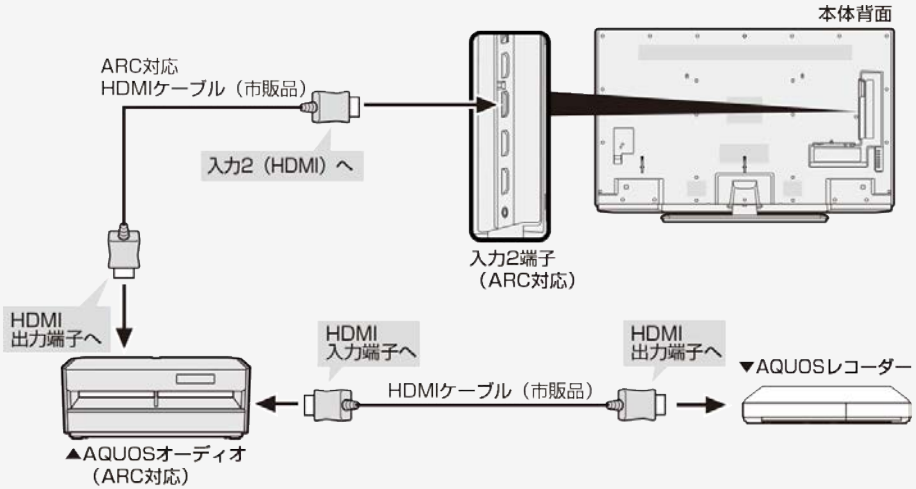
BDレコーダーなど他の機器を接続したとき、テレビの放送が映らなくなった場合は、次のことを確認してください。

- アンテナ線はBDレコーダーとテレビの両方に接続していますか。
- 地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子を間違えていませんか。
- BDレコーダーを経由してテレビにアンテナ線を接続しているときは、BDレコーダーのアンテナ入力とアンテナ出力を間違えて接続していませんか。
- BDレコーダーの電源を切るとテレビでBS・110度CSデジタル放送が映らなくなるときは、テレビのアンテナ電源を「入」にしてください。（⇒9-1～9-4ページ）

AQUOSオーディオ（ARC対応）を同時につなぐとき

本機の入力2（HDMI）端子につないでください。

- 本機の入力2（HDMI）端子はARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力2（HDMI）端子にARC対応のAQUOSオーディオをつなぐと、本機からAQUOSオーディオへの音声出力もHDMIケーブル1本で可能です。
- ARCに対応したHDMIケーブルをお使いください。ARCに対応していないHDMIケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。

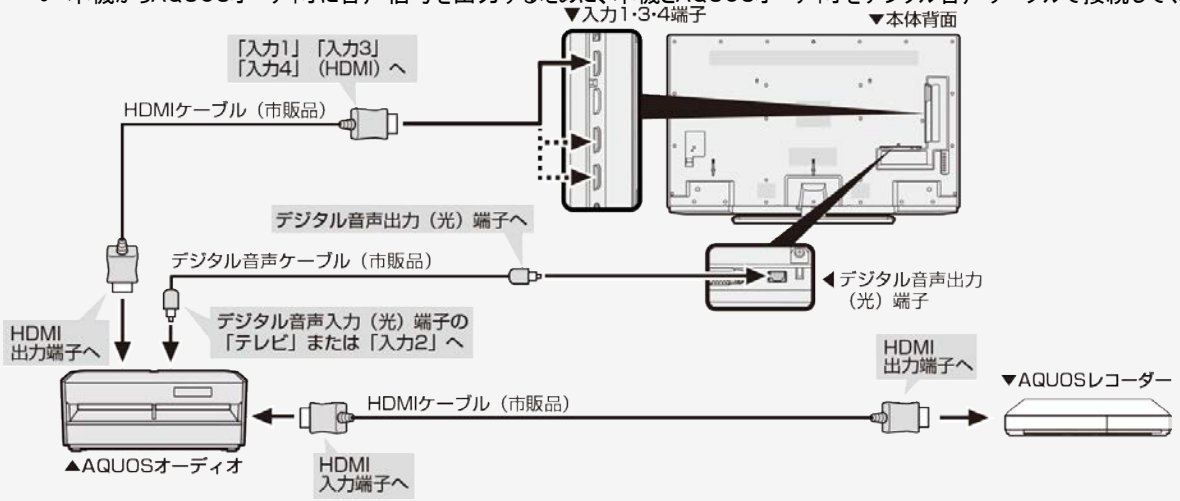


ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSオーディオ（ARC非対応）を同時につなぐとき

- 本機からAQUOSオーディオに音声信号を出力するために、本機とAQUOSオーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。



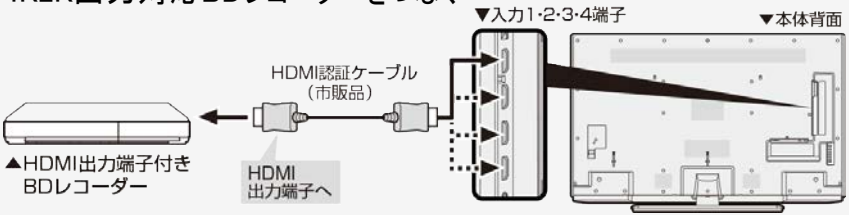
お知らせ

- 音声が正しく出力できない場合は、ホームメニューから「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「デジタル音声設定」を選び、設定を切り換えてみてください。

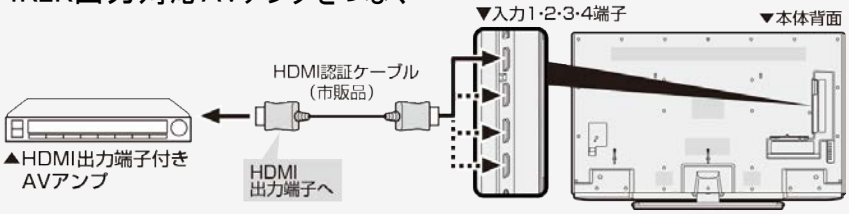
ファミリンクや他機器

4K2K出力対応機器をつなぐ

4K2K出力対応BDレコーダーをつなぐ



4K2K出力対応AVアンプをつなぐ

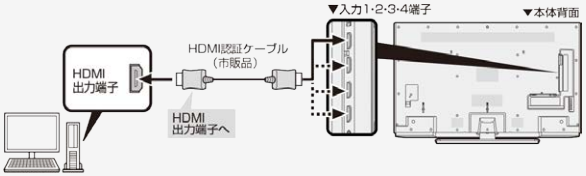


お知らせ

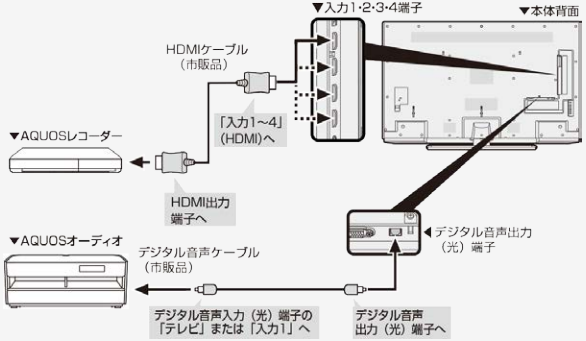
- 市販のHDMI認証ケーブル（ハイスピードタイプ）が必要です。

4K2K出力対応パソコンをつなぐ

- 4K2K出力（解像度3840×2160出力）に対応しているパソコンをご使用ください。



4K信号非対応のAQUOSオーディオをつなぐ



お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル（ハイスピードタイプ）が必要です。

ファミリンクや他機器



HDR映像を見る

- 本機は“Ultra HD ブルーレイ”がサポートするHDR(ハイダイナミックレンジ)に対応しています。
  HDR映像には従来より多くの輝度情報が収録されており、明暗差の大きな映像などで従来は表現できなかった明部・暗部の階調表現が可能となり、高コントラストでリアリティ溢れる映像を再現します。
- 本機でHDR映像を視聴する場合は、入力1または入力2にHDR対応機器を接続し、「HDMI対応信号モード」を「フルモード」に設定してください。

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「入力1」または「入力2」を選び、決定を押す
2. ホーム を押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」ー「外部端子・ファミリンク」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「HDMI対応信号モード」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「フルモード」を選び、決定を押す

お知らせ

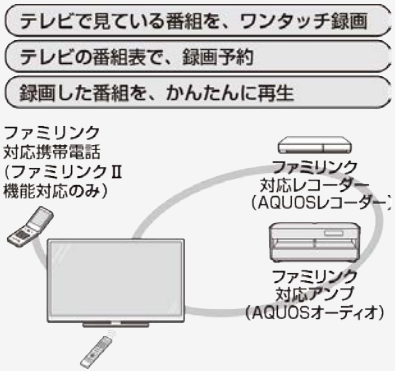
- 「フルモード」設定時、「明るさセンサー」(⇒7-58ページ)と「明るさ」(⇒7-58ページ)は、HDR映像コンテンツとSDR映像コンテンツで別々に調整が可能です。
- 入力1・2を別々に設定することはできません。

ファミリンクや他機器

ファミリンクで使う

ファミリンクとは

- HDMI端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMIケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。
本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOSレコーダー）やAVアンプ（AQUOSオーディオ）をHDMI認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、右記の連動操作が楽しめます。



お知らせ

- ファミリンクの対応機種についてはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページ「機能別情報→AQUOSファミリンクについて」をご覧ください。

AQUOS サポートページ

シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOSレコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載のAQUOSレコーダーと接続したときi.LINK録画（2番組同時録画）は働きません。

ファミリンクや他機器

ファミリンクで使う

ファミリンク機能を使う前に

1. ファミリンク対応機器とつなぐ
   ⇒6-1～6-4ページ
   - 市販品のHDMI認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。
2. 設定をする
   - ファミリンク機能を使うための設定が必要です。(⇒7-2・7-29ページ)
   - AQUOSレコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。
3. ファミリンクで楽しむ
   - ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。
     ⇒6-10ページ
   - 録画・録画予約してみましょう。
     ⇒6-11～6-19ページ
   - 再生してみましょう。
     ⇒6-20～6-23ページ
   - AQUOSオーディオを使ってみましょう。
     ⇒6-24ページ

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクパネルは、HDMIで接続した機器の一部操作を本機からできる機能です。表示内容や動作は機器により異なり、接続機器によっては、動作しない場合もあります。

◆重要◆

- ファミリンクパネルをご利用になるには、「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「ファミリンク制御（連動）」を「入」、に設定してください。

1. ファミリンク を押し、操作したい機器を選び、決定 を押す
2. 操作したい機能のボタンを選ぶ



操作機器名

お知らせ

- プレーヤーやAQUOSオーディオと接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

次ページへつづく⇒

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

◆重要◆

ファミリンクで録画を行う前にAQUOSレコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

- 本機とAQUOSレコーダーをつないでいますか。
- B-CASカードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 記録メディア（HDD、BD、DVDなど）に空き容量がありますか。
- 「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「録画機器選択」で「録画時に選択」または「ファミリンクレコーダー」を選んでいますか。（⇒7-29ページ）
- 「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「レコーダー選択」で録画するレコーダーの機器名を選択してください。
- 「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「ファミリンク」ー「ファミリンク制御(連動)」は「入」に設定されていますか。

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

再生・録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

- 必要に応じてAQUOSレコーダー側のHDDモード／BDモード／DVDモードを切り換えます。

1. ファミリンクを押し、左右カーソルボタンで「メディア切換」を選び、決定を押す
   - AQUOSレコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
   - 「メディア切換」で決定を押すごとに、AQUOSレコーダーのメディアの種類が順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

見ている番組をAQUOSレコーダーに録画する

1. 録画したい番組の視聴中に録画を押す
   - 「レコーダー選択」（⇒7-2ページ）で選択したAQUOSレコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOSレコーダーに録画を開始します。
   - 「録画機器選択」で選択した機器に録画されます。ファミリンクレコーダーに録画する際は、「録画時に選択する」または「ファミリンクレコーダー」に変更してください。
   - 「録画機器選択」が「録画時に選択する」に設定されている際は、録画先の選択画面が表示されますので、レコーダーに録画する際は「ファミリンクレコーダー」を選択してください。

録画の停止について
- お使いのAQUOSレコーダーによっては、録画終了時刻になると自動的に録画が停止されます。
- USB-HDDの録画実行中は録画停止の選択画面が表示されますので、レコーダーの録画を停止する場合は、「ファミリンク録画停止」を選択してください。

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

見ている番組をAQUOSレコーダーに録画する

録画を途中で停止したいとき(録画を手動で停止したいとき)

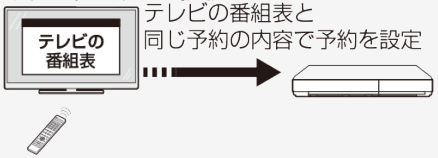
- ファミリンクを押して「操作メニュー」から「録画停止」を選んでください。
- ファミリンクパネルが表示された場合は、「録画停止」を選び、決定を押して、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 「録画機器選択」(⇒7-29ページ)で選択したAQUOSレコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴しているAQUOSレコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(⇒7-29ページ)で選択したAQUOSレコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

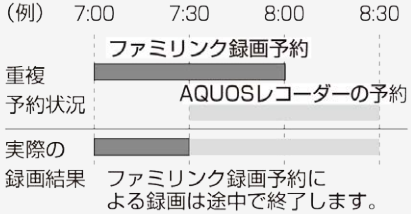
- 本機の番組表から接続しているAQUOSレコーダーに録画予約できます。



◆重要◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。(待機状態)
  電源プラグを抜くと、録画されません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。



次ページへつづく⇒

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

◆重要◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いのAQUOS レコーダーによって異なります。
- 詳しくは、お使いのAQUOSレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

お知らせ

- 予約の確認・取り消し・変更については
  ⇒3-23～3-25ページをご覧ください。

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

1. AQUOSレコーダー側の準備をする
   - 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
   - HDDに録画する場合は、HDDの残量を確認します。
   - 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。
2. (予約) 番組表 を押して本機の番組表を表示し、予約したい番組を選び、決定 を押す
   - 同じ時間帯に他の番組が2つ予約されていると、先の予約を削除する画面になります。

次ページへつづく⇒

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

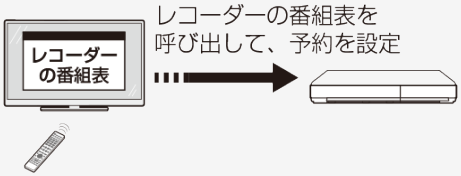
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後にレコーダー選択(⇒7-2ページ)を行ってください。
- AQUOSレコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、AQUOSレコーダーの予約が優先されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOSレコーダーの予約を取り消してください。
- 本機の番組表を使って予約したファミリンク録画実行中に、電源プラグを抜かないでください。正常に録画されません。
- 操作を終了する場合は、(予約) 番組表 を押します。

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーの番組表を呼び出して録画予約する



1. ファミリンクを押し、上下カーソルボタンで「録画予約するレコーダー」を選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「番組表」を選び、決定を押す
   - レコーダー側の番組表が表示されます。
3. 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする
   - レコーダー側の番組表は本機のリモコンの



で操作します。
（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

視聴するHDMI対応のレコーダーを選ぶ

- 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選びます。

1. ファミリンクを押し、上下カーソルボタンで視聴したい機器を選び決定を押す

次ページへつづく⇒

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ、レコーダーの「連動起動」を「入」に設定する必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

1. 録画リスト を押し、上下カーソルボタンで表示したいレコーダーを選んで 決定 を押す
   - USBハードディスクおよびファミリンク機器が合わせて1台しか接続されていない場合、録画リスト を押すと直接機器の録画リストが表示されます。
2. 再生したい番組（タイトル）を選び再生する
   - 録画リストは本機のリモコンの 決定 終了 戻る 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
   - 選んだ番組が再生されます。
   - 停止したいときは 停止 を押します。
   - 停止したときは、切り換わった入力のままです。

次ページへつづく⇒



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

お知らせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ファミリンクを押し、左右カーソルボタンと決定で「メディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。
- 2画面時は、レコーダーのホームメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。

次ページへつづく⇒

ファミリンクや他機器



ファミリンクで使う

AQUOSレコーダーを再生する

最後に録画した番組を再生する(ワンタッチプレー)

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで再生したいAQUOSレコーダーを選び、決定 を押す
2. 再生 を押す

再生中の操作について

- リモコンの 前/早戻し 再生 早送り/次 停止 一時停止/静止 で操作が行えます。

お知らせ

- リモコンの 10秒戻し 30秒送り は、機器によっては動作しない場合があります。

AQUOSオーディオで聞く

- AQUOSオーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは音が出ません。）
- 本機のリモコンでAQUOSオーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のAQUOSオーディオをつないだときは

- 「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。
- 本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力2端子に接続したときのみ使えます。

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。

1. ファミリンクを押し、ファミリンクパネルを表示する
2. 左右カーソルボタンで「ジャンル連動」を選び、決定を押す

お知らせ

- DVD映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOSオーディオ側で適切なサウンドモードに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

ファミリンクや他機器

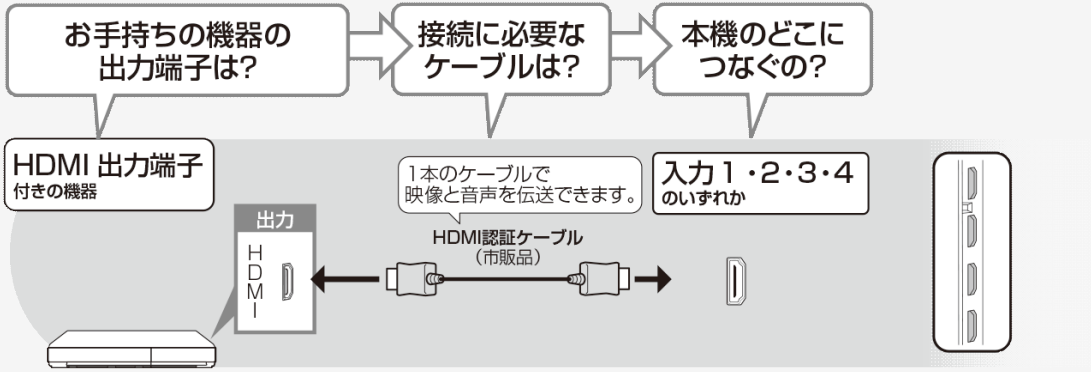
レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

HDMI端子で接続するには

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

お知らせ

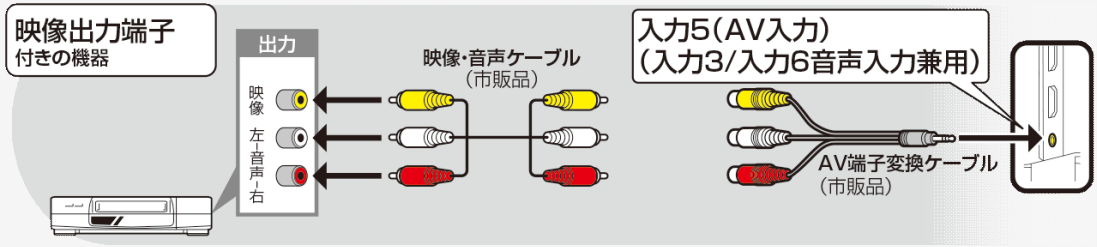
- 映像の種類と画質について⇒6-29・9-29～9-30ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- 接続については、⇒6-28ページをご覧ください。
- ファミリンク対応レコーダーと接続したときは、本機のリモコンでレコーダーを操作できます。
  ⇒6-1ページ



ファミリンクや他機器

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

映像端子で接続するには



お知らせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- レコーダーやプレーヤーで市販のBDを視聴するときは、HDMIケーブルで接続してください。著作権保護技術を採用したレコーダーやプレーヤーからブルーレイディスクの映像や音声が出力されない機器があります。

よりきれいな映像を楽しむためには

接続するときに気をつけること

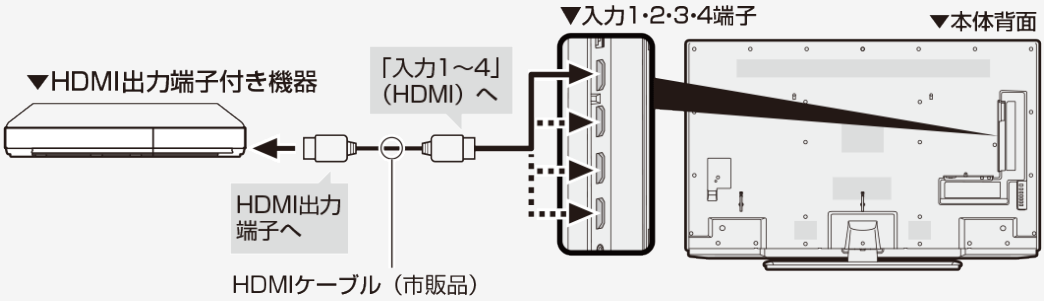
- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。
- レコーダーやプレーヤー側の接続端子について詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を合わせてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI出力端子が付いた機器の場合

- HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のHDMI認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。
  規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
  —4K2K出力に対応した機器をつなぐとき
  —1080pの映像信号を入力するとき
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1または入力2に接続してください。また、設定メニュー内の「外部端子・ファミリンク」ー「HDMI対応信号モード」を「フルモード」にしてください。（⇒7-3ページ）



HDMI出力端子が付いた機器の場合

対応している映像信号

- 3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz※)、1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+

  ※入力1と入力2は4K60p(4:2:2、4:4:4)の信号に対応しています。

対応している音声信号

- 種類:リニアPCM(2ch)、AAC※、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス
  サンプリング周波数:48kHz／44.1kHz／32kHz

  ※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
  AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

お知らせ

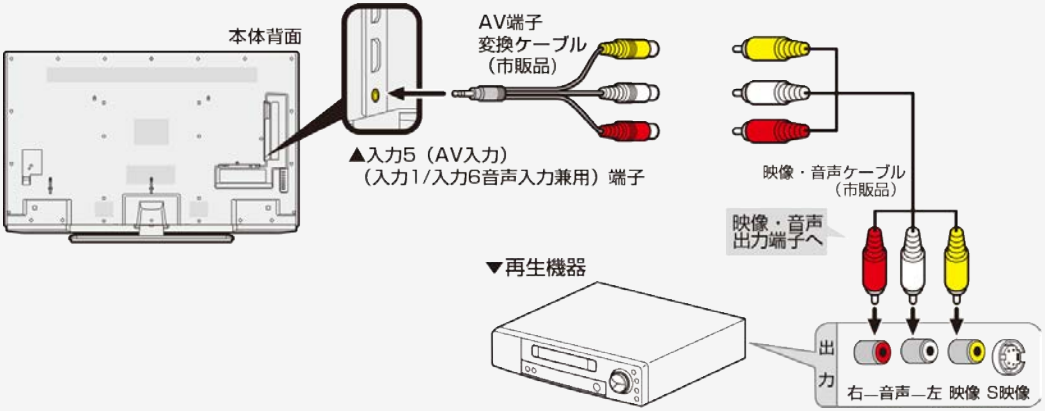
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御(連動)」を「切」に設定してください。
  (⇒7-2ページ)

ファミリンクや他機器

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）

- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。
- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。



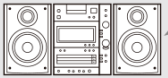
ファミリンクや他機器

オーディオ機器をつなぐ

- 音響機器をつないで、迫力ある音声で楽しむこともできます。

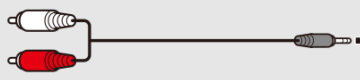
お手持ちの機器の端子は? → 接続に必要なケーブルは? → 本機のどこにつなぐの?

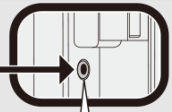
アナログ音声端子
付きのオーディオ機器





音声ケーブル(市販品)



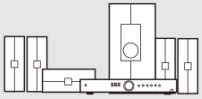


アナログ音声出力

音声ケーブルは先端部と同じ色の端子
(白と白、赤と赤)につなぎます。

φ3.5、ステレオミニジャック

デジタル(光)音声端子
付きのオーディオ機器





デジタル音声ケーブル(市販品)



デジタル音声出力(光)

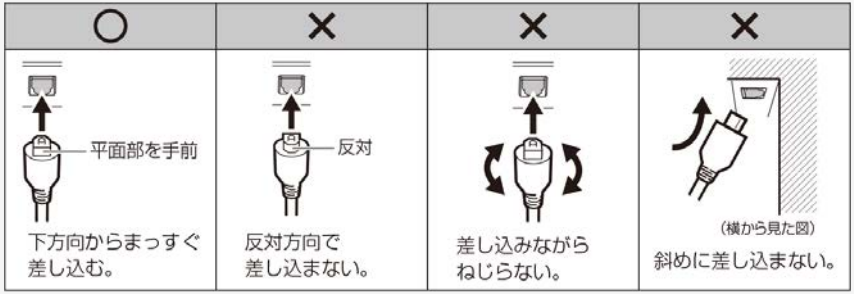
角形プラグ

接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

ファミリンクや他機器

オーディオ機器をつなぐ

- デジタル音声出力(光)端子に接続するときは、方向をよく確かめて下方向からまっすぐ差し込んでください。
- 無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。



接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

パソコンのモニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン(PC)の出力解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。
- 接続方法は、⇒6-37～6-39ページを確認してください。

本機が対応している解像度

解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○

	解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
	WXGA	1280 × 800	49.7	60	○
		1366 × 768	47.7	60	○
	SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
	SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
※	1080i	1920 × 1080	33.8	60	
	1080p	1920 × 1080	67.5	60	
※	4K	3840 × 2160	53.95	24	
			67.5	30	
			135.0	60	

※HDMI入力時のみ

次ページへつづく⇒

パソコンのモニターとして使う

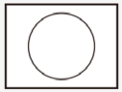
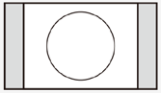
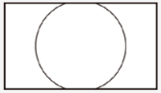
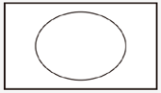
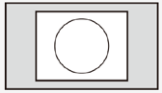
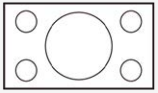
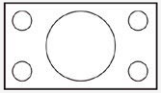
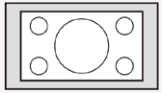
お知らせ

- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒6-35ページをご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

次ページへつづく⇒

パソコンのモニターとして使う

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号		ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
16:9よりも縦長の映像  640×480、800×600、1024×768、1280×1024など	⇒	 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	 画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりに映します。
16:9映像 	⇒	—	—	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりに映します。

次ページへつづく⇒



パソコンとつないで使う

パソコンのモニターとして使う

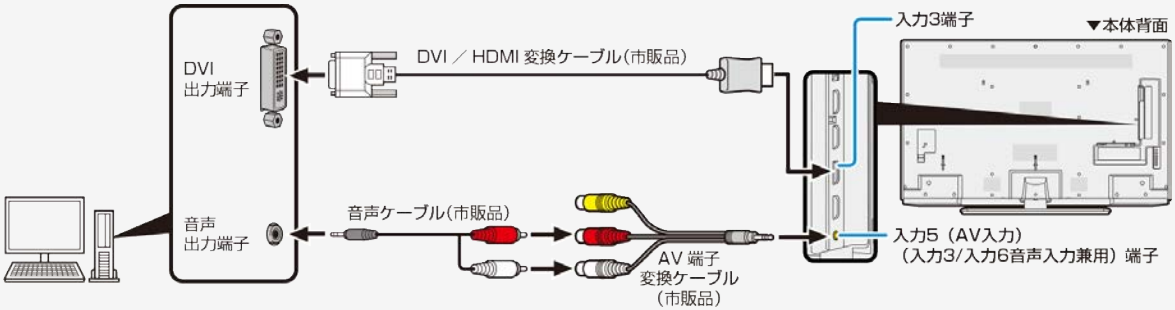
パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

1. パソコン（PC）の電源を入れる
2. 入力切換 を押して、入力切換メニューを表示し、上下カーソルボタンでパソコンを接続した入力を選び、決定を押す
   - パソコンの画面が表示されます。
3. （映像調整）ツール を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「視聴操作」－「画面サイズ」を選び、決定を押す
4. 画面サイズ切換メニューから、お好みの画面サイズを選ぶ

ファミリンクや他機器

パソコンとつないで使う

本機をDVI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

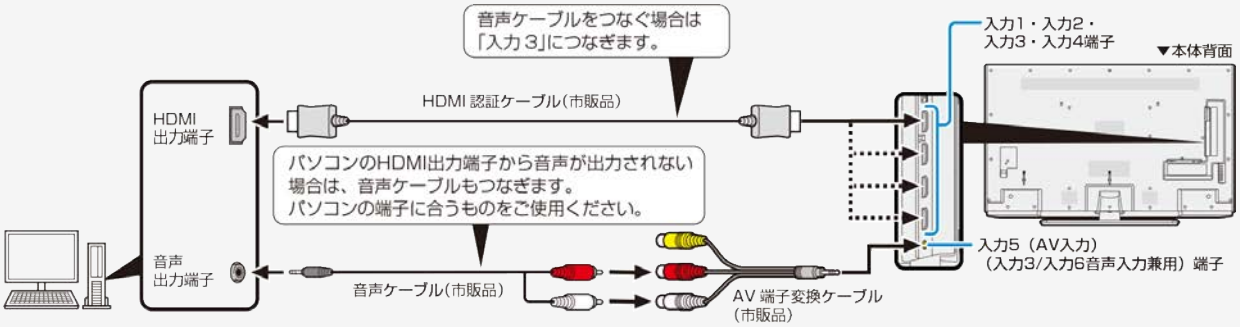


- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のDVI/HDMI変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機のHDMI端子とパソコンのDVI端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによってはHDMI規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。
- 入力3に切り換えたあと、ホーム画面から「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「入力3音声設定」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

ファミリンクや他機器

パソコンとつないで使う

本機をHDMI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

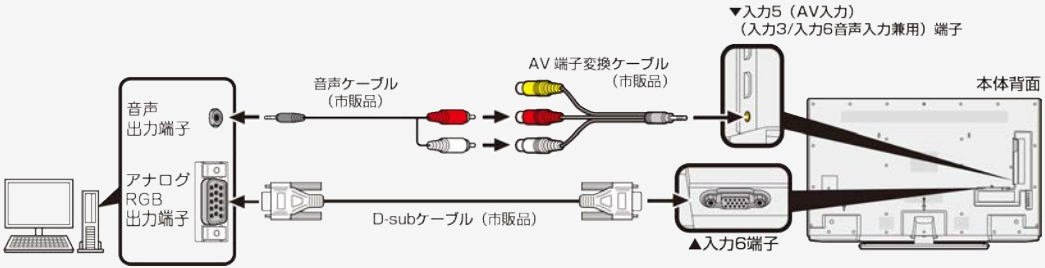


- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のHDMI認証ケーブルが必要です。
- 入力3に切り換えたあと、ホーム画面から「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「入力3音声設定」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

ファミリンクや他機器

パソコンとつないで使う

本機をアナログRGB出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）



- AV変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のD-subケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 入力6に切り換えたあと、ホーム画面から「設定」ー「外部端子・ファミリンク」ー「入力6音声設定」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

ファミリンクや他機器



携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する

- スマートフォンなど携帯端末と接続するときに表示される本機の機器名を変更できます。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「端末情報」ー「端末名」を選び、「変更する」を選んで決定を押す
3. 端末名を選択するか、「カスタム名の入力」を選んで機器名を入力する
   - 「カスタム名の入力」を選ぶと、ソフトウェアキーボードが表示されます。
4. 「完了」を選び決定を押す

お知らせ

- 携帯端末接続中に変更した場合は、次に接続の操作をするまで機器名は変わりません。
- 機器名に全角文字やスペースを使用した場合、スマートフォンの機種によっては全角文字やスペース以降の文字が表示されない場合があります。この場合は、全角文字やスペース以外の文字(”_”等)を使用してください。
- 機器名に特殊文字を使用した場合、スマートフォンの機種によっては特殊文字が表示されない場合があります。

メニュー操作



設定メニューの使いかた

設定メニューの基本的な操作のしかた

1. ホーム を押してホーム画面を表示する
2. 上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す



3. 上下左右カーソルボタンで目的の項目を選び、決定を押す
   - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。

お知らせ

- ツールメニューの「基本設定」からでも設定メニューを表示することができます。

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク

ファミリンク

- HDMIで接続した外部機器との連携操作を行うファミリンクの設定です。

メニュー項目名		設定	
ファミリンク制御（連動）		入、切	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「切」に設定します。
連動起動		入、切	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
レコーダー選択		録画・ファミリンク連携に使用するファミリンク機器を選択します。	
選局キー設定	入力1	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンでAQUOSレコーダーの操作が行えます。 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
	入力2	自動、する、しない	
	入力3	自動、する、しない	
	入力4	自動、する、しない	
一時停止／静止キー機能切換(AQUOSタイムシフト)		AQUOSタイムシフト、画面静止	一時停止／静止ボタンの機能を切り換える設定です。 AQUOSタイムシフトを使用する場合は、対応するファミリンクレコーダーが必要です。また、ファミリンクレコーダー側での設定が必要です。詳しくはファミリンクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子・ファミリンク（つづき）

HDMI対応信号モード

- 入力1・2（HDMI1・2）において、対応信号モードを切り換える設定です。
- Ultra HD ブルーレイをHDR映像で視聴する場合は、「フルモード」に設定してください。HDMI1、2別々に設定することはできません。

設定	
フルモード	4K映像をより高精細・広色域・高コントラストにするモードです。
互換モード	接続機器との互換性を優先するモードです。

HDMIコンテンツタイプ連動

- コンテンツタイプ情報のあるHDMI信号入力時に、入力信号に適したAVポジションに自動で切り換えます。

設定	
入力1～4	入、切

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク（つづき）

音声出力端子

- 音声出力端子使用時に音声を出力する機器を選択してください。

設定	
ヘッドホン／アンプ	ヘッドホンまたはアンプのみで聞くときに選択してください。音量は可変に設定され、音量キーで調整できます。
テレビスピーカー＋アンプ	テレビスピーカーとアンプで聞くときに選択してください。音量を固定に設定します。 ※ヘッドホン利用時は選択しないでください。

お知らせ

- ヘッドホンとテレビスピーカーの両方から、同じ音声を出力することはできません。
- 2画面表示中に、ヘッドホンとテレビスピーカーで異なる音声を出力することはできません。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

外部端子・ファミリンク（つづき）

入力3音声設定

- 入力3のときに、使用する音声入力を設定します。

設定
HDMI、アナログ音声入力

入力6音声設定

- 入力6のときに、使用する音声入力を設定します。

設定
アナログ音声入力、使用しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子・ファミリンク（つづき）

デジタル音声設定

- デジタル音声の信号形式を設定します。

設定	
PCM	AAC/Dolby Digital（ドルビーデジタル）に対応していない機器につなぐ場合に設定します。 視聴している番組と同じ音声が出力されます。
Dolby Digital	Dolby Digitalに対応している機器に接続し、Dolby Digitalで聴く場合に設定します。
ビットストリーム（デジタル音声出力）	AAC/Dolby Digital対応のAVアンプに、デジタル音声出力端子を使ってつなぐ場合に設定します。主／副の両方の音声が同時に出力されます。
ビットストリーム（ARC）	AAC/Dolby Digitalに対応のAVアンプに、HDMI2（ARC）を使ってつなぐ場合に設定します。主／副の両方の音声が同時に出力されます。

お知らせ

- ビットストリームに設定し、そのままの信号で出せない形式の場合は、PCMまたはDolby Digital形式で出力されたり、出力しない場合があります。
- ビットストリームに設定し、音が出力されない場合は、Dolby DigitalやPCMを選択してください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子・ファミリンク（つづき）

外部入力表示

- 入力切換メニューなどへの表示、非表示、表示される機器の名称を変更できます。非表示に設定した入力は、入力切換時、スキップされます。

設定
この入力を表示　入、切 名前：入力〇、ブルーレイ、ケーブル、DVD、ゲーム機、カスタム名

メニュー操作

設定メニュー項目の一覧



イルミ・操作音

イルミネーション

- リモコン操作やテレビからのお知らせに連動して点灯するLED部のイルミネーションの設定です。

設定
強、弱、点灯しない

操作音

- 操作音の入、切を切り換える設定です。

設定
入、切

サラウンドサウンド

- 内蔵スピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。

設定
自動、常に使用する、使用しない

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

クイック起動

- 電源起動時すぐに映像・音声を出すための設定です。

設定
入、切

お知らせ

- 「入」に設定時は、「切」設定時に比べ、待機時の消費電力が増加します。

メニュー操作

設定メニュー項目の一覧



アプリ

- ダウンロードしたアプリや実行中のアプリを確認したり、アプリ関係の設定ができます。
  ※アプリをアンインストールする場合は、アプリを選び「アンインストール」を選択し「OK」を押してください。

設定
アプリの権限

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

タイマー

おはようタイマー

- 指定した時刻に自動的に電源が入るように設定できます。
  おはようタイマーを設定すると本体のTIMER/RECランプが橙色に点灯します。異なるタイマーを3種類までセットできます。

メニュー項目名	設定
おはようタイマー	入、切
時刻	おはようタイマー時刻設定
くりかえし	くりかえし：入、切 曜日：毎週日曜、毎週月曜、毎週火曜、毎週水曜、毎週木曜、毎週金曜、毎週土曜
入力	地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、入力1～6
チャンネル	起動時のチャンネルを選択してください。
音量	0～100

次ページへつづく⇒

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

タイマー（つづき）

おやすみタイマー

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

メニュー項目名	設定
おやすみタイマー	入、切
時刻	おやすみタイマー時刻設定

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフが設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- 起動中のアプリケーションによっては、タイマーが作動しない場合があります。放送や外部入力視聴中にお使いください。

次ページへつづく⇒

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

タイマー（つづき）

オフタイマー

- 指定した時間後に電源を切ります。

メニュー項目名	設定
オフタイマー	入、切
オフまでの時間	0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分

お知らせ

- 設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
- 起動中のアプリケーションによっては、タイマーが作動しない場合があります。放送や外部入力視聴中にお使いください。



設定メニュー項目の一覧

スクリーンセーバー

スクリーンセーバー

- スクリーンセーバーの設定をします。

設定
Backdrop、カラー

開始までの時間

- スクリーンセーバーが開始するまでの時間を設定します。

設定
5分、15分、30分、1時間、2時間、使用しない

今すぐ開始

- スクリーンセーバー画面に切り換えます。



設定メニュー項目の一覧

画面表示設定

チャンネル常時表示

- 放送または外部入力視聴中、チャンネル、入力情報を常に画面上に表示します。

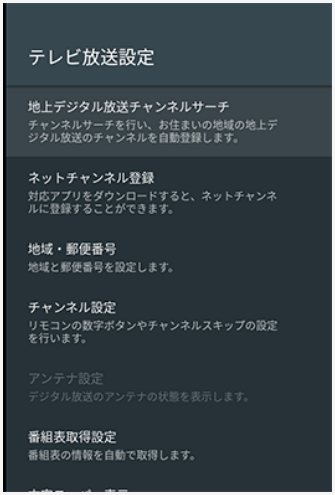
設定
入、切

選局時表示サイズ

- 選局時に表示するチャンネル情報のサイズを設定します。

設定	
スタンダード	番組タイトル、放送時間を表示します。
フル	番組タイトル、放送時間、音声、映像、字幕情報を表示します。

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

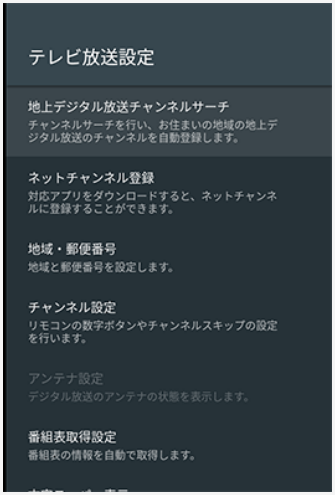
テレビ放送設定

地上デジタル放送チャンネルサーチ

- チャンネルサーチを行い、お住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。

メニュー項目名	設定	
初期サーチ	お住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。 変更したチャンネルボタンの番号やスキップ設定はクリアされます。	
追加サーチ	追加・変更されたチャンネルのみ更新します。	
チャンネル更新	自動	通常は自動でご使用ください。 放送局の追加、周波数変更時に自動で更新します。
	手動	自動で更新しません。 現在の設定を変更したくない場合に「手動」を選択してください。
地域・ 郵便番号	地域と郵便番号を設定します。	

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定（つづき）

ネットチャンネル登録

- ライブチャンネルを公開しているアプリをダウンロードすると、ネットチャンネルに登録することができます。

地域・郵便番号

- 地域と郵便番号を設定します。

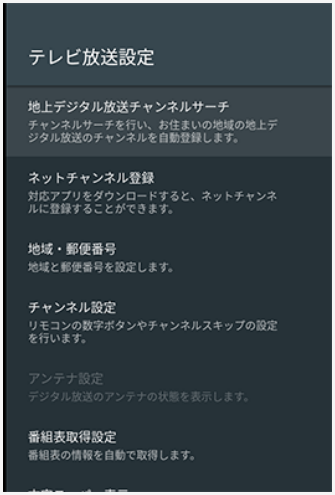
設定
地域
郵便番号

チャンネル設定

- リモコンの数字ボタンやチャンネルスキップの設定を行います。

メニュー項目名	設定
地上デジタル	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
BSデジタル	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
CSデジタル	リモコン番号、選局スキップ：しない、する
ネットチャンネル	選局スキップ：しない、する

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

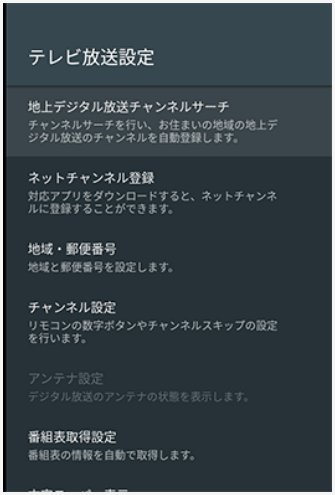
テレビ放送設定（つづき）

アンテナ設定

- デジタル放送のアンテナの状態を表示します。デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」を行ってください。）

メニュー項目名	設定
電源・受信強度	オート、入、切
周波数設定	
信号テスト－地上	
信号テスト－BS	
信号テスト－CS	

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

テレビ放送設定（つづき）

番組表取得設定

- 番組表の情報を自動で取得します。

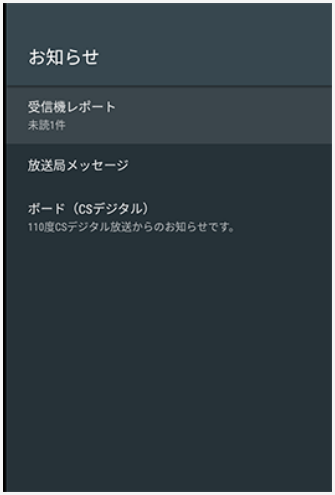
メニュー項目名	設定
地上デジタル	入、切
BSデジタル	入、切
CSデジタル	入、切

文字スーパー表示

- 災害発生時の文字情報を表示できます。

設定
入、切

設定メニュー項目の一覧



お知らせ

受信機レポート

- 予約の失敗や変更（自動で電源オフになった理由など）に関する、受信機に関係したレポートを表示します。

放送局メッセージ

- 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。「放送ダウンロード設定」を「オフ」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

ボード（CSデジタル）

- 現在の放送で送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。
  ボード情報はそのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。録画予約実行中は選べません。

設定
CS1の情報、CS2の情報

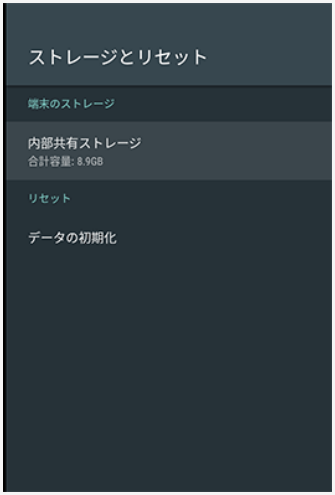
設定メニュー項目の一覧



かんたん初期設定

- 引っ越しでテレビの設置場所が変わった時などに、再度初期設定を行うことができます。画面を見ながら操作・設定をしてください。

設定メニュー項目の一覧



ストレージとリセット

内部共有ストレージ

- 本機の内蔵メモリの容量・内訳を表示します。

設定
内部共有ストレージ

お知らせ

- USB-HDDやUSBメモリーを接続しているときは、「リムーバブルストレージ」とその情報が表示されます。

データの初期化

- 本機のデータを初期化します。

メニュー項目名	設定
USB-HDDの情報を残して初期化する	キャンセル、実行
全ての情報を初期化する	キャンセル、実行

お知らせ

- 本機を廃棄または譲渡する場合は、「データの初期化」を実施してください。

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

端末情報

ソフトウェアの更新

- ソフトウェアをアップデートします。

メニュー項目名	設定	
アップデート実行	ネットワークアップデート	
	USBアップデート	
	放送アップデート	
	表示システムアップデート	
最新ソフトウェア通知	オン、オフ	起動時、最新のソフトウェアバージョンを確認します。
ソフトウェア自動取得	オン、オフ	ネットワークもしくはデジタル放送経由で取得できる最新ソフトウェアを自動的に取得します。

お知らせ

- 「最新のソフトウェア通知」を「オン」に設定した場合、最新のソフトウェアがあるときは、画面上に通知が表示されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



端末情報（つづき）

- 本機の端末情報が表示されます。

メニュー項目名		設定	
端末	変更する	リビングルーム、メディアルーム、ファミリールーム、ダイニングルーム、書斎、寝室、キッチン、カスタム名の入力	本機の名前を変更できます
	変更しない		
再起動		再起動	本機を再起動します
		キャンセル	
ステータス	IPアドレス		
	MACアドレス		
	Bluetoothアドレス		
	シリアル番号		
	稼働時間		
法的情報	AQUOSプライバシーポリシー	同意しない、同意する	
	ソフトウェアライセンス		
	オープンソースライセンス		
	Google利用規約		
	システムのWebViewライセンス		
	壁紙		
	広告		

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



端末情報（つづき）

- 本機の端末情報が表示されます。

メニュー項目名			設定
B-CASカード	実行	カード識別／カードID	B-CASカードの番号を表示します。 受信機レポートで報告された　不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるとき、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。
モデル			モデル名を表示します。
型名			型名を表示します。
バージョン			本機のAndroid™のバージョンを表示します。
Androidセキュリティパッチレベル			
カーネルバージョン			
Netflix Model ESN			
Netflix Dvice ESN			
ビルド			

設定メニュー項目の一覧



通信設定

LAN設定

- 有線LANや無線LAN（Wi-Fi）の設定ができます。

メニュー項目名		設定
Wi-Fi	Wi-Fi	入、切
	すべて表示	
	WPS経由の接続	プッシュボタン、PINコード
	新しいネットワークを追加	
	常にスキャン	入、切
有線LAN	現在の接続	
	プロキシ設定	使用しない、手動
	IP設定	DHCP、静的

お知らせ

- Wi-Fi設定後に有線LANに切り換える場合は、Wi-Fiをネットワークから切断してください。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

通信設定（つづき）

AQUOSコネクト

- 携帯端末を使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。

メニュー項目名	設定	
AQUOSコネクト	入、切	
詳細設定	ID／パスワード	AQUOSコネクトを利用する際のID／パスワードを設定します

お知らせ

- AQUOSコネクトから電源起動する場合は、クイック起動も「入」にする必要があります。

ネットワーク起動

- ネットワーク経由（Wi-FiやLAN）からの電源起動を許可するか設定します。

設定
する、しない

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

Google Cast (Chromecast built-in)

- 本機に内蔵されているChromecast built-in機能の設定を確認することができます。

メニュー項目名	設定
使用状況データの共有	はい、いいえ、詳細
オープンソースライセンス	
バージョン番号	

設定メニュー項目の一覧



録画機器設定

録画機器選択

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ設定です。
  ファミリンク機器に録画するには「ファミリンクレコーダー」を選択のうえ、「レコーダー選択」（⇒7-2ページ）で機器を選んでください。

設定
録画時に選択、USB-HDD、ファミリンクレコーダー

初期化

- USBハードディスクを使って録画するために「初期化」が必要です。

設定
はい、いいえ

登録解除

- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。
  すでに16台登録された状態で新たにUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。

設定
はい、いいえ

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

録画機器設定（つづき）



取りはずし

- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ず「取りはずし」を行ってください。

設定
はい、いいえ

チャプター設定

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

設定
5分、10分、15分、30分、しない

機器名の変更

- USBハードディスクを複数台登録したときに、識別しやすくするために、各USBハードディスクに名前をつけられます。

設定
はい、いいえ



設定メニュー項目の一覧

リモコン設定

ペアリング開始
- リモコンのペアリングが開始されます。

お知らせ
- 本機にリモコンのペアリング情報がある場合は、ペアリング開始は選択できません。再度リモコンをペアリングしたい場合は、ペア解除をしてから、ペアリングを開始してください。

ペア解除
- リモコンのペアリングを解除します。

設定
OK、キャンセル

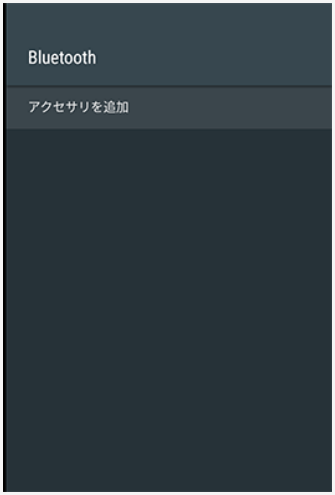
リモコン番号切換
- 本機のリモコン番号を切り替えます。

設定
リモコン番号1、リモコン番号2

電池交換表示
- リモコンの電池交換時期が近づてきたら、お知らせします。

設定
入、切

設定メニュー項目の一覧



Bluetooth

アクセサリを追加

- Bluetoothで接続する機器の登録ができます。

1. 上下カーソルボタンで「アクセサリを追加」を選び、決定を押す
2. Bluetooth機器を検索/ペアリングする
    - Bluetooth機器が検索されなかった場合は、「設定」画面に戻ります。

お知らせ

- あらかじめ接続するBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。
- 接続するBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
- Bluetoothスピーカーを接続し、本機の音声を出力することはできません。
- スマートフォンとBluetooth接続し、本機のスピーカーから音楽を流すことはできません。

設定メニュー項目の一覧



日付と時刻

時計表示

- 放送または外部入力視聴中、時刻を画面に表示するかどうかの設定です。

設定
常に表示する、選局時のみ表示する、表示しない

日付と時刻の自動設定

- 日付と時刻をネットワークまたは放送に同期するかを設定します。

設定
ネットワークの時刻と同期、放送の時刻と同期、同期しない

お知らせ

- 初期値は放送から時刻を自動取得するようになっています。
- 「日付と時刻の自動設定」は、録画やアプリ起動などができなくなるため、同期設定でお使いください。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

日付と時刻（つづき）

日付の設定

- 日付を設定します。

時刻の設定

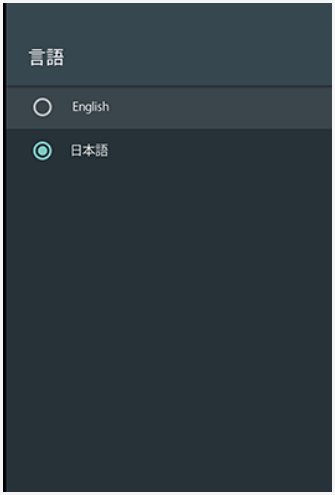
- 時刻を設定します。

24時間表示の使用

- 24時間表示を使用するかを設定します。

設定
入、切

設定メニュー項目の一覧

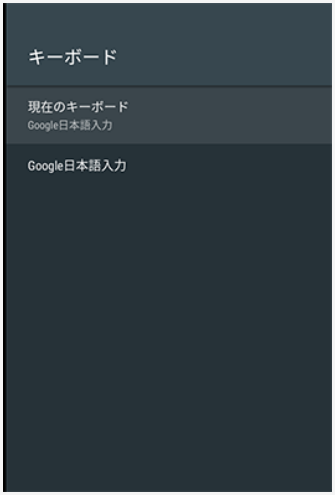


言語(Language)

- ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。
  Switch the on-screen display language to English.

設定
English、日本語

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

キーボード

- 画面に表示されるソフトウェアキーボードを設定します。

メニュー項目名			設定	
現在のキーボード			Google日本語入力、Leanbackキーボード	
Google日本語入力	Google日本語入力の設定	シークレットモード	はい、いいえ	一時的に学習機能、入力からのサジェスト機能、ユーザー辞書機能を無効にします。
		キー操作音	はい、いいえ	キー操作時に音を鳴らします。
		変換履歴	OK、キャンセル	変換結果や予測入力の学習履歴をクリアします。
		バージョン		
		モバイル利用規約		
		プライバシーポリシー		
		オープンソースソフトウェア		



設定メニュー項目の一覧

ホーム画面

メニュー項目名		設定
おすすめの行		
アプリやゲームの行	最近の使用状況に基づいて自動的に並び替え	入、切
	アプリの行を並べ替え	
	ゲームの行を並べ替え	

メニュー操作

設定メニュー項目の一覧



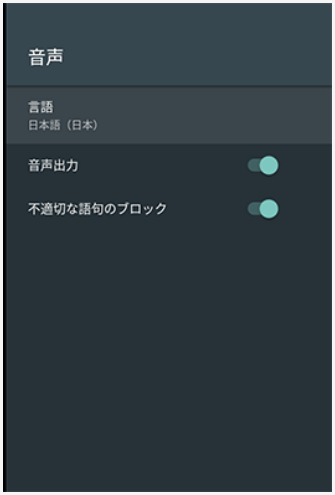
検索

- ホーム画面の検索に関する設定ができます。

メニュー項目名	設定
アカウント	
検索対象のアプリ	検索結果に表示するアプリを選択します。
セーフサーチ	入、切
気温の単位	摂氏、華氏
オープンソースライセンス	

お知らせ

- 音声検索による検索結果で、不適切な表現のコンテンツをフィルタリング（表示しない）するには、セーフサーチを「入」に設定してください。



設定メニュー項目の一覧

音声

メニュー項目名	設定
言語	（各国言語）
音声出力	入、切
不適切な語句のブロック	入、切



設定メニュー項目の一覧

ユーザー補助

メニュー項目名		設定
字幕	ディスプレイ	入、切
	言語	日本語、English
	文字サイズ	極小、小、標準、大、極大
	字幕スタイル	黒地に白、白地に黒、黒地に黄色、青地に黄色、カスタム
高コントラストテキスト		入、切
TalkBack	有効にする	OK、キャンセル
	設定	プリセットの選択、キーボード操作の読み上げ、使用に関するヒントを読み上げる、リストやグリッドの情報の読み上げ、要素タイプの読み上げ、表音文字を読み上げる、声の高さを変更、画面OFF時も読み上げる、項目の説明の順序

お知らせ

- 放送の字幕表示は、「ツール」ー「視聴操作」ー「字幕」から設定してください。（→7-55ページ）

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

ユーザー補助（つづき）

メニュー項目名		設定
スイッチアクセス	有効にする	OK、キャンセル
	設定	ヘルプとフィードバック、スイッチアクセスの設定を開く、スキャン用のスイッチを割り当てる、操作にスイッチを割り当てる、スキャン方法、音声フィードバック、スキャンしてハイライト表示する方法、自動スキャン、自動スキャンの時間、スキャンの回数、スキャンを自動的に開始、線の速度、最初の項目で遅延、デバウンス時間、離した時に操作を実行、プライバシーポリシー

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

ユーザー補助（つづき）



メニュー項目名			設定
テキスト読み上げ	Googleテキスト読み上げエンジン		
	ココロビジョン（女性）		
	ココロビジョン（男性）		
	エンジンの設定	言語	システムの言語を使用、各国言語
		Googleテキスト読み上げエンジンの設定／ココロビジョン（女性）の設定／ココロビジョン（男性）の設定	Wi-Fi使用時のみ、読み上げの音量を増幅、イントネーション、数字の読み上げ、匿名の使用状況レポート、フィードバック
		音声データをインストール	音声合成に必要な音声データをインストールする
	音声の速度		非常に遅い、遅い、標準、速い、より速い、非常に速い、高速、非常に高速、最高速
	サンプルを再生		音声合成の短いサンプルを再生する
	デフォルトの言語のステータス		

メニュー操作



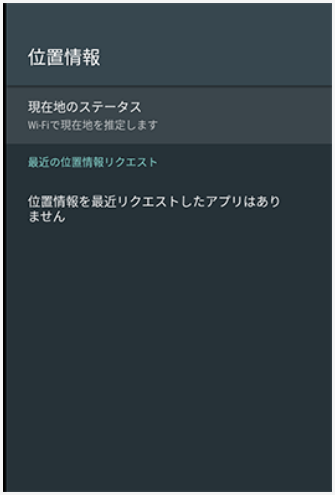
設定メニュー項目の一覧

設置場所

- ご家庭でお使いの場合は、「家庭」を選択してください。「店頭」を選択すると店頭展示用の設定に変更します。

メニュー項目名	設定
家庭	確認
店頭	

設定メニュー項目の一覧



位置情報

メニュー項目名	設定
現在地のステータス	Wi-Fiで現在地を推定します、OFF
最近の位置情報リクエスト	

設定メニュー項目の一覧



セキュリティと制限

視聴年齢制限

- 年齢制限のある番組の視聴を4～20歳の範囲で制限します。この設定には、暗証番号設定が必要です。

メニュー項目名	設定	
暗証番号	する、しない	視聴年齢制限の暗証番号を設定します。
視聴年齢制限	入、切	
地上/BS/CS	無制限、4歳～20歳	
ネットチャンネル	レーティングシステム	各国名
	レーティング	なし、制限：高、制限：中、制限：低、カスタム

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

セキュリティと制限（つづき）

提供元不明のアプリ

- 提供元がPlayストアではないアプリのインストールを許可するか設定します。

設定
入、切

アプリの確認

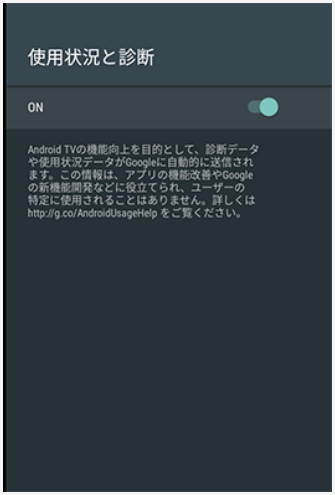
- 損害をもたらす可能性があるアプリのインストール禁止またはインストール前に警告させるかを設定します。

設定
入、切

制限モード

- 制限モードを設定することで、特定のアプリやゲームの使用を制限することができます。

設定メニュー項目の一覧

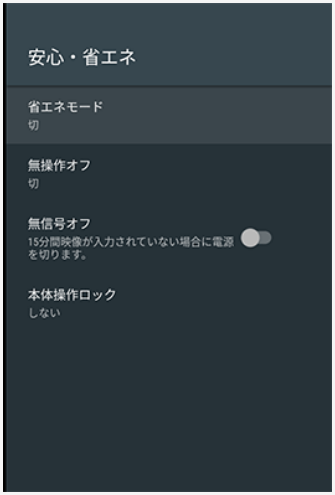


使用状況と診断

- Android TVの機能向上を目的として、診断データや使用状況データがGoogleに自動的に送信されます。
  この情報は、アプリの機能改善やGoogleの新機能開発などに役立てられ、ユーザーの特定に使用されることはありません。

設定
入、切

メニュー操作



設定メニュー項目の一覧

安心・省エネ

省エネモード

- 「入」にすると以下が設定され消費電力を抑えることができます。
  - 映像調整：省エネ制御
  - イルミネーション：切
  - クイック起動：切
  - 無信号オフ：入（15分）

省エネモード中は、上記設定値を変更することはできません。

メニュー項目名	設定
省エネモード	入、切

無操作オフ

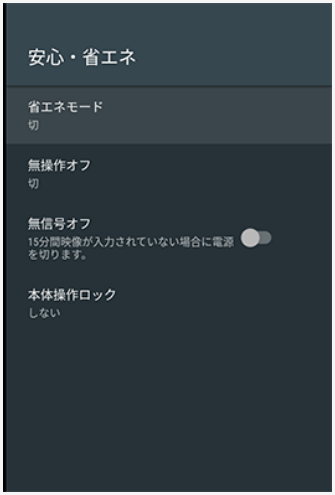
- 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定
30分、1時間、3時間、切

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

安心・省エネ（つづき）



無信号オフ

- 15分間映像が入力されていない場合に電源を切ります。ネットチャンネル視聴中やアプリケーション起動中は非対応となります。

設定
入、切

本体操作ロック

- 本体ボタンでの操作を禁止します。

設定
する、しない

設定メニュー項目の一覧



アカウントを追加

- Googleにログインできます。

メニュー操作



ツールメニューの使いかた

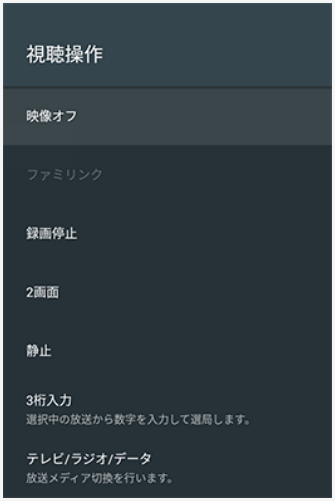
ツールメニューの基本的な操作のしかた

1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで目的の項目を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンでさらに目的の項目を選び、決定を押す
   - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。

お知らせ

- 表示中の画面によってツールメニューの項目は異なります。

ツールメニュー項目の一覧



視聴操作

映像オフ

- 映像を消して音声だけを聞くことができます。

設定	
する、しない	音声関連以外のキーで復帰します。

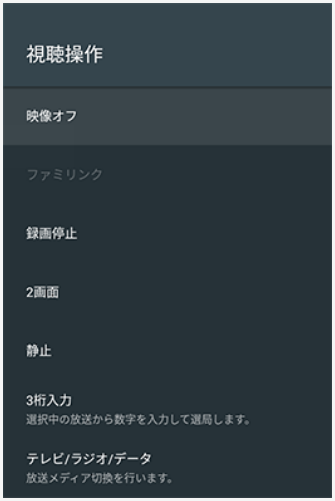
ファミリンク

- ファミリンクパネルを表示します。

録画停止

- 録画を停止します。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）

2画面

- 2つの映像を同時に画面表示します。

メニュー項目名	設定
2画面表示	テレビ、入力1～5
子画面表示	テレビ、入力1～5
1画面に戻す	
PinPモード	テレビを子画面で表示しながら、アプリなどを楽しむことができます。

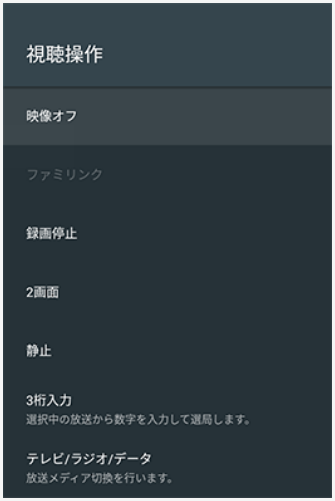
静止

- 画面を静止させます。

3桁入力

- 選択中の放送から数字を入力して選局します。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）

テレビ/ラジオ/データ
（⇒2-4ページ）

- 放送メディア切り換えを行います。

番組情報

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

dデータ
（⇒2-3ページ）

- データ連動がある番組のとき、データ画面を表示できます。

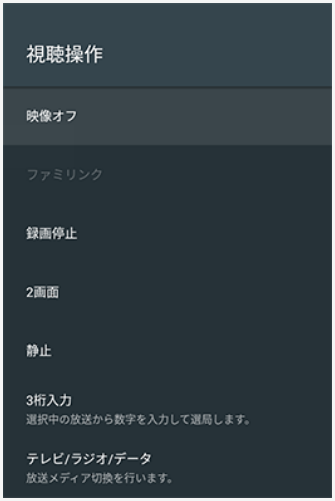
映像切換
（⇒2-38ページ）

- 複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えられます。

音声切換
（⇒2-39ページ）

- 複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えられます。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）

字幕

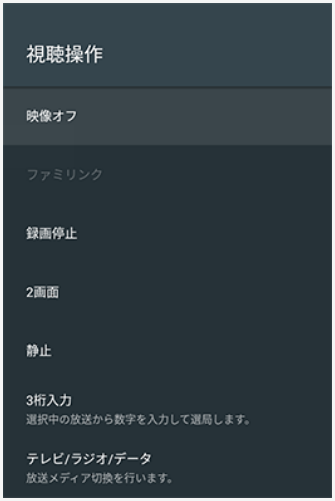
- 字幕の表示方式や表示言語を変更します。

メニュー項目名	設定	
表示方法	オンスクリーン	字幕オンスクリーン表示では、映像に重なって字幕が表示されます。（放送によって上下の位置が変ります。）
	アウトスクリーン（上）、アウトスクリーン（下）	字幕アウトスクリーン表示では、自動的に映像が縮小され、映像の上側（下側）に字幕が表示されます。放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。
	切	字幕放送「切」では、字幕放送でも字幕を表示しません。
言語切換	複数の字幕言語がある番組のとき、言語を切り換えられます。	

お知らせ

- データ放送表示中、字幕の表示方法を切換えると、データ放送が非表示、または初期状態となる場合があります。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

視聴操作（つづき）

画面サイズ

- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。

時計/画面表示

- 時計と視聴中のチャンネル情報を表示します。

録画

- 録画を開始します。

メニュー操作



ツールメニュー項目の一覧

映像調整

AVポジション

- 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。

設定	
標準	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目に優しい映像にします。
PC	PC 用の画面モードです。
フォト	静止画用の画面モードです。文字を見やすく表示します。
ダイナミック	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
ダイナミック（固定）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。この設定のときは映像調整や音声調整ができません。

お知らせ

- 入力によっては選択できないAVポジションがあります。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整（つづき）

明るさセンサー

- センサーの入切や動作範囲を設定します。

メニュー項目名	設定	
明るさセンサー	入、切	周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整します。
画面表示	する、しない	
最大値	−16～0～+16	
最小値	−16～0～+16	

明るさ

- 画面をお好みの明るさに手動で調整します。明るさセンサー入時は変更できません。

設定
−16～0～+16

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整（つづき）

映像レベル

- 映像の強弱を調整します。

設定
0～+40

黒レベル

- 画面を見やすい明るさに調整します。

設定
−30～0～+30

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

設定
−30～0～+30

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

映像調整（つづき）

色あい

- 色を調整します。

設定
−30〜0〜+30

シャープネス

- 画面をお好みの画質に調整します。

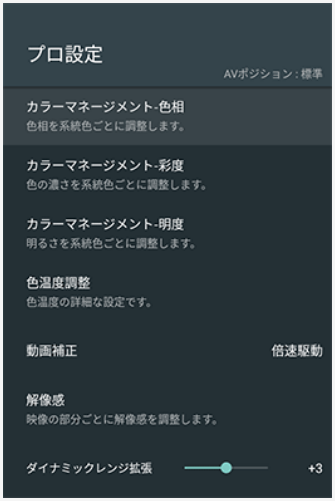
設定
0〜+20

お知らせ

- AVポジションが「PC」のときは選択できません。

メニュー操作

ツールメニュー項目の一覧



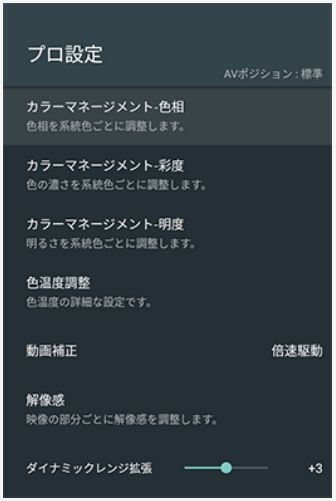
プロ設定

- 高度な映像調整の設定ができます。

メニュー項目名		設定	
カラーマネージメント-色相※	Red	−30〜0〜+30	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、色相を変化させます。
	Yellow	−30〜0〜+30	
	Green	−30〜0〜+30	
	Cyan	−30〜0〜+30	
	Blue	−30〜0〜+30	
	Magenta	−30〜0〜+30	
	リセット	する、しない	
カラーマネージメント-彩度※	Red	−15〜0〜+15	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、彩度を変化させます。
	Yellow	−15〜0〜+15	
	Green	−15〜0〜+15	
	Cyan	−15〜0〜+15	
	Blue	−15〜0〜+15	
	Magenta	−15〜0〜+15	
	リセット	する、しない	

※AVポジションが「PC」のときは選択できません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

プロ設定（つづき）

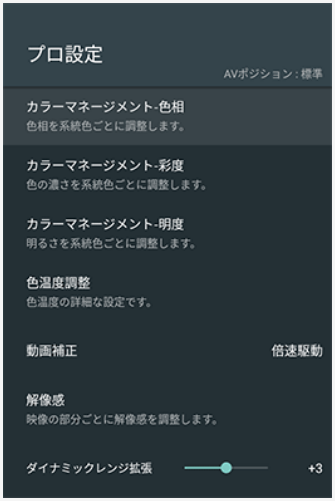
メニュー項目名		設定	
カラーマネージメント-明度※	Red	−30〜0〜+30	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、明度を変化させます。
	Yellow	−30〜0〜+30	
	Green	−30〜0〜+30	
	Cyan	−30〜0〜+30	
	Blue	−30〜0〜+30	
	Magenta	−30〜0〜+30	
	リセット	する、しない	
色温度調整	色温度	高、高-中、中、中-低、低	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとにRゲイン、Gゲイン、Bゲイン値を変えてホワイトバランスを微調整することができます。
	Rゲイン(低)	−30〜0〜+30	
	Gゲイン(低)	−30〜0〜+30	
	Bゲイン(低)	−30〜0〜+30	
	Rゲイン(高)	−30〜0〜+30	
	Gゲイン(高)	−30〜0〜+30	
	Bゲイン(高)	−30〜0〜+30	
	リセット	する、しない	

※AVポジションが「PC」のときは選択できません。

次ページへつづく⇒

メニュー操作

ツールメニュー項目の一覧

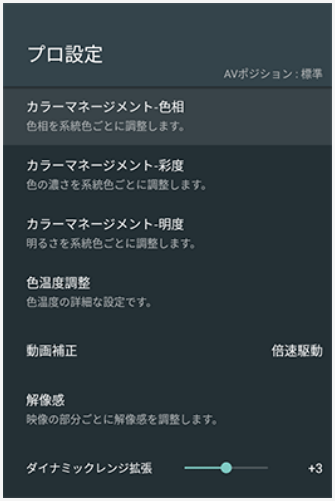


プロ設定（つづき）

メニュー項目名		設定	
動画補正※3※4		960スピード※1、480スピード※2、倍速駆動(強)、倍速駆動、切	動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする設定です。
解像感※3	ディテール（高域）	0～+10	映像の部分ごとに解像感を調整します。
	ワイドエッジ（低域）	0～+10	
ダイナミックレンジ拡張※1		0～+6	ローカルディミング制御とピーク輝度の設定を行います。 バックライトをエリア駆動することで、コントラストを高めます。
アクティブコントラスト※3		入、切	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。
ガンマ		－3～0～+3	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。

※1　LC-60UH5/LC-55UH5のツールメニューにのみ表示されます。
※2　LC-60US5/LC-55US5/LC-50US5のツールメニューにのみ表示されます。
※3　AVポジションが「PC」のときは選択できません。
※4　AVポジションが「ゲーム」の時は選択できません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

プロ設定（つづき）

メニュー項目名	設定	
HDRガンマ※1	−2〜0〜+2	HDR信号入力時の映像調整をします。値を大きくすると輝度を重視し、値を小さくすると明るさを抑え、階調表現を重視します。
フィルム・デジャダー※2※3※4	なめらか（強）、なめらか、切	映像や音楽ソフトに多い24コマ／秒の素材映像をなめらかに表示する設定です。
ノイズリダクション※3※4	自動、強、中、弱、切	映像に乗ったノイズを減らし、スッキリさせる機能です。

※1　HDR信号入力時以外は選択できません。
※2　AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※3　入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。
※4　AVポジションが「PC」のときは選択できません。

ツールメニュー項目の一覧



映像調整

リセット

- AVポジションごとの設定を初期値に戻します。

設定
する、しない



ツールメニュー項目の一覧

音声調整

音質モード

- 音質モードを切り換えます。

メニュー項目名	設定
標準	標準設定です。
ダイナミック	メリハリの効いた設定です。
クリア※	音楽などの視聴に適した設定です。

※LC-60UH5/LC-55UH5のメニューツリーにのみ表示されます。

次ページへつづく⇒

音声調整（つづき）



オートボリューム

- 急激な音量変化を抑制し、自動で音量を調整します。

設定
入、切

お知らせ

- 「声の聞きやすさ」設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームの設定は変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。
- 放送やBD/DVDなどのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

次ページへつづく⇒



音声調整（つづき）

高音

- 高音を調整できます。

設定
−15〜0〜+15

低音

- 低音を調整できます。

設定
−15〜0〜+15

バランス

- 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます

設定
左30〜中央〜右30

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

サラウンド

- 内蔵スピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。

設定
自動、入、切

サラウンドモード選択

- サラウンド有効時のモードを選択します。

設定	
リビング	立体的なサラウンドが楽しめます。
シアター	映画館のような臨場感あふれるサラウンドが楽しめます。
ホール	ホールで聞いているようなサラウンドが楽しめます。

お知らせ

- 「サラウンド」設定を「切」に設定しているときは、「サラウンドモード選択」は選べません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

帯域拡張

- 低域と高域を拡張します。

設定
低域＋高域、低域、切

リセット

- AVポジションごとの項目を初期設定に戻します。

設定
する、しない

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

壁掛視聴設定

- 壁掛け設置に合わせた音質補正をします。

設定
入、切

お知らせ

- 壁掛視聴設定は、一般的な壁にかけた際の音を設定していますが、壁の材質や設定条件によっては、本設定が適さない場合があります。その場合はツールメニューから「音声調整」で調整してください。
- 「声の聞きやすさ」設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は視聴設定は選べません。
- この機能は本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しは働きません。

次ページへつづく⇒



ツールメニュー項目の一覧

音声調整（つづき）

声の聞きやすさ

- ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

メニュー項目名	設定
標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞き取りやすくします。
くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。セリフの音質をくっきりさせて、聞き取りやすくします。
切	この機能を無効にします。（工場出荷時設定）

メニュー操作

ツールメニュー項目の一覧



基本設定

- テレビ全般の設定画面を表示します。

メニュー操作



文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- 本機の操作でUSBハードディスクの機器名の変更、番組表の検索等文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。
- ソフトウェアキーボードは文字入力欄を選んで（決定）を押すと表示されます。
- 上下左右カーソルボタンと（決定）を使って画面に従って操作してください。

故障かな？

故障かな？と思ったら

まず確認してください

- テレビをご使用中に故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に、もう一度下記の流れに従って、セルフチェックをしてください。本機からメッセージなどが表示される場合は、メモしておくことをおすすめします。

1. 本機を再起動する
   - 電源プラグを抜き、少し経ってから再度接続してください。電源プラグの抜き差しができない場合は、設定メニューから「端末情報」ー「再起動」からも実行できます。
2. 本書やお困り解決ナビで調べる
   - テレビが操作できる場合は、ホーム画面の「お困り解決ナビ」を起動し、該当する項目がないか調べます。該当する項目を選ぶと対応方法が確認できます。
   - テレビが操作できない場合は、本書の「故障かな？と思ったら」を確認し、該当する項目がないか調べます。



3. サポートページで調べる
   - AQUOSサポートページでは、最新のサポート情報やよくあるご質問とその回答等を調べることができます。
4. それでも解決しないときは
   - お客様相談窓口へご相談ください。
   - サポートページから、メールでも受け付けております。

AQUOS サポートページ

シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

故障かな？

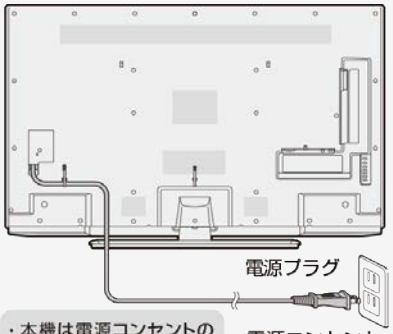
故障かな？と思ったら

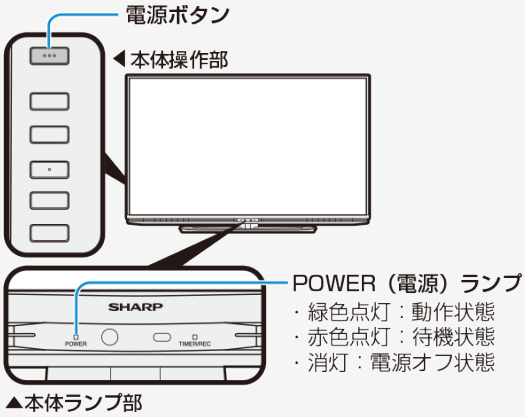
- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
  なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒11-4ページ）をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください。
（⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」）





次ページへつづく⇒

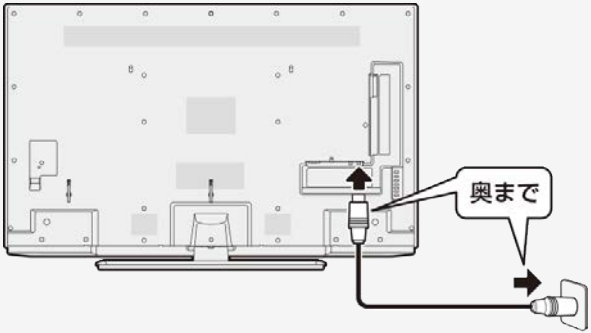
故障かな？

故障かな？と思ったら

まず確認してください

TV放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください。
（⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」）





アンテナケーブルの端子部の芯線が曲がっていませんか

次ページへつづく⇒

故障かな？

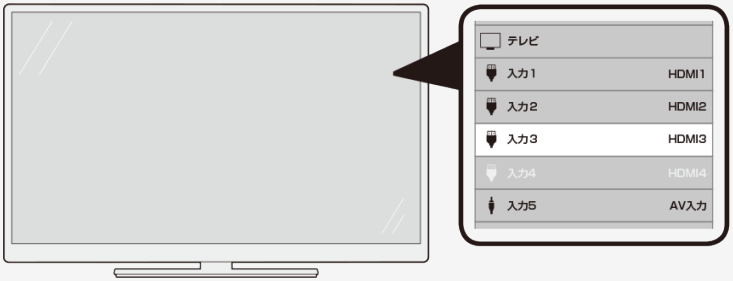


故障かな？と思ったら

まず確認してください

ビデオ・DVDが見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください。



- 入力5、入力6の場合、接続している機器によっては著作権保護技術（AACS）の規定により、BDビデオ（市販のブルーレイソフト）が再生できません。

故障かな？

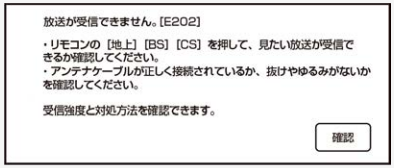


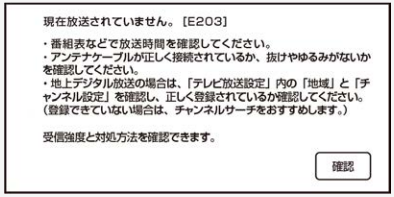
故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1. 画面のメッセージを確認し、決定を押す
   - 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。





次ページへつづく⇒

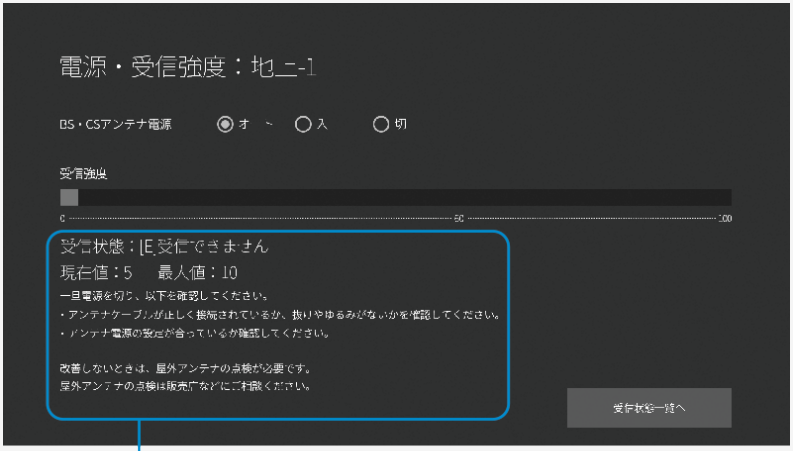
故障かな？



故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

2. 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、上下左右カーソルボタンで「受信状態一覧へ」を選び、決定を押す



受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

次ページへつづく⇒

故障かな？



故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

3. デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

- 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。



受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

次ページへつづく⇒

故障かな？



故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

4. 確認したら、終了を押して受信状態一覧の画面を消す

- アンテナとの接続について
  ⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき
  ⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

お知らせ

BS・110度CSデジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

110度CSデジタル放送を初めて選局するときは

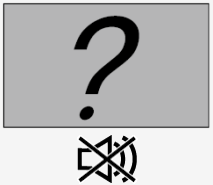
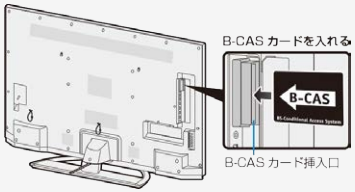
①CSデジタル放送を選びCS100chを選局し、約5秒待つ
②CS001chを選局し、約5秒待つ
（2017年8月現在CS001chは放送されていません。）
③番組表で選局したい放送局のチャンネル番号が表示されている事を確認する（⇒2-5ページ）

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは（[E202]と表示される）



こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない 	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。	同梱の取扱説明書
	アンテナケーブルは接続されていますか。	
	端子を間違えて接続していませんか。	
	アンテナケーブルが切れていませんか。	
	B-CASカードは正しく挿入されていますか。 	

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

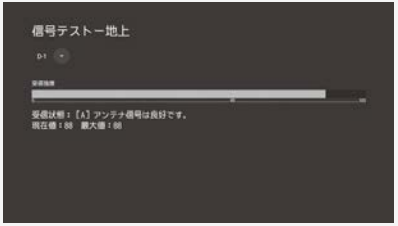
テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは（[E202]と表示される）

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない 	テレビ放送を見たいのに、入力1などに切り換えられていませんか。	1-21
	外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。	1-21
	BS・CSアンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	9-1～9-3

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは（[E202]と表示される）

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
テレビ放送画面にノイズが出る 	VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。 ノイズがでるときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	同梱の取扱説明書
	アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	
	アンテナの向きは正しいですか。	
	事象が出るチャンネルに選局し、「設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定」で選択中のネットワークを選び、選局中のチャンネルが、「[A]アンテナ信号は良好です。」と表示されていることを確認してください。 表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒8-35ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 	9-1～9-6
	110度CSデジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は110度CS帯域対応のものを使用していますか。	—
特定のチャンネルだけ映らない	WOWOWやスターチャンネル、スカパー！ は有料です。視聴するためには契約をしてください。	—
	映らないチャンネルを選局し、「設定」ー「テレビ放送設定」ー「アンテナ設定」で、アンテナの受信強度を確認してください。	9-1～9-6

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは（デジタル放送関係）

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。	—
	アンテナ線は正しく接続されていますか。	同梱の取扱説明書
	お住まいの地域を地域選択で正しく設定し、地上デジタル放送チャンネルサーチを実行しましたか。	9-7
	チャンネル設定は正しくされていますか。	9-11～9-13
	引っ越したときなどは、かんたん初期設定を行ってください。	同梱の取扱説明書
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。強風などでアンテナの向きが変わっていませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは（デジタル放送関係）

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。「番組表取得設定」を「入」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。	7-19
	番組表が表示されていないチャンネルに選局し、2分程度お待ちください。	—
	電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
番組を予約しても受信できていない	契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	7-45・9-21～9-22

故障かな？

故障かな？と思ったら

画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
色が薄い（白っぽい） 色合いが悪い	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	AVポジションを変更することで、改善する場合があります。 「ツール」ー「映像調整」ー「AVポジション」で設定を変更してみてください。	7-57
	「ツール」ー「映像調整」ー「色の濃さ」、「色あい」を調整してみてください。	7-59・7-60
	液晶パネルの視野角特性により斜め方向から見ると映像内容によっては、色が薄くなったり、色合いが変わったりする場合がありますが故障ではありません。	—
画面が暗い	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	明るさセンサーの前に物などを置いていませんか。	同梱の取扱説明書
	AVポジションを変更することで、改善する場合があります。 「ツール」ー「映像調整」ー「AVポジション」で設定を変更してみてください。	7-57
	「ツール」ー「映像調整」ー「明るさ」を調整してみてください。明るさセンサーが有効になっているときは、変更できません。	7-58

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
黒色が潰れる	「ツール」ー「映像調整」ー「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」ー「ガンマ」を調整してみてください。	7-58～7-59・7-63
画面がちらついたり、ざらついたりする	「ツール」ー「映像調整」ー「プロ設定」ー「ノイズリダクション」を、「自動」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	7-64

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビ視聴や画面

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
時計表示が画面に出ない、または消えない	アプリ実行中は表示できません。テレビ放送、外部入力視聴中のみ表示できます。	—
	リモコンの画面表示/時計ボタンを繰り返し押してみてください	2-30
	「設定」ー「日付と時刻」ー「時計表示」の設定を確認してください。	7-33
字幕表示が画面にでない	放送によっては、字幕を送っていない場合があります。	—
	字幕ボタンを押し、「表示方法」が「切」になっていませんか。	2-40
地上デジタルの放送局のマークが表示されない	地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビ視聴や画面

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
数字ボタンを押しても選局できない	地上デジタル視聴中ではないと、数字ボタンで選局できません。リモコンの地上、BS、CSボタンを押して、放送に切り換えてから、選局してください。	2-1
本機の機能を向上するための更新が行えます。と表示される	本機の機能を向上するための最新のソフトウェアを確認しました。「はい」を選ぶと、ソフトウェアの更新が行なえます。「後で通知」を選ぶと、電源を切る時に再度通知します。	7-23
	通知を消したい場合は、「設定」ー「端末情報」ー「ソフトウェアの更新」ー「ソフトウェア通知」をオフにしてください。	7-23
ソフトウェア更新中、テレビが操作できない	ソフトウェア更新中は、テレビの操作ができません。 一度更新が始まると、完了するまで中断はできません。 ご家庭のネットワーク環境によっては、時間がかかる場合があります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンは動作しているが、画面が動かない。遅れて動く。	「こんなときは」の「本機の操作ができなくなったときは」をご確認ください。	8-48
	リモコンのボタンを検知すると、LED部が点灯します。 LED部が点灯しているが、画面が動かない場合はテレビが操作を処理できていない場合があります。「設定」ー「端末情報」ー「再起動」を実行してください。	7-24
LED部が点灯しない	「設定」ー「イルミネーション」が切に設定されていませんか。	7-8
映像は出るが音声が出ない	音量調整が最小になっていませんか。	2-1
	「消音」状態になっていませんか。	2-2
	ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。	1-22
	外部スピーカーを接続している場合、ファミリンクボタンを押し、「スピーカー切換」を「テレビ」に設定してください。	—
音声は出るが映像が出ない	「映像オフ」中ではありませんか。映像オフは、音量以外のボタンを押すと画面が表示されます。	7-52
	接続ケーブルが抜けていませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
テレビ放送と各入力の音量が違って聞こえる	接続されている機器や、再生するディスク等により入力される音声レベルが異なる場合があります。	2-1
BDレコーダーなどの外部機器の映像が映らない、外部機器の映像が映らなくなった	外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	—
	外部機器の電源は入っていますか。	—
	外部機器を接続している入力を選んでいますか。	1-21
	外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	—
リモコンで電源を切った後などに、ときどき「ピシッ」や「カチ」と音がする	温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
	本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 • デジタル放送の録画予約を実行している場合 • ダウンロードをしている場合 • 有料放送の契約情報を取得している場合 • 地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
テレビの上部が熱い	内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。	—
	本体の温度が異常に上昇したときは、「本機の温度が上昇しています」と通知され、その後温度が下がらない場合は、自動的に電源が切れます。	—
テレビの電源を入れた時や切っている時に「ブーン」と音がする	USBハードディスクを本機に接続していませんか。 USBハードディスクは本機の電源 を入れると電源が入り、ハードディスクが回転するため「ブーン」という音がする場合が あります。USBハードディスクの予約録画中（録画中）も「ブーン」という音がする場合があります。	—
勝手に電源が切れる	自動で電源がオフになるモードになっていませんか。 受信機レポートで確認してください。	7-20
本体の電源ボタンを押してもPOWER(電源)ランプが消えない	本体の電源ボタンを押して電源を切ってもPOWER（電源）ランプは消えません。ランプを消すには、電源プラグを抜く必要があります。	1-1

故障かな？

故障かな？と思ったら

操作やメニュー

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
本体のボタンの操作ができない	外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。	—
	本体操作ロックが設定されていませんか。誤って設定してしまった場合は、設定メニューの「安心・省エネ」—「本体操作ロック」で「しない」を選んでください。	7-49
入力切換しても選べない	「外部端子・ファミリンク」ー「外部入力表示」で非表示になっていませんか。	7-7
表示されない設定項目がある	受信している放送や起動しているアプリによっては、表示されない項目や設定できない項目があります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

リモコン関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンが動作しない	POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。	—
	乾電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか。	同梱の取扱説明書
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。 リモコンの使用頻度により乾電池の消耗が早くなる場合があります。 リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、早めに新しい電池と交換してください。	同梱の取扱説明書
	新しい電池を入れた直後は、動作しない場合があります。少し待ってからお試しください。	—
	リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。	同梱の取扱説明書

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

リモコン関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンが動作しない	リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	1-11・7-31
	以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 • 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。 • 室温が極端に低下していませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

リモコン関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
かんたん初期設定のリモコンペアリングがうまくいかない。	• 電源プラグを抜き、再度挿して電源を起動し直してください。リモコン側も、もう一度電池を入れ直してください。 • 画面に従って、もう一度操作してみてください。 • 接続完了まで1分程度かかる場合があります。 • 2分間機器が検知できない場合、当項目をスキップできます。	同梱の取扱説明書
音声検索（マイク）ボタンを押しても反応しない	ホーム画面から「設定」ー「リモコン設定」ー「ペアリング開始」からペアリングを行ってください。ペアリング開始が選択できない場合は、その下の「ペア解除」を行ってから、ペアリングを開始してください。	1-12・7-31

故障かな？

故障かな？と思ったら

インターネット関連

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
インターネットに接続できない	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	LAN ケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。	—
	【パソコンをお持ちの場合】 ご使用になっているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 接続できる場合は、ブロードバンドルーターからLAN側(本機側)の接続・設定を確認してください。 接続できない場合は、ブロードバンドルーターからWAN側(プロバイダー側)の接続・設定を確認してください。	—
	【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。	—
	外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。本体の電源ボタンで電源を切り、1分間放置した後、再度電源を入れてください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください		参照ページ
無線LANで接続できない	「本機をインターネットに接続するためのLAN環境」をご覧いただき、インターネット環境をご確認ください。		4-4～4-5
	「無線LAN使用上のご注意」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。		同梱の取扱説明書
	無線LANの接続設定を実施されましたか。「アクセスポイントに接続する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。		4-10
	ブロードバンドルーターやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。		—
	正常動作の表示がされない場合 次のことを確認してください。	アクセスポイントの電源が入っていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。	—
		アクセスポイントの設定はされていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。	—
		すでにアクセスポイントに接続している機器はありますか。接続している機器の数や設定によっては、接続できない場合があります。本機のみ接続して確認してください。	—
		アクセスポイントを複数台お使いですか。無線のチャンネルや周波数が競合していないか確認してください。	—
		有線接続で接続できますか。「ネットワークの設定を確認する」の手順で、インターネット環境が正しく接続されているか確認してください。	4-22～4-23

次ページへつづく⇒

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声が途切れる、またはつながらなくなった	無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が小さくなり通信が途切れたり届かなくなります。「無線LAN接続設定を確認する」をご覧いただき、受信レベルが良好になるように設置位置を変えてみてください。	4-18～4-19
	ご使用の無線LANアクセスポイントが高速無線通信（802.11n／5GHz／40MHz）に対応していない場合、通信速度が足りず視聴ができない場合があります。無線LANアクセスポイントの対応方式と設定を確認してみてください。	—
	無線LANアクセスポイントは、本機以外に、パソコン/ゲーム機などを無線LANで接続していますか。無線LANアクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちて視聴に影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機だけ接続してみてください。	—
	電子レンジ／他の通信機器などを使用していますか。同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の影響で、通信速度が落ち視聴に問題を与える場合があります。他の通信機器の電源を落として確認してみてください。またはアクセスポイントの設定で通信周波数を変更してみてください。	—
	無線LANアクセスポイントに、本機および他の機器から無線設定を行うと、アクセスポイントの無線設定が変更される場合があります。アクセスポイントの設定を確認してみてください。	—
	「無線LAN使用上のご注意」も、合わせてご覧ください。	同梱の取扱説明書

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
無線接続設定ができない	無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり接続できない場合があります。本機の近くに設置して再度設定してみてください。	4-10～4-11
WPSプッシュボタン方式で接続できない	無線LANアクセスポイントはWPSプッシュボタン方式に対応していますか。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	無線LANアクセスポイントによっては、WPSボタンを長く押し続ける（約5秒以上など）必要があります。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	アクセスポイントの設置場所が本機から遠い場所にあるなどにより、メニューで「アクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押してください」が表示されてから、アクセスポイントのWPSボタンが押されるまでに時間がかかると、接続に失敗する場合があります。アクセスポイントを本機の近くに設置して、短時間でWPSボタンを押せるようにしてから再度設定してみてください。	4-10～4-11

故障かな？

故障かな？と思ったら

映像配信サービス関連について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声がときどき停止する	映像配信サービスをお楽しみになる場合は、インターネット環境などが必要です。	4-1
	ご家庭のインターネット環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでも映像配信サービスの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度映像配信サービスを再生してみてください。	—
	本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	4-4～4-5
	ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーにご確認ください。	—
	光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによっては映像配信サービスを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーにご確認ください。	—
映像配信サービスの画質が悪い	デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	—
	映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	—
	インターネット接続速度の影響で画質が低下する場合があります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

USBハードディスク

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
USB ハードディスクが使用できない／登録できない	お困り解決ナビで詳細を確認できます。	お困り解決ナビ
	動作確認済みのUSB ハードディスクか確認してください。 AQUOSサポートページでご確認いただけます。	—
	USB2端子（USBハードディスク用）にUSBハードディスクが接続されているか確認してください。	3-7
USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない	USBハードディスクの電源が入っていますか。正しく接続されていますか。	3-7
	接続したUSBハードディスクは、「初期化」を実施しましたか。事前に「初期化」をする必要があります。	3-9
USBハードディスクに正しく録画できない	録画機器選択で「USB-HDD」が選択されていますか。	7-29
	USBハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別のUSBハードディスクを接続してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

USBハードディスク

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
USBハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	本機に接続しているUSBハードディスクは本機で録画したものですか。本機以外のテレビ受信機で録画されたUSBハードディスクを本機で表示／再生することはできません。	—
	「再起動」をお試しください。再起動することで録画リストが更新される場合があります。	7-24
	本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。	—
USBハードディスクに録画した番組が消えた	USBハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USBハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USBハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。）	—
	録画したハードディスクと異なるUSBハードディスクをつないでいませんか。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

ファミリンク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ファミリンク連携が正常に動作しない	「レコーダー選択」を確認し、録画、ファミリンク連携に使用する機器を選択してください。	7-2
	「ファミリンク制御（連動）」が「入」になっていることを確認してください。	7-2
	レコーダーの設定でファミリンク機能が有効になっていることを確認してください。詳しくはレコーダーの取扱説明をご確認ください。	—
	テレビとレコーダーの電源を、それぞれ入れ直してみてください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Bluetooth関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ペアリングしたBluetooth®機器が接続できない	一度ペアリングを解除し、もう一度ペアリングを行ってください。	7-32
Bluetooth®機器をペアリングできない	機器側が本機を検出可能な状態であるか確認してください（機器によっては検索ボタンを押す必要があります）。	—
	Bluetooth®機器を本機に近づけてみてください。	—
	お使いのBluetooth®機器の最新バージョンのソフトウェアが入手可能かを確認してください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

	ビジュアルガイド • リモコン番号切換について動画で案内しています。 • 当サイト及び動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。 • 通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。 • QRコードが読み取れない場合は、「シャープサポート　ビジュアルガイド」で検索いただくか、下記アドレスを直接入力してください。 シャープサポート　ビジュアルガイド　検索 http://www.sharp.co.jp/support/visualguide/index.html#aquos （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

故障かな？

エラーメッセージが出たら

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	参照ページ
[B]受信強度が60以下です。	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	9-1～9-6
[C]アンテナ信号が不足しています。またはアンテナ信号が強すぎます。	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	—
	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	—
[D]受信状態が良くありません。	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	—
[E]受信できません。	アンテナが正しく設置されているか確認してください。	—
	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	アンテナの設定が合っているか確かめてください。	9-1～9-6

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを再度挿入してください。	****	B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、カードを差し直してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	9-19
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
放送が受信できません • リモコンの【地上】【BS】【CS】を押して見たい放送が受信できるか確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか 抜けやゆるみがないかを確認してください。	E202	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
		アンテナの設定と受信強度を確認してください。	8-5～8-8・ 9-1～9-6
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
現在放送されていません。 • 番組表などで放送時間を確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか抜けやゆるみがないかを確認してください。 • 地上デジタル放送の場合は、「テレビ放送設定」内の「地域」と「チャンネル設定」を確認し、正しく登録されているか確認してください。（登録できていない場合は、チャンネルサーチをおすすめします。）	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	—
		受信強度を確認してください。	8-5～8-8・ 9-1～9-6
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—
このチャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	—
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 BSやCSが受信できないときは、一度テレビの電源を切り、アンテナを再接続してから、電源を入れ直してください。	****	電源を入れ直してください。	—
		BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	9-1～9-6・ 同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
本機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
USB-HDDが接続されていない、もしくは電源が切れているため録画できません。	• USBハードディスクを本機に接続してください。 • 初めて本機に接続するUSBハードディスクの場合は、接続後に初期化（登録）してください。 （⇒3-8～3-9ページ） • USBハードディスクの電源を入れてください。
USB-HDDが認識できないため、録画できません。USB-UDDを接続し直してください。	
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
USB-HDDの準備中です。しばらくお待ちください。	USBハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
USB-HDDに異常があり、録画を停止しました。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
USB-HDDの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	USBハードディスクの初期化（登録）が終わるまでお待ちください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクの容量が不足しています。	不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	予約できる番組は、最大100番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
USB-HDDが接続されていない、もしくはUSB-HDDの電源がオフになっていました。 録画前にはUSB-HDDをUSB2(USBハードディスク用)端子に接続し、電源を入れておいてください。	USBハードディスクを本機に接続してください。
	初めて本機に接続するUSBハードディスクの場合は、接続後に初期化しておいてください。 (⇒3-8～3-9ページ)
	USBハードディスクの電源を入れておいてください。
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用USB-HDDを使用してください。このUSB-HDDに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
USB-HDDに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用USB-HDDを使用してください。このUSB-HDDに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	録画する前にUSBハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	USBハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
USB-HDDに異常があり、録画できませんでした。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
USB-HDDに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用USB-HDDを使用してください。このUSB-HDDに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
1タイトルの録画時間が6時間を超えたため、録画を停止しました。1タイトルが6時間以上の連続録画はできません。	6時間を超える録画時間の指定はできません。 録画時間を6時間以内に設定してください。
USB-HDDが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。	本機にUSBハードディスクを接続してください。 また、USBハードディスクの電源を入れてください。
USB-HDDが認識されていないため、再生できません。	

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このタイトルは再生できません。	再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるコンテンツがありません。	本機に接続されているUSBハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別のUSBハードディスクを本機に接続してください。
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	時計合わせを行ってください。
この番組は録画できません。	独立データ放送は録画できません。
録画禁止番組中は記録できません。	「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は録画予約ができません。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USB利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。
	本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

リモコン電池に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
リモコンの電池交換時期が近づいています。	リモコンに使用している電池の電圧が低下しています。早めに電池を交換してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
まだルート証明書※2 を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。

※ 1 サーバー証明書…… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

※ 2 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

ファミリンク録画時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	このネットワークは録画することができません。 ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13 S14	この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	現在録画中のため、新たに録画できません。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

ファミリンク録画時に関するもの

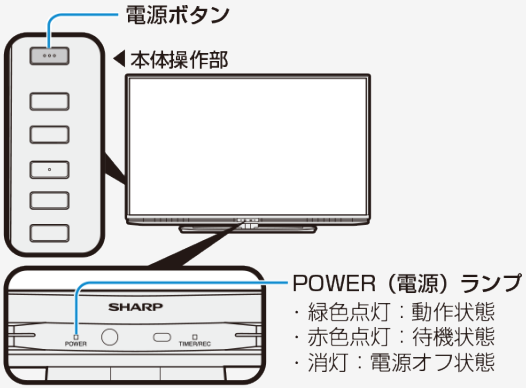
画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」が書き込み禁止です。
		「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」に録画できません。
		「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	録画機器を確認してください。

故障かな？

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、本体の電源ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源ボタンを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約1分待ってから電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。



▲本体ランプ部

お知らせ

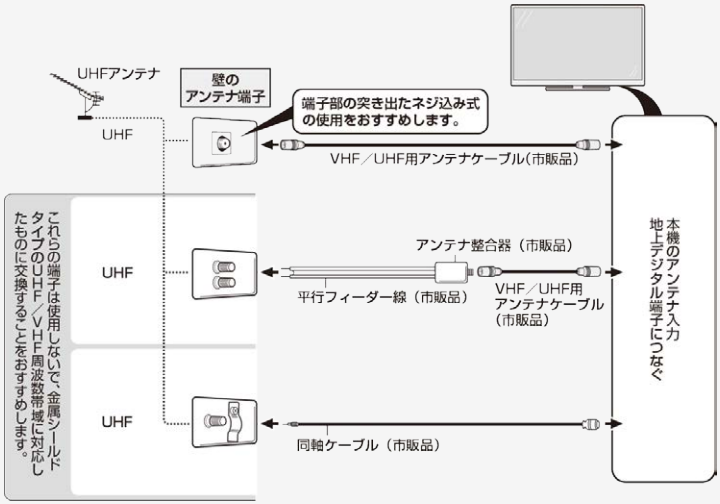
- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

故障かな？

こんなときは

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合について

- 壁のアンテナ端子のかたちが同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」の記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。



停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 停電前の状態や設定は解除されることがあります。



こんなときは

予約設定時のメッセージについて

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

設定中の予約を残したいとき

- 重複している予約の中から削除する予約を選び、決定を押すと、選んだ予約にチェックがつきます。
- 「録画予約を確定」で決定を押すと、設定中の予約が完了します。チェックを付けた予約は削除されます。

すでに設定されている予約を残したいとき

- 「キャンセル」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

お知らせ

- USBハードディスク利用時に関するエラーメッセージ（⇒8-40～8-43ページ）も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

その他／索引

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
  初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」）を行ってください。
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

1. BS を押してBSデジタル放送を選ぶ
   - 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
   - 「視聴年齢制限」（⇒7-45ページ）をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. ホーム を押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」を選び、決定 を押す
4. 「アンテナ設定」を選び、決定 を押す
5. 「電源・受信強度」を選び、決定 を押す

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する（つづき）

◆アンテナに電源を供給するための設定

6. 左右カーソルボタンで「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

◆受信強度の調整

7. 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する
   - 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

8. 調整が終わったら決定を押す
    - 操作を終了する場合は、終了を押します。

お知らせ

- 9-3ページの手順7で「受信状態：[A]アンテナ信号は良好です」と表示されないときは、⇒8-35ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 9-3ページの手順6または手順7の画面で、「受信状態一覧へ」を選び決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。（⇒8-7ページ）
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信C/N※の換算値です。）

  ※受信C/Nとは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。
  （例）BSデジタル放送の信号テストをする

1. 9-2ページの手順1～4を行い、「信号テスト－BSデジタル」を選び、決定を押す
2. カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定を押す
   - 「受信状態：[A]アンテナ信号は良好です」と表示されていることを確認してください。
   - 「受信状態：[A]アンテナ信号は良好です」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒8-35ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。
3. カーソルボタンで「終了」を選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

お知らせ

地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- ⇒9-5ページの手順1で「信号テスト－地上デジタル」または「信号テスト－CSデジタル」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- ⇒9-5ページの手順1で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。（例：BS15のアンテナ受信周波数11996を入力すると15chの受信強度が表示されます。）



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- 地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「地域・郵便番号」ー「地域」を選び、決定を押す
3. お住まいの地域を選び、決定を押す



- 地域選択を変更した場合は、あとで「テレビ放送設定」から「地上デジタル放送チャンネルサーチ」を行ってください。（⇒9-9ページ）

次ページへつづく⇒

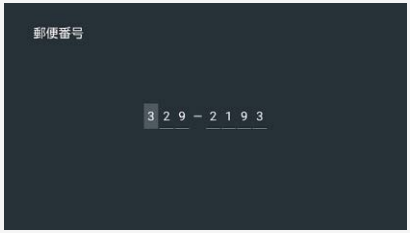


デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

郵便番号設定

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「地域・郵便番号」ー「郵便番号」を選び、決定を押す
3. 数字ボタンで郵便番号を入力し、決定を押す



- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで数字を選び直します。



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。「地上デジタル放送チャンネルサーチ」の前に、必ず「地域・郵便番号」設定をしてください。

1. 地上デジタル放送を選局する
2. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」ー「地上デジタル放送チャンネルサーチ」を選び、決定を押す
4. 「初期サーチ」を選び、決定を押す



次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

◆ 重要◆

「初期サーチ」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「追加サーチ」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で 決定 を押します。

お知らせ

地上デジタル放送のCATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。
- CATVパススルー方式とは、CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
リモコン番号	• リモコンの数字ボタンを押したときに受信するチャンネルを設定します。
選局スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

1. ホームを押してホーム画面を表示し、上下カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで「テレビ放送設定」—「チャンネル設定」を選び、決定を押す
3. 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」「ネットチャンネル」のいずれかを選び、決定を押す
   - 「ネットチャンネル」を選んだ場合は、手順5に進みます。

次ページへつづく⇒



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送のチャンネルの個別設定

4. ①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、決定を押す
   ②上下カーソルボタンで数字を選択して、決定を押す
5. チャンネルをスキップする場合は、
   ①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、右カーソルボタンで「選局スキップ」を選び、決定を押す
   ②上下カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

デジタル放送のチャンネルの個別設定

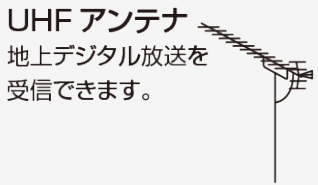
お知らせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1～12の数字ボタンの番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

放送の種類について

地上デジタル放送



特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョン画質
- 多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナがUHF対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。VHFアンテナでは受信できません。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

お知らせ

- ARIB放送規格の変更により、本機のホーム画面などの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

BS・110度CS共用アンテナ

BSデジタル放送も110度CSデジタル放送も、このアンテナで受信できます。
（他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。）



BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョン画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- 従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。

放送の種類について

◆重要◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

  ※ファミリンク録画予約（⇒6-15～6-19ページ）の場合、お使いのAQUOSレコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。
  下記手順で切り換えることができます。

1. （映像調整）ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「映像切換」を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送のその他の特長

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

BSデジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定で切り換えます。
  下記手順で元の映像に戻ることができます。

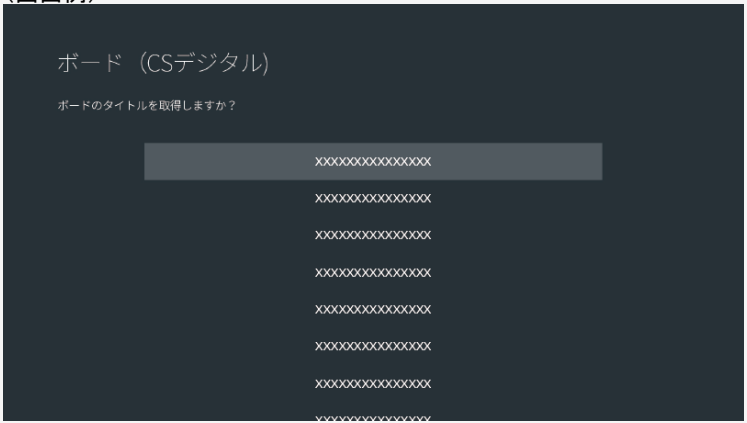
1. (映像調整) ツール を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「視聴操作」ー「映像切換」を選び、決定を押す

110度CSデジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）

- プラットフォーム（スカパー！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホーム画面からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
（⇒7-20ページ）

（画面例）



WOWOWやスカパー！ などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、カスタマーセンターにお問い合わせください。
  2017年8月現在

WOWOW

WOWOWカスタマーセンター

電話番号	0120－580－807
受付	9:00～20:00（年中無休）
ホームページ	http://www.wowow.co.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

スターチャンネル

スターチャンネル　カスタマーセンター

電話番号	0570－013－111（ナビダイヤル） または045－650－4724
受付	10:00～18:00（年中無休）
ホームページ	http://www.star-ch.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- スターチャンネルの加入申し込みは、⇒9-22ページのスカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。

次ページへつづく⇒

放送の種類について

WOWOWやスカパー！ などの有料放送を見るときは

スカパー！

スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号	0120－039－888
受付時間	10:00～20:00（年中無休）
ホームページ	http://www.skyperfectv.co.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

お知らせ

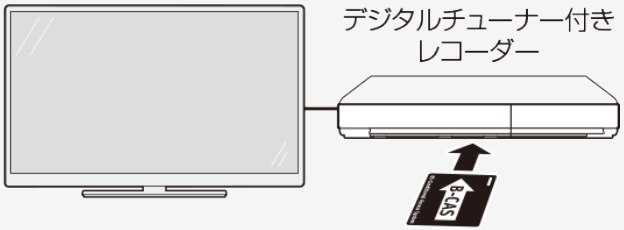
- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

次ページへつづく⇒

WOWOWやスカパー！ などの有料放送を見るときは

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。



有料放送で登録したB-CASカードは、
レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

その他／索引

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログやAQUOSサポートページで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。（2017年8月現在）

No.	品名	形名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-52AG6※1	LC-60US5 LC-55US5 LC-60UH5 LC-55UH5
2	壁掛け金具	AN-52AG4※1	
3	システムラック	AN-R600※2※3	LC-60US5 LC-55US5 LC-50US5 LC-60UH5※3 LC-55UH5
4	システムラック	AN-65SR3※2	

※1　取り付け角度は0°のみ対応しています。
※2　必ず本機の転倒防止ベルトを使用して、ラックにネジ止めしてください。
※3　「AN-R600」と組み合わせ時に、スタンドを回転させ画面角度（左右）を調整すると、ラックの奥行寸法よりディスプレイ部の奥行寸法が大きくなります。

- LC-50US5の壁掛け金具の適合は、AQUOSサポートページでご確認ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWebサイトをご覧ください。

	シャープGPL情報公開サイト http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

次ページへつづく⇒

その他／索引

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

お知らせ

- ホーム画面の「設定」ー「端末情報」ー「法的情報」ー「ソフトウェアライセンス」を選択すると、本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示することができます。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

MP3はFraunhofer IISおよびThomsonからライセンスされたMPEG Layer-3音声コーディング技術です。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

本機で使用している特許など

商標・登録商標など

- Google、Android、Android TV、Google Play、Chromecast built-in、Google日本語入力およびYouTube はGoogle Inc. の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™はWi-Fi Alliance の商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- この製品はDigiOnのDiXiM Android TV SDKを採用しています。「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。詳しくは、デジオンWebサイト（http://www.digion.com/）をご覧ください。DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
- This product is embedded with technology owned by and under license from Broadmedia GC Corporation.
- この製品はEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM、VIR FilterはEilex International, LLCの商標です。
- 本製品は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ©2016 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

次ページへつづく⇒

本機で使用している特許など

商標・登録商標など

- パッケージメディアのためのビデオ情報をエンコードするためのMPEG2規格に準拠した、消費者の個人的使用以外の本製品のあらゆる使用は、ライセンスがMPEG LA,L.L.C., 6312 S. Fiddlers Green Circle, Suite 400E, Greenwood Village, Colorado 80111U.S.A.から入手できるライセンスであるMPEG2特許ポートフォリオの適用特許に基づくライセンスがなければ明示的に禁止されております。
- 本製品は、VC-1ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人のお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、MPEG-4 Visual特許ポートフォリオ・ライセンスに基づき、お客様が個人的に、かつ非商業的な使用のために(i) MPEG-4 Visual規格(「MPEG-4ビデオ」)に従いビデオを符号化すること、および／または(ii)お客様が個人的に、かつ非商業活動のために符号化したMPEG-4ビデオおよび／またはMPEG-4ビデオを提供するライセンスをMPEG LAから供与されているビデオ供給業者から入手したMPEG-4ビデオを復号するためのライセンス供与を受けております。その他の方法による使用については、一切のライセンスが供与されておらず、黙示もされておりません。さらに詳しい情報(販売促進のための使用、社内使用、営業使用およびライセンシングに関する情報を含む)については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

Eilex 音声技術について

- Eilex PRISM™は、スピーカーの音響パワー体積密度周波数特性を補正すると同時に、位相のずれを補正します。Eilex PRISMで補正されたスピーカーシステムからは、原音に近い高音質が得られるばかりではなく、自然な音の広がりと奥行、それに明瞭度の高い音声が再生されます。
- VIR Filter™は、オーディオ用に開発された高性能フィルタです。

用語の解説

1080i
有効走査線1080本かつ、インターレース方式の映像のことです。

1080p
有効走査線1080本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

1080/24p
有効走査線1080本かつ、24p(1秒あたり24コマ、プログレッシブ方式)の映像のことです。

1080/60p
有効走査線1080本かつ、60p(1秒あたり60コマ、プログレッシブ方式)の映像のことです。

16:9
画面比率(アスペクト比)が横16に対し、縦9の比率になるサイズのことです。

次ページへつづく⇒

用語の解説

2160P
3,840×2,160の解像度のことです。

480i
有効走査線480本かつ、インターレース方式の映像のことです。

480p
有効走査線480本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

4K/60p
4K（3,840×2,160）の解像度かつ、60p（1秒あたり60コマ、プログレッシブ方式）の映像のことです。

720p
有効走査線720本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

次ページへつづく⇒

AAC（Advanced Audio Coding）
音声圧縮方式のひとつです。MP3を超える高音質・高圧縮を目的に標準化された方式です。

AQUOSタイムシフト
AQUOSタイムシフトに対応しているBDレコーダーと接続すると、本機で視聴している番組を一時停止して、続きから再生して見ることや、ちょっと戻って見ることができます。

ARC（Audio Return Channel）
HDMIケーブルを使ってテレビからオーディオ機器などに音声を送る機能です。
従来はHDMIケーブルだけで音声を送ることができなかったため、光デジタルケーブルの接続が必要でしたが、この機能によりHDMIケーブル1本だけで音声を送ることができるようになりました。

Bluetooth
近距離無線通信規格のひとつです。テレビ、キーボードやマウス、スマートフォン、オーディオなど様々な機器で採用されています。

次ページへつづく⇒

用語の解説

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
映像・音声をデジタル信号で伝送する通信インターフェイスの標準規格で、おもにテレビやレコーダーなどのAV機器で採用されています。

HDR（High Dynamic Range）
カメラが捉えた明るさの情報（輝度）を従来より広い幅で記録し、再生時にテレビ側で復元する技術です。
これにより、同一映像内での表現が難しかった光の輝きなどの明部階調から暗部階調までをリアルに再現できるようになりました。

USB-HDD（Universal Serial Bus – Hard Disk Drive）
USB端子に接続して使用することができるハードディスクドライブです。
本機のUSB端子に接続すると番組の録画ができるようになります。

次ページへつづく⇒

用語の解説

VOD（Video On Demand）

インターネットを利用した動画配信サービスです。
映画やテレビ番組など様々なコンテンツの中から好きなものを選んで再生することができます。

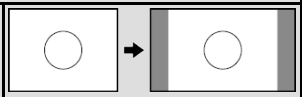
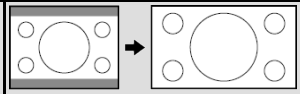
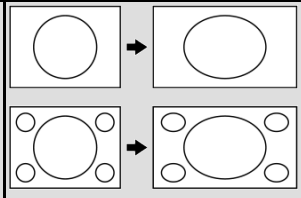
ハイブリッドキャスト

放送と通信を連携させたテレビサービスです。
ニュースや気象をはじめ、番組に関するさまざまな情報を提供しています。

次ページへつづく⇒

画面サイズ切換の設定項目

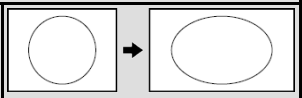
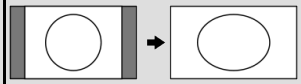
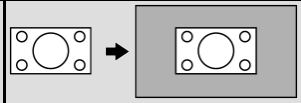
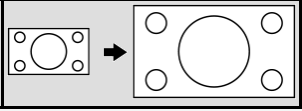
映像の種類によって、選べる画面サイズは異なります。

項目		内容
ノーマル		• 縦横比をくずさずに、4:3サイズの映像をそのまま映します。
シネマ		• シネスコサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	 入力信号16:9の信号に黒帯がついている場合、黒帯がついたままとなります。	• 入力信号を画面いっぱいに映します。

次ページへつづく⇒

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類によって、選べる画面サイズは異なります。

項目		内容
ワイド		• 4:3映像を画面いっぱいに映します。
		• 16:9映像の中央部(4:3)を画面いっぱいに映します。入力信号が16:9で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
Dot by Dot		• 入力信号の解像度どおりに映します。 ※入力信号が4Kより小さい場合は、図のように映ります。
アンダースキャン		• 縦横比をくずさずに、入力信号を画面いっぱいに拡大して映します。

英数字・記号／五十音

英数字・記号
あ行
か行
さ行
た行
な行
は行
ま行
や行
ら行
わ行

その他／索引

索引

- 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については　⇒1-1～1-10ページをご覧ください。
- 用語については　⇒9-29～9-35ページをご覧ください。

英数字・記号	
110度CSデジタル放送	2-1・9-6・9-16・8-8
2画面	2-42～2-47
3桁入力	7-53
AAC	9-31
AQUOSオーディオ	6-3～6-4・6-24
AQUOSコネクト	7-27
AQUOSレコーダーに録画する	6-11～6-19

次ページへつづく⇒

索引

英数字・記号	
ARC	6-3・6-24・7-6
AV入力	1-2・6-26・6-30・6-37・6-38
AVポジション（画質切換）	7-57
B-CASカード	7-25・同梱取扱説明書
Bluetooth®	7-32・8-33
BS・CSアンテナ電源	9-1・9-3
BSデジタル放送	2-4・9-2・9-15
CATV（ケーブルテレビ）	同梱取扱説明書
Dot by Dot（ドット・バイ・ドット）	9-35
DTCP-IP	5-29
DVI端子	6-37

次ページへつづく⇒

索引

英数字・記号	
HDMI	1-2・6-1～6-6・6-25・6-28・6-37・6-38
HDMIコンテンツタイプ連動	7-3
HDMI対応信号モード	6-7・7-3
HDR映像	6-7
HDRガンマ	7-64
IPアドレス	4-21
JPEG	5-12・5-27
Language（言語）	10-11～10-13
LAN設定	4-1～4-23
PC（AVポジション）	7-57
PCM	7-6
POWER（電源）ランプ	1-1
TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ	1-1
USBハードディスク	3-1～3-50
USBメモリー	5-10～5-13

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
明るさ	7-58
明るさセンサー	1-1
アクティブコントラスト	7-63
暗証番号	7-45
安心・省エネ	7-48～7-49
アンダースキャン	9-35
アンテナ設定	9-1
アンテナの接続	同梱取扱説明書
色あい	7-60
色温度（映像調整）	7-62
色の濃さ	7-59
インターネット	4-1～4-23
裏番組	2-2
映画	7-57
映像レベル	7-59

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
映像切換	2-38・7-54
映像調整	7-57～7-60
枝番	9-13
追いかけ再生	3-32
オートボリューム	7-67
お知らせ	7-20
お手入れのしかた	同梱取扱説明書
おはようタイマー	2-37
オフタイマー	2-33～2-34
おやすみタイマー	2-35～2-36
音声切換	1-6・2-39・7-54
音声調整	7-66～7-72

次ページへつづく⇒

索引

か行	
外部端子・ファミリンク	7-2～7-7
外部入力表示	7-7
壁掛視聴設定	7-71
画面サイズ	7-56・9-34
画面表示設定	7-15
画面表示	2-30・2-31
かんたん初期設定	同梱取扱説明書
乾電池の入れかた	同梱取扱説明書
ガンマ	7-63
機器の初期化（USBハードディスクの初期化）	3-8～3-9
クイック起動	7-9
黒レベル	7-59
ケーブルテレビ（CATV）	9-10・同梱取扱説明書
ゲーム（AVポジション）	7-57

次ページへつづく⇒

索引

か行	
降雨対応放送	9-19
高音	7-68
声の聞きやすさ	7-72
コンテンツプレーヤー	5-10～5-24
さ行	
サーバー証明書	8-45
再生（USBハードディスク）	3-26～3-45
サラウンド	7-69
時刻の設定	7-34
視聴操作	7-52～7-56
視聴年齢制限	7-45

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
シネマ(画面サイズ)	6-35・9-34
字幕表示／字幕言語切換	2-40～2-41
シャープネス	7-60
受信強度	9-2～9-6・同梱取扱説明書
受信機レポート	7-20
仕様	同梱取扱説明書
消音	2-2
使用温度	同梱取扱説明書
初期化	7-29
スタンド	同梱取扱説明書
静止	2-48
設定	7-1～7-50

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
選局	2-1
選局キー	7-2
選局スキップ	9-11
ソフトウェアキーボード	7-74
ソフトウェアの更新	7-23
た行	
タイトル（録画した番組）	3-26～3-29
タイトル消去（USBハードディスク）	3-35～3-37
タイトル保護（USBハードディスク）	3-39～3-43
タイトル名変更	3-38
ダイナミック／ダイナミック（固定）	7-57
タイマー	2-33～2-37
タイマー／録画（TIMER/REC）ランプ	1-1
地域	9-7～9-8
地上デジタル放送	2-1・9-7～9-10・9-14

次ページへつづく⇒

索引

た行	
チャプター	3-4～3-5・3-48
チャプター設定	3-47
チャンネル	2-1
チャンネル設定	7-17・9-11～9-13
チャンネル番号（3桁）	2-5・9-13
通信設定	4-6～4-20・7-26～7-27
ツール	7-51～7-73
低音	7-68
データ放送	2-3～2-4・9-14～9-17
デジタル音声設定	7-6
テレビ放送設定	7-16～7-19・9-2～9-12
テレビ/ラジオ/データ	2-4
電源（POWER）ランプ	1-1
電源コードをつなぐ	同梱取扱説明書

次ページへつづく⇒

索引

た行	
転倒防止	同梱取扱説明書
時計表示	7-33
な行	
二重音声	2-39
入力3音声設定	7-5
入力6音声設定	7-5
入力解像度（PC入力信号の解像度）	6-33
入力切換	1-20～1-21・6-36
ノイズリダクション	7-64
ノーマル	6-35・9-34
は行	
早戻し／早送り再生	5-24
バランス	7-68
番組検索	2-14
番組情報	2-11
番組表	2-5
番組表取得設定	7-19

次ページへつづく⇒

索引

は行	
ビットストリーム	7-6
表示言語	2-41
表示方法(字幕表示)	2-40～2-41
標準	7-40・7-42・7-57・7-66・7-72
ファミリンク	6-8～6-9
ファミリンク制御(連動)	7-2
ファミリンク録画予約	6-15～6-19
フィルム・デジャダー	7-64
フォト	7-57
付属品	同梱取扱説明書
プラットフォーム(運営会社)	9-21～9-22

次ページへつづく⇒

索引

は行	
フル	6-35・9-34
ブロードバンドルーター	4-2～4-5
プロ設定	7-61～7-64
ヘッドホン/アンプ	1-22・7-4
別売品	9-24
放送局メッセージ	7-20
放送切換ボタン（地上／BS／CS）	2-1
ボード	7-20・9-20
ホーム画面	1-13～1-14
保証とアフターサービス	11-4～11-7
本体操作ロック	7-49
ま行	
マルチ音声番組	2-39
無信号オフ	7-49
無線LAN	4-8～4-21
無操作オフ	7-48
メディア切換	6-12
メディア（テレビ/ラジオ/データ）	7-54

次ページへつづく⇒

索引

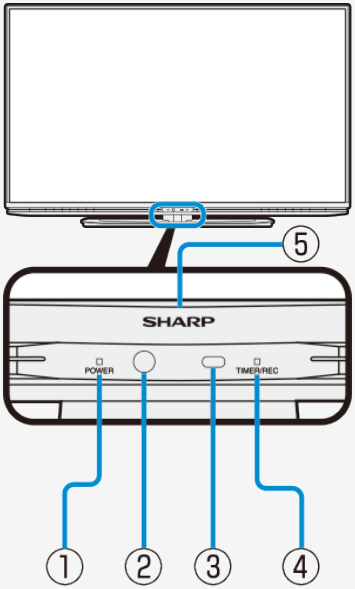
ま行	
文字サイズ	7-40
文字スーパー表示	7-19
文字入力のしかた	7-74
や行	
有料放送の視聴契約	9-21～9-22
予約の確認・取り消し・変更	3-23～3-25
予約リスト	3-23
ら行	
リモコン	1-5～1-12
リモコン番号	1-11・7-31
臨時放送（臨時編成サービス）	9-17
レコーダー選択	7-2
連動起動	7-2
連動データ放送	2-3
録画（USBハードディスク）	3-1～3-50
録画機器選択	7-29

次ページへつづく⇒

索引

ら行	
録画予約（USBハードディスク）	3-15～3-25
録画予約（ファミリンク予約）	6-15～6-19
録画リスト（USBハードディスク）	3-26～3-29
録画リストから再生（ファミリンク）	6-21
わ行	
ワンタッチプレー（ファミリンク）	6-23
ワンタッチ録画（ファミリンク）	6-11

Part Name

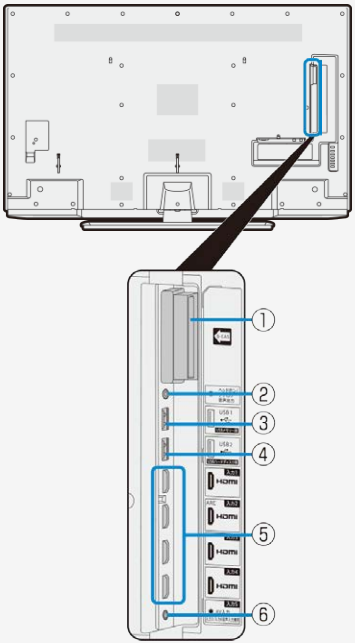


- The illustrations used throughout this operation manual are based on LC-55US5. LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-50US5 has the same layout of jacks and terminals as LC-55US5.

FRONT VIEW

	Part Name
①	Power indicator
②	Motion sensor • Usec when automatically sarting up COCORO VISION.
③	Remote sensor window / Ambient illumination sensor window • When using the remote control, point its head toward this window.
④	Timer program / Recording indicator
⑤	LED • It works in conjunction with the remote control operation etc.

Part Name



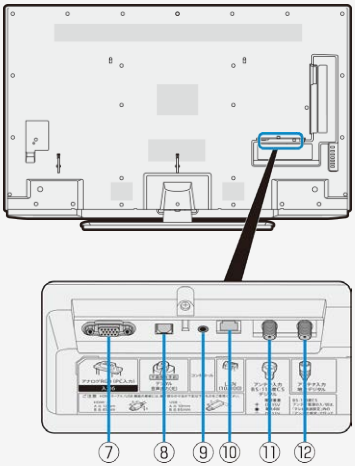
- The illustrations used throughout this operation manual are based on LC-55US5. LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-50US5 has the same layout of jacks and terminals as LC-55US5.

BACK VIEW

	Part Name
①	B-CAS card slot • IC chip side of B-CAS card is ☒turned to a front side of this ☒product, and B-CAS card is inserted.
②	Headphone / Analog audio output jack
③	USB 1 terminal (For USB memory)
④	USB 2 terminal (For USB-HDD recording)
⑤	AV in 1・2・3 and 4 (HDMI) • Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
⑥	AV in 5 (AV input) • Connect a video game equipment, video camera, etc. Please use conversion cable on the market.

Continued on the next page⇒

Part Name



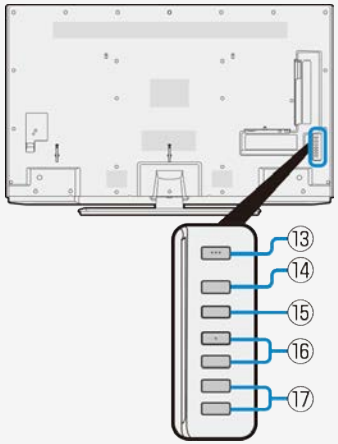
- The illustrations used throughout this operation manual are based on LC-55US5. LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-50US5 has the same layout of jacks and terminals as LC-55US5.

BACK VIEW

	Part Name
⑦	AV in 6 (PC)
⑧	Digital audio output jack (optical)
⑨	Control jack • It is a terminal for maintenance inspection.It is not normally used.
⑩	LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX)
⑪	BS·CS 110 antenna input terminal
⑫	UHF antenna input terminal

Part Name

- The illustrations used throughout this operation manual are based on LC-55US5. LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-50US5 has the same layout of jacks and terminals as LC-55US5.



- LC-50US5 has a control panel on the side of the main unit.

CONTROL PANEL

	Part Name
⑬	Main power button
⑭	Exit button
⑮	Input / TV select (Enter) button
⑯	Channel up (Λ) / down (V) buttons
⑰	Volume up (+) /down (−) buttons



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
①	Active/Standby • Press to engage the TV set in the active or standby mode.
②	Clock/Display • Press to display or turn off the channel call, clock, etc.
③	Program info • Press to display detailed information on the current digital program.
④	Operation Guide • Press to display the operation guide.
⑤	Terrestrial digital select
	BS select
	CS select
	Internet Channels

Continued on the next page⇒

Part Name

Remote Control Unit



Button Name	
⑥	Channel select • Press to select a channel. Use to input a number for various settings.
⑦	Audio switching • Press to switch to secondary audio.
⑧	Volume up (+)/down (−) • Press to adjust the volume.
⑨	Mute • Press to mute audio.
⑩	Linked data broadcast • Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.
⑪	Channel up (Λ)/down (V) • Press to select channels in the ascending or descending order.

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
⑫	Input select • Press to select the input.
⑬	Record
⑭	Recording list
⑮	Caption
⑯	Display the Tool Menu
⑰	Record and Play control

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
⑱	Current／rewind • Press to jump to the beginning of the current chapter. • Press and hold to rewind. When keep on holding, the speed gets faster.
⑲	Fast-forward／next • Press to jump to the next chapter. • Press and hold to fast-forward. When keep on holding, the speed gets faster.
⑳	Pause/freeze • Press to pause the watching recorded program on Familink Recorder or USB HDD. • While watching TV program, press to watch stopped image and normal reproducing image on dual screen. • By setting "AQUOS Time-shift" in "Settings" – "Familink setting" – "Operation of pause/freeze key(AQUOS Time-shift)", you can pause the watching TV program and then watch from the continued by press the key again. It is necessary to connect a corresponding recorder.
㉑	Color • Use to operate EPGs and data program screens.

Continued on the next page⇒



Part Name

Remote Control Unit

	Button Name
㉒	EPG • Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.
㉓	Contents (Other on-air programs) • Press to display the EPG for currently on-air programs only(裏番組).
㉔	Familink • Press to operate “Familink” Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.
㉕	Voice Search

Continued on the next page⇒

Part Name

Remote Control Unit



	Button Name
㉖	Cursor (up, down, left, right) • Use to select a menu item, column, etc.
	Enter/Confirm • Press to confirm a selected setting or menu item.
㉗	Exit • Press to finish menu operation, etc.
㉘	Home • Press to display the home screen.
㉙	Return • Press to go back to the previous screen.
㉚	Direct button
㉛	Microphone



Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

1. Press ホーム(Home) and select "設定" (Settings) with cursor button, and then press 決定(Enter) button.
(ホーム画面から"設定"を選ぶ)



2. Select "(language)言語" with cursor button.
("(lanugage)言語"を選ぶ。)



Continued on the next page⇒

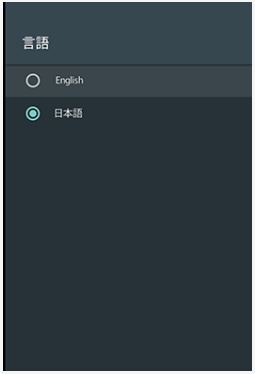


Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

3. Select “English” with cursor button.
(″English″を選ぶ)

   Press 決定 (Enter) button.
(決定する)



- The menu screen is now displayed in English.
(画面表示が英語になります。)

Continued on the next page⇒



Switching the Display Language to English
ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

4. Press ホーム(Home) button to finish this operation.
（終了する）

お知らせ

誤ってホーム画面を英語にしてしまったときは

- ホーム画面から「Settings」ー「Language」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

お問い合わせ

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談室にお問い合わせください。

いつでも便利なWebサービス【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

オンラインサポート トップページ

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート

インターネットから修理のお申し込み

http://www.sharp.co.jp/support/repair.html

シャープ　修理相談　検索

スマートフォンからでもご利用いただけます。

■QRコードについて
スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。(読み取れない場合は直接アドレスを入力してください。)取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意事項があります。同梱取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

■製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内(電話オペレーターにはつながりません)
自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からもご利用いただけます)　0120 - 001 - 252

次ページへつづく⇒

お問い合わせ

お客様ご相談窓口のご案内

使用方法や修理のご相談など【お客様相談室】

おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間（年末年始を除く）●月曜～土曜：9:00～18:00　●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 001 - 251

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 113

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050 - 3852 - 5122	06 - 6792 - 5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

※ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

次ページへつづく⇒

お問い合わせ

お客様ご相談窓口のご案内

有料AQUOS接続サポート＆使い方レッスン

●「機器の接続が苦手」、「使いかたが分からない」などのお客様に、訪問サポートをご用意しています。訪問サポートのお申し込みは、下記へご依頼ください。

シャープマーケティングジャパン株式会社
カスタマーサービス社　訪問サポートセンター

フリーダイヤル
0120 - 565 - 506

受付時間　●月曜～土曜：9:00～17:45（日曜日・祝日・当社指定休日を除く）

AQUOS接続サポート＆使い方レッスン（訪問サポート）について詳しくは
http://www.sharp-sek.co.jp/home/aquos/index.html

サービス名	内容
AQUOSインターネット接続サポート	インターネット対応のAQUOSをインターネットに接続します。
AQUOS周辺機器接続サポート	AQUOSとBDレコーダーなど、AQUOSと周辺機器の接続をします。
AQUOS使い方レッスン	AQUOSとBDレコーダー、AQUOSオーディオなどシャープ製AV周辺機器の使い方を時間制で行います。

●本サポートのご提供は、シャープの国内サービス会社　シャープマーケティングジャパン株式会社（沖縄地区：沖縄シャープ電機株式会社）、またはシャープの国内サービス会社が選定したサービス提供会社が実施いたします。
●本サポートの実施にあたり、別途必要となる周辺機器（無線LANルーターなど）および部品に関する費用、インターネット接続料金はお客様負担となります。インターネットの接続には、別途回線業者やプロバイダーとの契約が必要です。
●本サポートは、予告なく中止または内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。
個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。
電話番号：[06-6792-8004（受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00）]
個人情報の取扱いの詳細については、http://www.sharp.co.jp/privacy/index-j.htmlをご参照ください。

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2017年8月）

よくお読みください

保証書（別添）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■保証期間

お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
持込修理の対象商品をメーカーへ直接送付した場合の送料や出張修理を依頼された場合の出張料などは、保証期間内、保証期間外にかかわらずお客様のご負担となります。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

- 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談室にお問い合わせください。
  （⇒11-2ページ）

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ

修理を依頼されるときは（出張修理）

- 「故障かな？と思ったら」「エラーメッセージが出たら」
  （⇒8-1～8-51ページ）を調べてください。
- SHARPオンラインサポートページの「Q&Aよくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。

	SHARPオンラインサポート： http://www.sharp.co.jp/support/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品名：液晶カラーテレビ
- 形名：LC-60UH5/LC-55UH5/LC-60US5/LC-55US5/LC-50US5
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご住所（付近の目印もあわせてお知らせください）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

次ページへつづく⇒

修理を依頼されるときは（出張修理）

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

次ページへつづく⇒

修理を依頼されるときは（出張修理）

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検



●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	ご使用中止
●電源ボタンを押して電源を入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源ボタンを押して電源を切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	故障や事故防止のため、電源ボタンを押して電源を切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、シャープの会員サービス〈COCORO MEMBERS〉でご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

https://iclub.sharp.co.jp/m/ スマートフォンはこちらから

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意

(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

- ●当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- ●スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
  アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- ●当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

■廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

シャープ株式会社 本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
TVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地